



健診事業

3-1 健診事業

(1) 目的
疾病の早期発見及び疾病予防に対する意識の向上を図る。

(2) 健診の状況

健診名称		内 容	実施回数	(回・人) 受診者数
人間ドック		81項目の検査がある総合健診		8,200
オ ブ シ ョ ン 検 査	内臓脂肪測定	インピーダンス法による測定		864
	動脈硬化検査	血圧脈波による検査		1,720
	甲状腺検査	甲状腺機能ホルモンなど(TSH、FT ₃ 、FT ₄)を調べる		859
	BNP検査	心臓への負担の程度を調べる		965
	胸部断層X線撮影	複数の角度から肺を撮影し所見を調べる		708
	喀痰検査	喀痰細胞診検査		2,891
	胃がんリスク検査	ペプシノゲン検査とヘリコバクター・ピロリ抗体検査		1,113
	前立腺がん検査	前立腺特異抗原(PSA)検査	201	3,358
	腫瘍マーカー検査	腫瘍マーカー(AFP、CEA、CA19-9)で、主に肝臓、大腸、膵臓がんを調べる		1,688
	女性腫瘍マーカー検査	腫瘍マーカー(CA125)で、主に卵巣がんを調べる		693
骨密度検査(人間ドック受診時)		踵骨超音波による測定		2,518
特定健診・後期高齢者健診(人間ドック受診時)		人間ドック受診者のうち市国民健康保険・後期高齢者医療制度加入者を対象としたメタボリック健診		6,140
脳ドック		MR I、MRA、頸動脈超音波など	201	895
骨密度検査(集団)		骨密度検査のみを希望する者に月1回実施	10	132
子宮がん検査		内診と子宮頸部細胞診	41	997
乳がん検査(総合)		視触診と乳房X線撮影	82	1,566
乳がん検査(施設)※1		医師会依頼による乳房X線撮影	43	1,016
基本健診		労働安全衛生法に基づく健康診断と同等の健診	196	2,340
生活習慣病予防健診		職域などで健診を受診する機会の少ない人を対象とした特定健診と同等の健診	13	26

健診名称	内 容	(回・人)	
		実施回数	受診者数
ヤング健診	受診機会の少ない40歳未満を対象とした特定健診と同等の健診	115	234
ヤング健診 (保健センター実施分)		6	356
特定健診(集団)	市国民健康保険加入者を対象としたメタボリック健診	78	212
特定健診(集団) (保健センター実施分)		6	370
計		992	39,681

表中、特に記載がないものは全て総合保健医療センターで実施

※1：健康管理センター実施分（1回、6人）を含む

(2) 健診料金等

			(円)
健診名称	対象者	料 金	
人間ドック	40歳の市民(1回限り)	4,000	
	41歳以上の市民で市国民健康保険の被保険者もしくは後期高齢者医療の被保険者	7,000	
	41歳以上の市民	17,000	
	上記以外の人	31,000	
内臓脂肪測定	40歳以上の市民	1,000	
	上記以外の人	2,000	
動脈硬化検査	40歳以上の市民	600	
	上記以外の人	1,300	
甲状腺検査	40歳以上の市民	1,900	
	上記以外の人	3,900	
BNP検査	40歳以上の市民	700	
	上記以外の人	1,400	
胸部断層X線撮影	40歳以上の市民	2,100	
	上記以外の人	4,200	
喀痰検査	40歳以上の市民	900	
	上記以外の人	1,900	
胃がんリスク検査	40歳以上の市民	2,400	
	上記以外の人	4,800	
前立腺がん検査	50歳以上の男性市民	600	
	上記以外の男性	2,300	
腫瘍マーカー検査	40歳以上の市民	1,800	
	上記以外の人	3,600	
女性腫瘍マーカー検査	40歳以上の女性	800	
	上記以外の人	1,600	

(円)

健診名称	対象者		料 金
脳ドック	50歳の市民		10,000
	上記以外の市民		34,000
	3か月以内に人間ドックを受診した人	50歳の市民	7,000
		上記以外の市民	24,000
基本健診	市民または市内に事業所を有する事業主及びその従業者		4,500
	上記以外の人		9,000
特定健診	40歳以上の市民で市国民健康保険の被保険者		無料
生活習慣病予防健診	40歳以上の市民で市国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者を除く		3,000
	上記以外の人		6,000
ヤング健診	18歳以上39歳以下の市民		500
骨密度検査	18歳以上の女性市民または30歳以上の男性市民		600
	人間ドックの受診者で上記以外の人		2,900
子宮がん検査	20歳以上の女性市民		1,300
	人間ドックの受診者で上記以外の人		5,000
乳がん検査	30歳以上の女性市民		1,700
	人間ドック受診者で上記以外の人		3,000

(3) 健診別検査項目一覧表

検査項目		人間ドック	脳ドック	基本健診	特定健診	生活習慣病予防健診	ヤング健診
健康調査		●	●	●	●	●	●
MR I			●				
MR A			●				
頸動脈超音波			●				
診察		●	■	●	●	●	●
身体計測	身長	●	●	●	●	●	●
	体重	●	●	●	●	●	●
	標準体重	●	●	●	●	●	●
	腹囲	●	●	●	●	●	●
	肥満度	●	●		●		

検査項目		人間 ドック	脳 ドック	基本 健診	特定 健診	生活習 慣病予 防健診	ヤング 健診
身体計測	BMI	●	●		●		
	体脂肪率	●	●				
視力		●		●			
眼圧		●					
眼底	動脈硬化性変化	●	■		▲	▲	
	高血圧性変化	●	■		▲	▲	
	K-W	●	■		▲	▲	
	糖尿病性変化	●	■		▲	▲	
聴力	1000Hz	●		●			
	4000Hz	●		●			
血圧	最高(収縮期)	●	■	●	●	●	●
	最低(拡張期)	●	■	●	●	●	●
血液一般	白血球数	●	■	●	●	●	●
	赤血球数	●	■	●	●	●	●
	血色素量	●	■	●	●	●	●
	ヘマトクリット	●	■	●	●	●	●
	血小板数	●	■	●	●	●	●
	MCV	●	■	●	●	●	●
	MCH	●	■	●	●	●	●
	MCHC	●	■	●	●	●	●
	白血球分画	●	■				
	血清鉄	●	■				
肝機能	総蛋白	●	■				
	アルブミン	●	■				
	A/G比	●	■				
	総ビリルビン	●	■				
	AST(GOT)	●	■	●	●	●	●
	ALT(GPT)	●	■	●	●	●	●
	γ-GT	●	■	●	●	●	●
	ALP	●	■				
	LD	●	■				
	コリンエステラーゼ	●	■				
膵機能	アミラーゼ	●	■				
心筋・筋疾患	CK	●	■				
脂質代謝	総コレステロール	●	■				
	HDLコレステロール	●	■	●	●	●	●
	LDLコレステロール	●	■	●	●	●	●
	中性脂肪	●	■	●	●	●	●
糖代謝	空腹時血糖	●	■	●	●	●	●
	HbA1c	●	■	●	●	●	●

検査項目		人間 ドック	脳 ドック	基本 健診	特定 健診	生活習 慣病予 防健診	ヤング 健診
糖代謝	尿糖	●	■	●	●	●	●
腎機能	尿素窒素	●	■				
	クレアチニン	●	■	●	●	●	●
	シスタチンC	●	■				
	eGFR _{creat}	●	■				
	尿アルブミン/Cr比	●					
尿一般	尿沈渣	●	■				
	尿蛋白	●	■	●	●	●	●
	尿潜血	●	■	●	●	●	●
	ウロビリノーゲン	●	■				
	ケトン体	●	■				
	ビリビリン	●	■				
	pH	●	■				
	尿比重	●	■				
	亜硝酸塩	●	■				
	白血球	●	■				
痛風	尿酸	●	■				
免疫反応	CRP	●					
	RF	●					
感染症	HBs抗原	●					
	HCV抗体	●					
	RPR	●					
	TPHA	●					
便潜血	2日法	●					
肺機能	肺活量	●					
	%肺活量	●					
	努力性肺活量	●					
	努力性肺活量率	●					
	%1秒量	●					
	1秒率	●					
安静心電図	12誘導	●	■	●	●	●	●
胸部X線	正面	●	■	●			
	側面	●					
胃部X線	上部消化管	●					
腹部超音波		●					
血液型	ABO	●	■				
	Rh	●	■				
内臓脂肪	内臓脂肪面積	△					
動脈硬化	ABI	△					
	baPWV	△					

検査項目		人間 ドック	脳 ドック	基本 健診	特定 健診	生活習 慣病予 防健診	ヤング 健診
甲状腺	T S H	△					
	F T 3	△					
	F T 4	△					
B N P		△					
胸部断層 X 線		△					
喀痰細胞診		△					
胃がんリスク	ピロリ菌抗体定量	△					
	ペプシノゲン I	△					
	ペプシノゲン II	△					
	P G I / II	△					
前立腺がん	P S A	△					
腫瘍マーカー	A F P	△					
	C E A	△					
	C A 19- 9	△					
女性腫瘍マーカー	C A 125	△					
骨密度	踵骨超音波	□					

□：人間ドックと同時に検査可能

■：脳ドックの検査項目について、3か月以内に人間ドックを受診している場合、重複する項目は省略

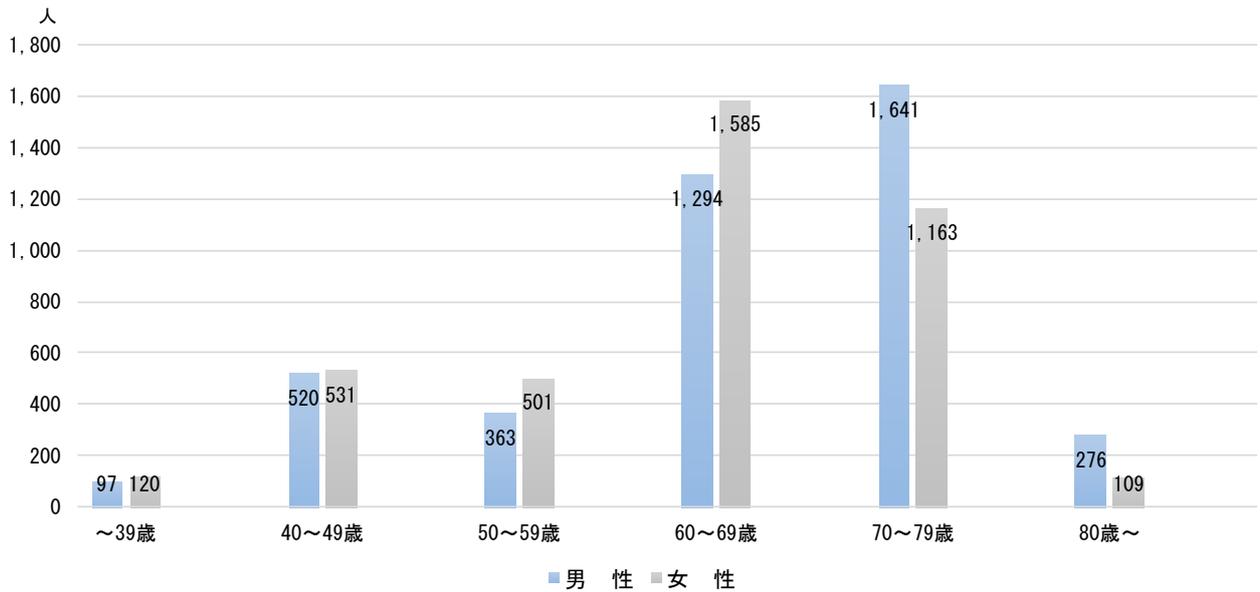
△：オプション設定

▲：前年度の健診結果により対象者が決定

3-1-1 人間ドック ■

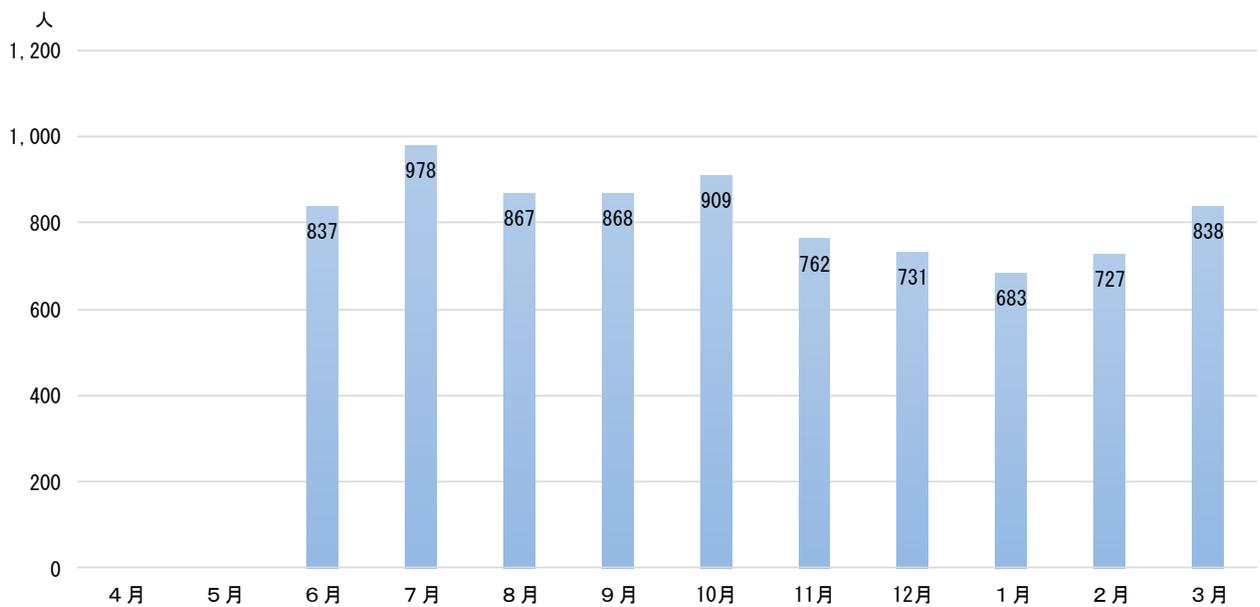
【年代別受診者数】

性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
男性	97	520	363	1,294	1,641	276	4,191
女性	120	531	501	1,585	1,163	109	4,009
合計	217	1,051	864	2,879	2,804	385	8,200



【月別受診者数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数			837	978	867	868	909	762	731	683	727	838	8,200



診察

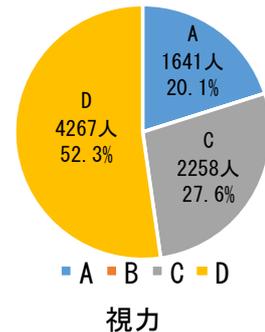
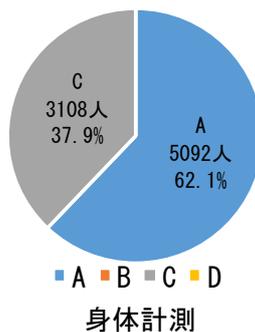
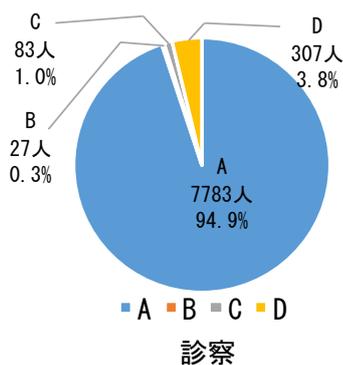
判定	性別	年齢						合計
		～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	
A (異常なし)	男	96	516	357	1,235	1,497	241	3,942
	女	118	527	493	1,531	1,076	96	3,841
B (軽度異常)	男	0	0	1	2	11	2	16
	女	0	0	1	5	5	0	11
C (要観察)	男	0	1	0	5	27	4	37
	女	1	0	3	15	24	3	46
D (要医療)	男	1	3	5	52	106	29	196
	女	1	4	4	34	58	10	111
合計	男	97	520	363	1,294	1,641	276	4,191
	女	120	531	501	1,585	1,163	109	4,009

身体計測

判定	性別	年齢						合計
		～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	
A (異常なし)	男	62	289	180	689	898	152	2,270
	女	88	375	364	1,140	796	59	2,822
B (軽度異常)	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
C (要観察)	男	35	231	183	605	743	124	1,921
	女	32	156	137	445	367	50	1,187
D (要医療)	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	97	520	363	1,294	1,641	276	4,191
	女	120	531	501	1,585	1,163	109	4,009

視力

判定	性別	年齢						合計
		～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	
A (異常なし)	男	42	233	123	297	176	13	884
	女	54	189	135	269	106	4	757
B (軽度異常)	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
C (要観察)	男	29	135	98	402	472	50	1,186
	女	28	132	150	464	278	20	1,072
D (要医療)	男	26	152	141	590	986	213	2,108
	女	38	210	214	842	772	83	2,159
合計	男	97	520	362	1,289	1,634	276	4,178
	女	120	531	499	1,575	1,156	107	3,988



聴力

人

判定	性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
A (異常なし)	男	90	431	218	405	269	15	1,428
	女	112	485	422	951	386	9	2,365
B (軽度異常)	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
C (要観察)	男	3	22	44	142	130	9	350
	女	4	21	29	170	149	3	376
D (要医療)	男	4	66	100	734	1,189	221	2,314
	女	4	25	47	454	606	91	1,227
合計	男	97	519	362	1,281	1,588	245	4,092
	女	120	531	498	1,575	1,141	103	3,968

血圧

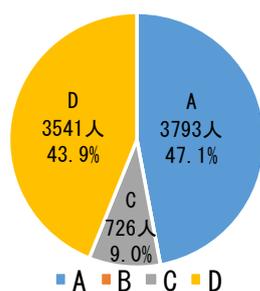
人

判定	性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
A (異常なし)	男	76	380	196	546	579	86	1,863
	女	115	467	380	869	466	25	2,322
B (軽度異常)	男	16	71	61	266	355	54	823
	女	3	27	57	269	231	24	611
C (要観察)	男	5	43	74	336	510	88	1,056
	女	2	27	46	336	332	39	782
D (要医療)	男	0	26	32	146	197	48	449
	女	0	10	18	111	134	21	294
合計	男	97	520	363	1,294	1,641	276	4,191
	女	120	531	501	1,585	1,163	109	4,009

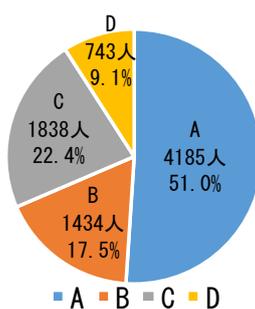
血液一般

人

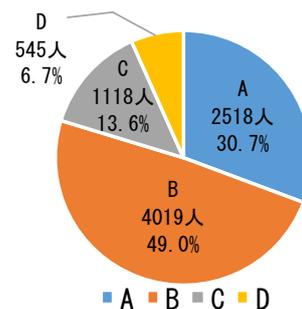
判定	性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
A (異常なし)	男	42	177	112	358	397	45	1,131
	女	33	134	179	581	433	27	1,387
B (軽度異常)	男	48	285	216	724	818	123	2,214
	女	48	241	226	742	505	43	1,805
C (要観察)	男	4	18	16	129	290	75	532
	女	22	87	64	207	180	26	586
D (要医療)	男	3	40	19	83	136	33	314
	女	17	69	32	55	45	13	231
合計	男	97	520	363	1,294	1,641	276	4,191
	女	120	531	501	1,585	1,163	109	4,009



聴力



血圧



血液一般

肝機能

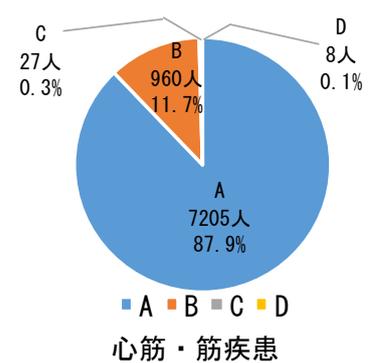
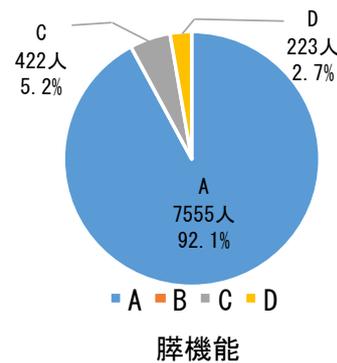
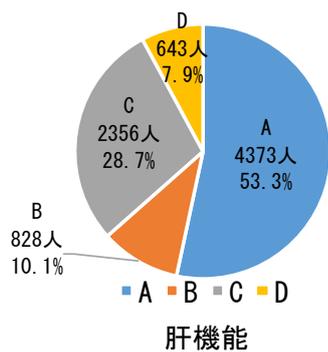
判定		性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
A (異常なし)	男		43	208	143	604	811	129	1,938
	女		62	342	317	994	655	65	2,435
B (軽度異常)	男		9	72	57	157	170	33	498
	女		20	68	40	120	76	6	330
C (要観察)	男		32	154	109	367	509	93	1,264
	女		33	108	120	404	393	34	1,092
D (要医療)	男		13	86	54	166	151	21	491
	女		5	13	24	67	39	4	152
合計	男		97	520	363	1,294	1,641	276	4,191
	女		120	531	501	1,585	1,163	109	4,009

膵機能

判定		性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
A (異常なし)	男		93	488	338	1,197	1,467	229	3,812
	女		119	504	466	1,482	1,077	95	3,743
B (軽度異常)	男		0	0	0	0	0	0	0
	女		0	0	0	0	0	0	0
C (要観察)	男		4	28	19	59	103	26	239
	女		1	21	27	67	59	8	183
D (要医療)	男		0	4	6	38	71	21	140
	女		0	6	8	36	27	6	83
合計	男		97	520	363	1,294	1,641	276	4,191
	女		120	531	501	1,585	1,163	109	4,009

心筋・筋疾患

判定		性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
A (異常なし)	男		94	472	330	1,132	1,414	237	3,679
	女		110	468	458	1,397	1,000	93	3,526
B (軽度異常)	男		3	42	30	153	215	38	481
	女		9	63	41	187	163	16	479
C (要観察)	男		0	5	2	7	10	1	25
	女		0	0	1	1	0	0	2
D (要医療)	男		0	1	1	2	2	0	6
	女		1	0	1	0	0	0	2
合計	男		97	520	363	1,294	1,641	276	4,191
	女		120	531	501	1,585	1,163	109	4,009



脂質代謝

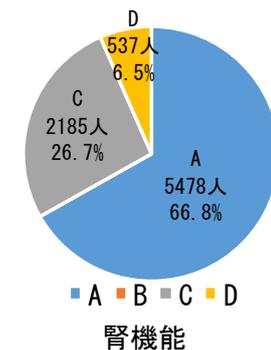
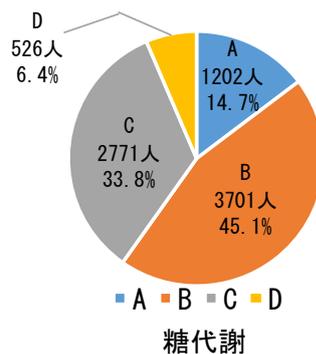
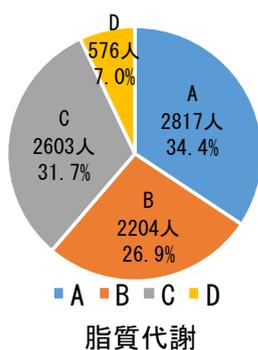
判定		性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
A (異常なし)	男		33	151	104	403	632	121	1,444
	女		74	277	137	433	411	41	1,373
B (軽度異常)	男		30	114	88	348	457	90	1,127
	女		27	115	134	456	313	32	1,077
C (要観察)	男		26	200	140	465	474	59	1,364
	女		13	107	176	545	366	32	1,239
D (要医療)	男		8	55	31	78	78	6	256
	女		6	32	54	151	73	4	320
合計	男		97	520	363	1,294	1,641	276	4,191
	女		120	531	501	1,585	1,163	109	4,009

糖代謝

判定		性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
A (異常なし)	男		38	116	40	134	147	27	502
	女		55	237	91	161	146	10	700
B (軽度異常)	男		50	285	172	533	663	100	1,803
	女		63	247	251	786	502	49	1,898
C (要観察)	男		9	103	122	496	659	114	1,503
	女		2	46	148	573	460	39	1,268
D (要医療)	男		0	16	29	131	172	35	383
	女		0	1	11	65	55	11	143
合計	男		97	520	363	1,294	1,641	276	4,191
	女		120	531	501	1,585	1,163	109	4,009

腎機能

判定		性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
A (異常なし)	男		95	463	281	843	812	103	2,597
	女		107	454	419	1,184	687	30	2,881
B (軽度異常)	男		0	0	0	0	0	0	0
	女		0	0	0	0	0	0	0
C (要観察)	男		2	55	75	368	617	105	1,222
	女		13	73	75	359	391	52	963
D (要医療)	男		0	2	7	83	212	68	372
	女		0	4	7	42	85	27	165
合計	男		97	520	363	1,294	1,641	276	4,191
	女		120	531	501	1,585	1,163	109	4,009



尿一般

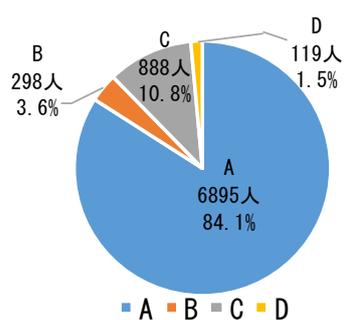
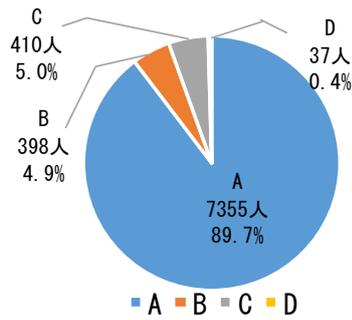
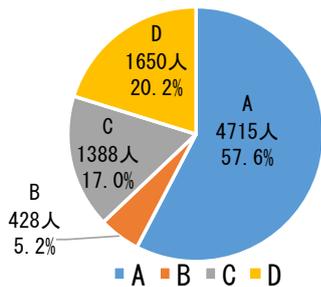
判定		性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
A (異常なし)	男		78	382	255	896	1,111	136	2,858
	女		60	249	254	764	491	39	1,857
B (軽度異常)	男		5	43	24	91	115	22	300
	女		2	25	19	43	36	3	128
C (要観察)	男		10	59	59	183	200	55	566
	女		16	87	91	334	270	24	822
D (要医療)	男		4	34	25	123	206	61	453
	女		42	169	137	443	365	41	1,197
合計	男		97	518	363	1,293	1,632	274	4,177
	女		120	530	501	1,584	1,162	107	4,004

痛風

判定		性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
A (異常なし)	男		74	403	291	1,041	1,386	225	3,420
	女		120	528	490	1,560	1,133	104	3,935
B (軽度異常)	男		11	52	33	135	99	31	361
	女		0	0	5	12	20	0	37
C (要観察)	男		12	59	35	105	147	19	377
	女		0	3	6	13	8	3	33
D (要医療)	男		0	6	4	13	9	1	33
	女		0	0	0	0	2	2	4
合計	男		97	520	363	1,294	1,641	276	4,191
	女		120	531	501	1,585	1,163	109	4,009

免疫反応

判定		性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
A (異常なし)	男		91	452	296	1,065	1,360	220	3,484
	女		110	465	393	1,346	1,008	89	3,411
B (軽度異常)	男		4	21	11	63	76	13	188
	女		4	16	14	41	31	4	110
C (要観察)	男		0	37	53	147	171	39	447
	女		5	43	93	174	111	15	441
D (要医療)	男		2	10	3	19	34	4	72
	女		1	7	1	24	13	1	47
合計	男		97	520	363	1,294	1,641	276	4,191
	女		120	531	501	1,585	1,163	109	4,009



感染症

人

判定	性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
A（異常なし）	男	95	510	349	1,250	1,563	259	4,026
	女	119	521	486	1,540	1,124	103	3,893
B（軽度異常）	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
C（要観察）	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
D（要医療）	男	2	10	14	44	78	17	165
	女	1	10	15	45	39	6	116
合計	男	97	520	363	1,294	1,641	276	4,191
	女	120	531	501	1,585	1,163	109	4,009

肺機能

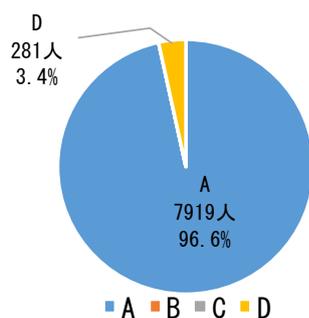
人

判定	性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
A（異常なし）	男	92	500	327	1,091	1,285	185	3,480
	女	113	501	472	1,468	1,044	87	3,685
B（軽度異常）	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
C（要観察）	男	0	1	5	54	88	21	169
	女	1	3	6	22	30	8	70
D（要医療）	男	5	17	30	143	262	67	524
	女	6	25	23	89	86	12	241
合計	男	97	518	362	1,288	1,635	273	4,173
	女	120	529	501	1,579	1,160	107	3,996

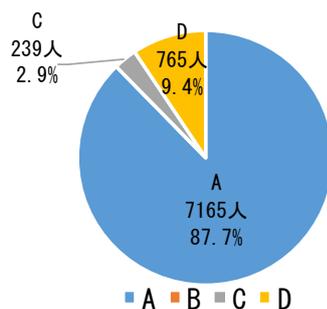
内臓脂肪

人

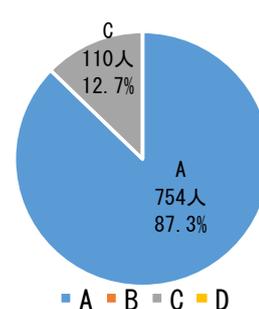
判定	性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
A（異常なし）	男	9	80	31	111	117	12	360
	女	4	58	57	165	102	8	394
B（軽度異常）	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
C（要観察）	男	0	20	14	37	22	2	95
	女	0	3	3	6	3	0	15
D（要医療）	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	9	100	45	148	139	14	455
	女	4	61	60	171	105	8	409



感染症



肺機能



内臓脂肪

動脈硬化

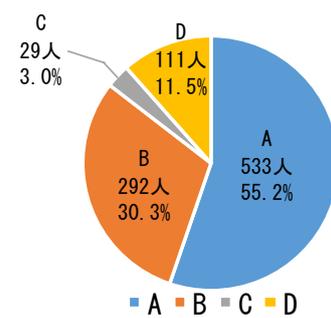
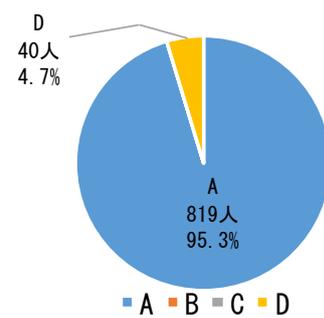
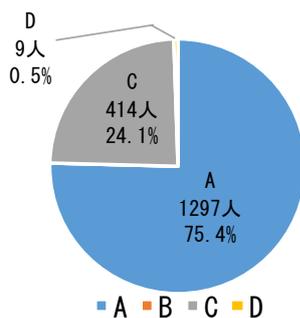
判定	性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	人	
								合計	
A (異常なし)	男	10	110	58	187	214	21	600	
	女	8	81	105	305	186	12	697	
B (軽度異常)	男	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	
C (要観察)	男	0	10	15	91	104	12	232	
	女	0	12	18	77	69	6	182	
D (要医療)	男	0	0	0	2	5	1	8	
	女	0	0	0	0	0	1	1	
合計	男	10	120	73	280	323	34	840	
	女	8	93	123	382	255	19	880	

甲状腺機能

判定	性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	人	
								合計	
A (異常なし)	男	5	65	39	111	115	9	344	
	女	14	90	78	181	107	5	475	
B (軽度異常)	男	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	
C (要観察)	男	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	
D (要医療)	男	1	2	1	8	5	1	18	
	女	0	6	3	8	5	0	22	
合計	男	6	67	40	119	120	10	362	
	女	14	96	81	189	112	5	497	

BNP

判定	性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	人	
								合計	
A (異常なし)	男	8	71	41	112	83	7	322	
	女	5	50	33	86	35	2	211	
B (軽度異常)	男	1	5	6	47	63	4	126	
	女	2	11	28	75	49	1	166	
C (要観察)	男	0	0	0	6	2	1	9	
	女	0	0	2	11	7	0	20	
D (要医療)	男	0	0	2	17	24	8	51	
	女	0	0	2	21	34	3	60	
合計	男	9	76	49	182	172	20	508	
	女	7	61	65	193	125	6	457	



動脈硬化

甲状腺機能

BNP

喀痰細胞診

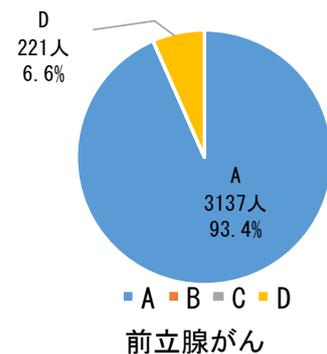
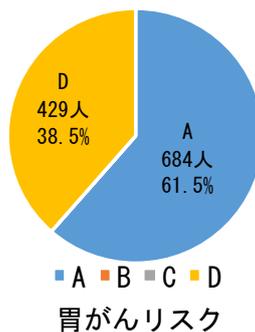
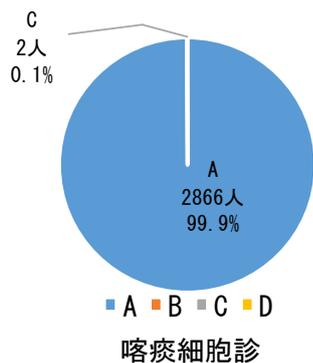
判定	性別	年齢						合計
		～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	
A (異常なし)	男	19	138	137	538	838	138	1,808
	女	4	63	116	464	374	37	1,058
B (軽度異常)	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
C (要観察)	男	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	1	0	0	0	1
D (要医療)	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	19	138	137	538	839	138	1,809
	女	4	63	117	464	374	37	1,059

胃がんリスク

判定	性別	年齢						合計
		～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	
A (異常なし)	男	8	80	40	118	76	8	330
	女	12	81	54	136	67	4	354
B (軽度異常)	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
C (要観察)	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
D (要医療)	男	1	17	26	72	87	10	213
	女	4	15	33	94	64	6	216
合計	男	9	97	66	190	163	18	543
	女	16	96	87	230	131	10	570

前立腺がん

判定	性別	年齢						合計
		～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	
A (異常なし)	男	10	141	300	1,152	1,338	196	3,137
	女	0	0	0	0	0	0	0
B (軽度異常)	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
C (要観察)	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
D (要医療)	男	0	1	13	51	120	36	221
	女	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	10	142	313	1,203	1,458	232	3,358
	女	0	0	0	0	0	0	0

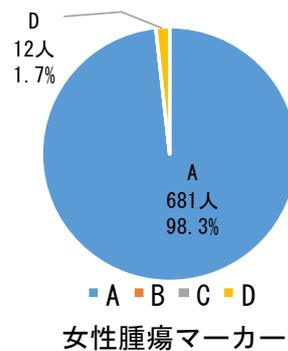
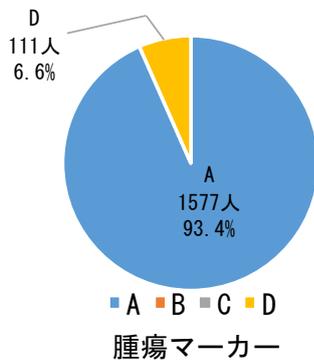


腫瘍マーカー

判定	性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	人
								合計
A (異常なし)	男	10	122	80	302	254	31	799
	女	16	118	124	342	170	8	778
B (軽度異常)	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
C (要観察)	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
D (要医療)	男	0	4	4	18	33	7	66
	女	1	6	5	20	13	0	45
合計	男	10	126	84	320	287	38	865
	女	17	124	129	362	183	8	823

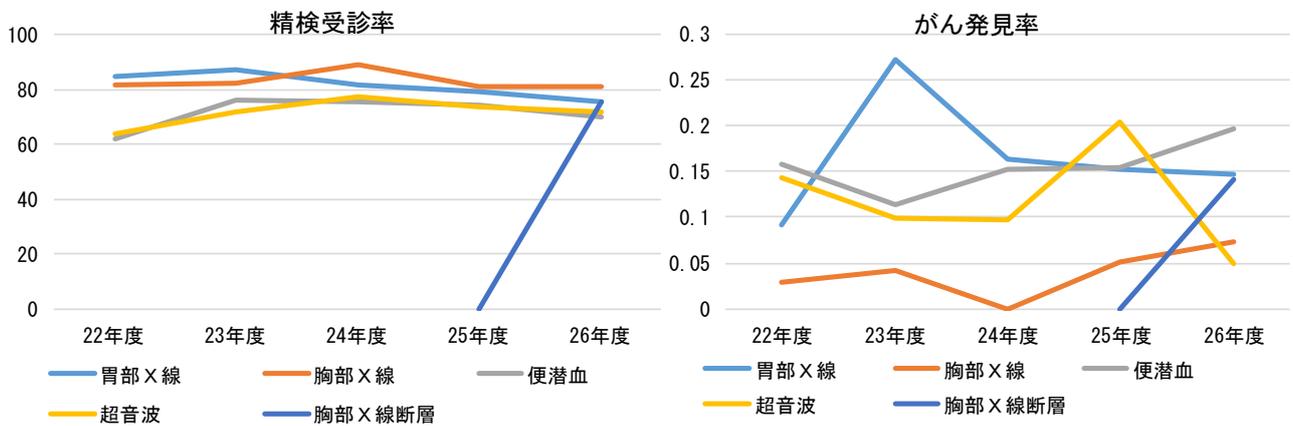
女性腫瘍マーカー

判定	性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	人
								合計
A (異常なし)	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	21	126	129	282	120	3	681
B (軽度異常)	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
C (要観察)	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
D (要医療)	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	9	0	1	1	0	12
合計	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	22	135	129	283	121	3	693



年度別精密検査分析

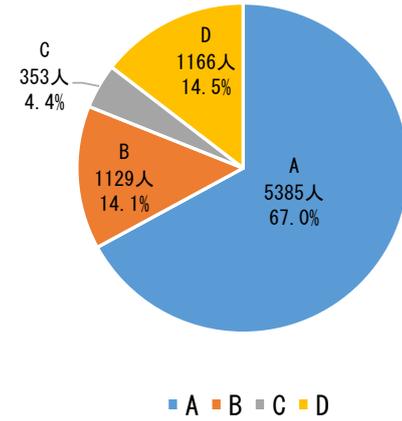
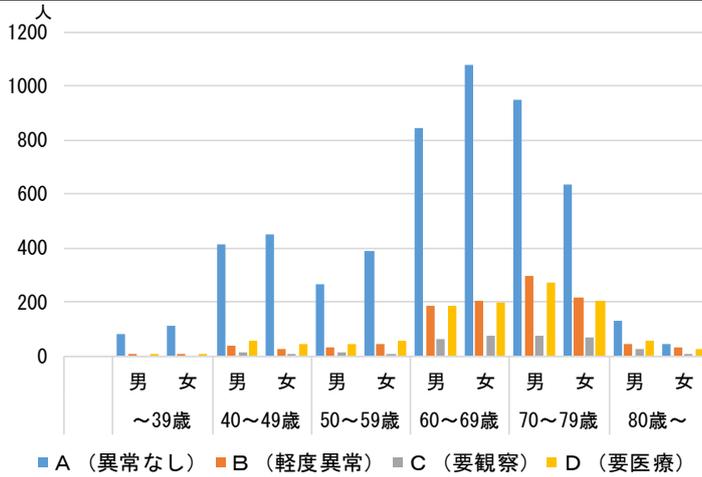
検査	年度	受診者数 (人)	精検者数 (人)	精検率 (%)	精検受診数 (人)	精検受診率 (%)	精密検査(人)			がん発見率 (%)	陽性反応 的中度(%)
							異常なし	がん	がん以外		
胃 部 X 線	22	6,578	213	3.24	181	84.98	23	6	152	0.09	2.82
	23	6,603	423	6.41	369	87.23	36	18	315	0.27	4.26
	24	6,751	502	7.44	410	81.67	37	11	362	0.16	2.19
	25	7,219	390	5.40	310	79.49	22	11	277	0.15	2.82
	26	7,500	507	6.76	383	75.54	45	11	327	0.15	2.17
胸 部 X 線	22	6,966	108	1.55	88	81.48	23	2	63	0.03	1.85
	23	7,016	86	1.23	71	82.56	16	3	52	0.04	3.49
	24	7,224	193	2.67	172	89.12	70	0	102	0.00	0.00
	25	7,760	145	1.87	118	81.38	32	4	82	0.05	2.76
	26	8,123	257	3.16	208	80.93	75	6	127	0.07	2.33
便 潜 血	22	6,965	375	5.38	232	61.87	71	11	150	0.16	2.93
	23	7,014	391	5.57	298	76.21	86	8	204	0.11	2.05
	24	7,230	524	7.25	397	75.76	111	11	275	0.15	2.10
	25	7,761	607	7.82	453	74.63	140	12	301	0.15	1.98
	26	8,131	653	8.03	456	69.83	127	16	313	0.20	2.45
超 音 波	22	7,009	222	3.17	142	63.96	23	10	109	0.14	4.50
	23	7,060	270	3.82	194	71.85	27	7	160	0.10	2.59
	24	7,266	281	3.87	217	77.22	38	7	172	0.10	2.49
	25	7,821	442	5.65	326	73.76	64	16	246	0.20	3.62
	26	8,199	482	5.88	346	71.78	108	4	235	0.05	0.83
胸 部 断 層	22										
	23										
	24										
	25										
	26	708	29	4.10	22	75.86	10	1	11	0.14	3.45



眼底

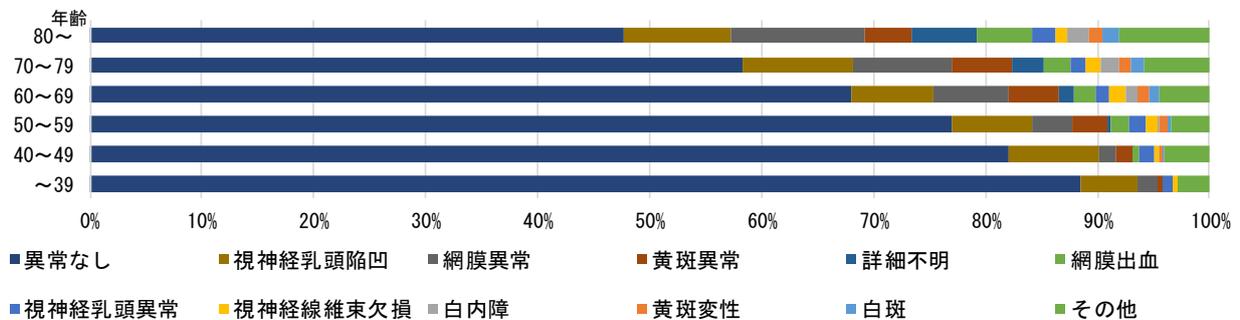
【検査結果】

判定	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	A (異常なし)	82	109	412	453	265	391	842	1,078	948	632	129	44	2,678
B (軽度異常)	6	6	35	27	34	43	184	202	297	219	47	29	603	526
C (要観察)	0	0	15	5	15	5	60	76	75	71	28	3	193	160
D (要医療)	9	5	58	45	47	56	187	200	271	205	58	25	630	536
合計	97	120	520	530	361	495	1,273	1,556	1,591	1,127	262	101	4,104	3,929



【所見】

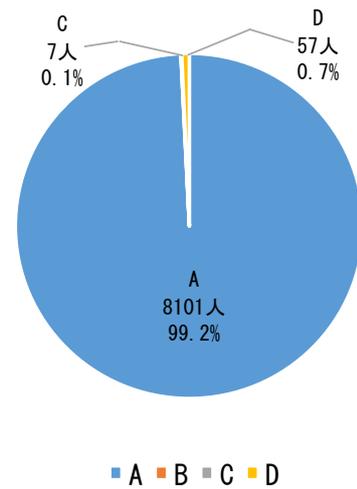
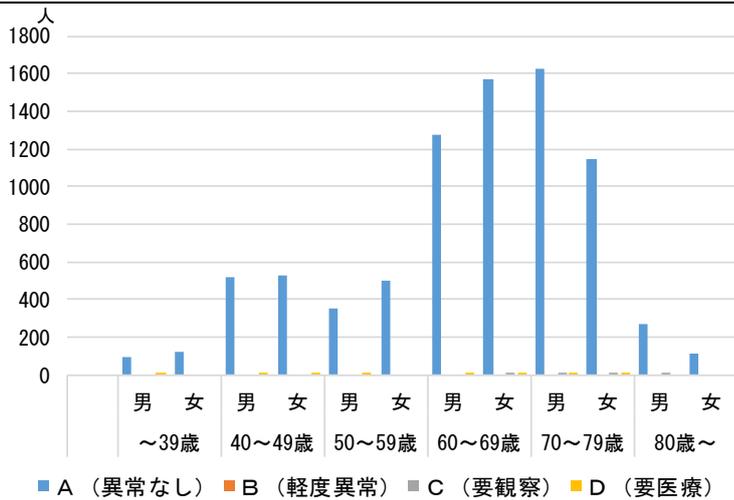
所見	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	異常なし	83	109	413	455	276	397	885	1,122	1,021	665	148	47	2,826
視神経乳頭陥凹	7	4	51	34	27	35	116	100	159	124	27	12	387	309
網膜異常	2	2	10	6	12	20	90	106	118	135	26	23	258	292
黄斑異常	1	0	6	9	12	15	59	74	101	56	15	2	194	156
詳細不明	0	0	0	1	0	3	15	25	52	32	16	8	83	69
網膜出血	0	0	4	2	13	2	26	31	41	25	15	5	99	65
視神経乳頭異常	1	1	7	7	9	4	14	22	28	14	6	3	65	51
視神経線維束欠損	0	1	2	2	4	4	23	20	20	18	3	1	52	46
白内障	0	0	0	1	0	2	4	30	20	25	5	3	29	61
黄斑変性	0	0	3	0	3	3	20	11	19	15	3	2	48	31
白斑	0	0	1	1	1	2	8	18	11	21	3	3	24	45
その他	3	3	25	17	12	18	73	58	99	70	22	11	234	177



眼圧

【検査結果】

判定	人													
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
A (異常なし)	95	120	514	524	355	499	1,272	1,568	1,623	1,150	273	108	4,132	3,969
B (軽度異常)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C (要観察)	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	3	0	5	2
D (要医療)	1	0	6	7	6	0	15	5	11	6	0	0	39	18
合計	96	120	520	531	361	499	1,287	1,574	1,636	1,157	276	108	4,176	3,989



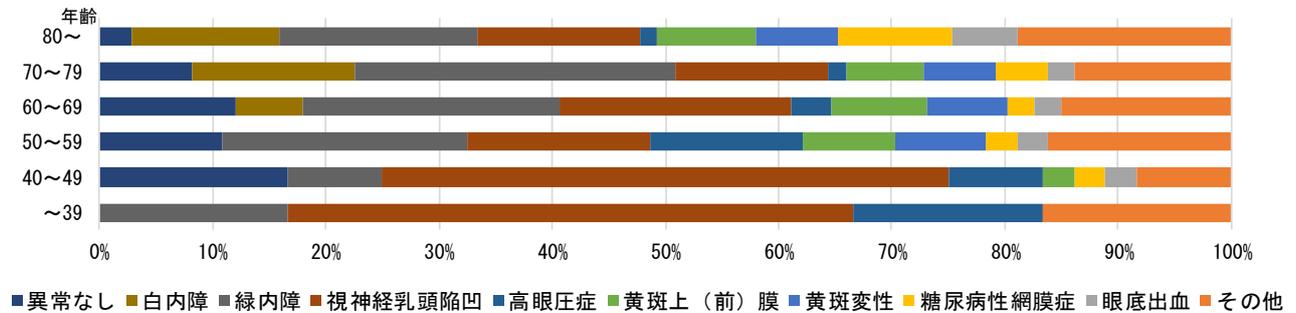
眼科

【精密検査結果】

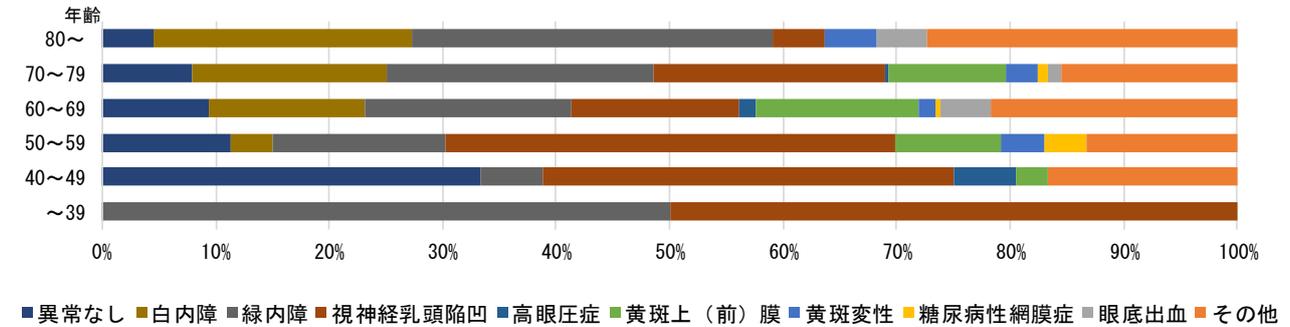
件

年齢・性別	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要精検者数	10	5	64	52	53	56	202	205	282	211	58	25	669	554
精検受診者数	5	2	34	35	33	46	145	175	227	191	38	13	482	462
異常なし	0	0	6	12	4	6	20	19	23	20	2	1	55	58
白内障	0	0	0	0	0	2	10	28	41	43	9	5	60	78
緑内障	1	1	3	2	8	8	38	37	80	59	12	7	142	114
視神経乳頭陥凹	3	1	18	13	6	21	34	30	38	51	10	1	109	117
高眼圧症	1	0	3	2	5	0	6	3	5	1	1	0	21	6
黄斑上（前）膜	0	0	1	1	3	5	14	29	19	26	6	0	43	61
黄斑変性	0	0	0	0	3	2	12	3	18	7	5	1	38	13
糖尿病性網膜症	0	0	1	0	1	2	4	1	13	2	7	0	26	5
眼底出血	0	0	1	0	1	0	4	9	7	3	4	1	17	13
その他	1	0	3	6	6	7	25	44	39	39	13	6	87	102

(男性)



(女性)



眼科

【精密検査結果5年比較】

人

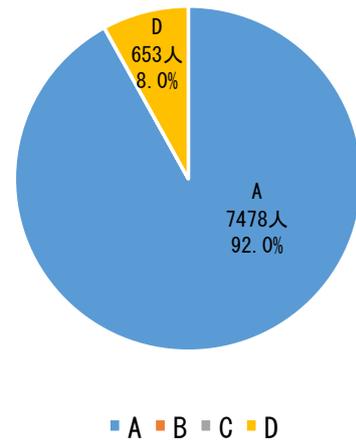
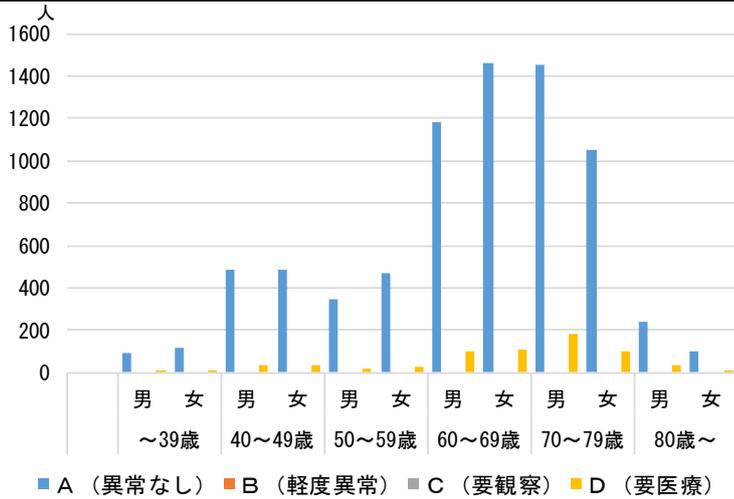
年度	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
要精検者数	492	469	551	1,175	1,223
精検受診者数	421	400	453	909	944
	(上段) 回答数		(下段) 回答内訳率		
異常なし	136 30.02%	111 24.78%	142 29.65%	173 16.83%	113 9.70%
白内障	40 8.83%	35 7.81%	48 10.02%	89 8.66%	138 11.85%
緑内障	70 15.45%	60 13.39%	61 12.73%	254 24.71%	256 21.97%
視神経乳頭陥凹	45 9.93%	46 10.27%	48 10.02%	105 10.21%	226 19.40%
高眼圧症	15 3.31%	17 3.79%	18 3.76%	29 2.82%	27 2.32%
黄斑上(前)膜	27 5.96%	33 7.37%	33 6.89%	76 7.39%	104 8.93%
黄斑変性	14 3.09%	27 6.03%	15 3.13%	34 3.31%	51 4.38%
糖尿病性網膜症	12 2.65%	12 2.68%	18 3.76%	34 3.31%	31 2.66%
眼底出血	23 5.08%	25 5.58%	22 4.59%	26 2.53%	30 2.58%
その他	71 15.67%	82 18.30%	74 15.45%	208 20.23%	189 16.22%

年齢が高くなるほど有所見者は増え、D判定も増加する。所見は「視神経乳頭陥凹」が最も多い。眼圧は平成26年度より人間ドック学会の基準値に変更したため過去年と比べD判定は著しく減少した。精密検査の結果はどの年齢層も緑内障に関係するものが多く、高齢者は白内障がこれに続く。5年比較表を見ると平成25年度以降要精検者数が倍増しているが、これはG判定(現在治療中)をなくしたためである。逆に精検受診率の減少の要因は、すでに受診中であるため通院の時に紹介状を医療機関に提出しなかったためではないかと考える。

便潜血

【検査結果】

判定	人													
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
A (異常なし)	94	113	484	484	345	469	1,184	1,465	1,452	1,054	238	96	3,797	3,681
B (軽度異常)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C (要観察)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D (要医療)	3	7	33	33	16	27	99	111	180	97	35	12	366	287
合計	97	120	517	517	361	496	1,283	1,576	1,632	1,151	273	108	4,163	3,968

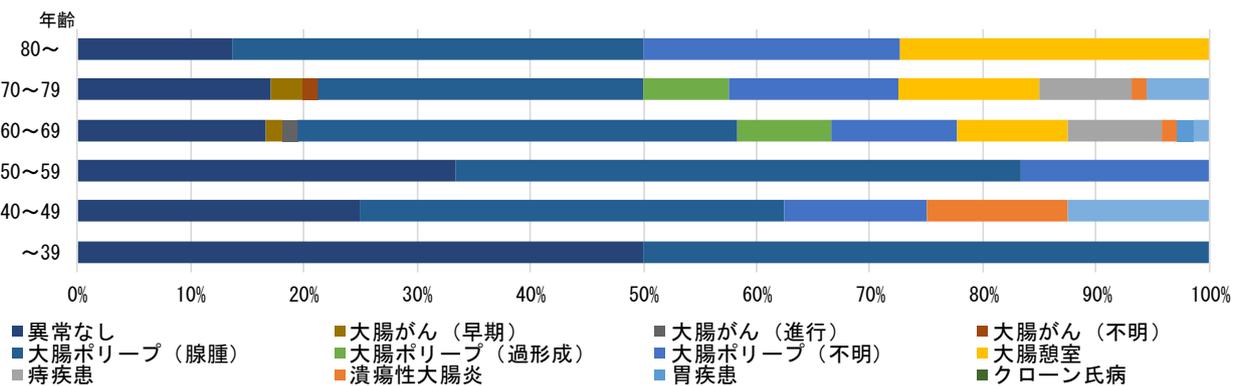


便潜血

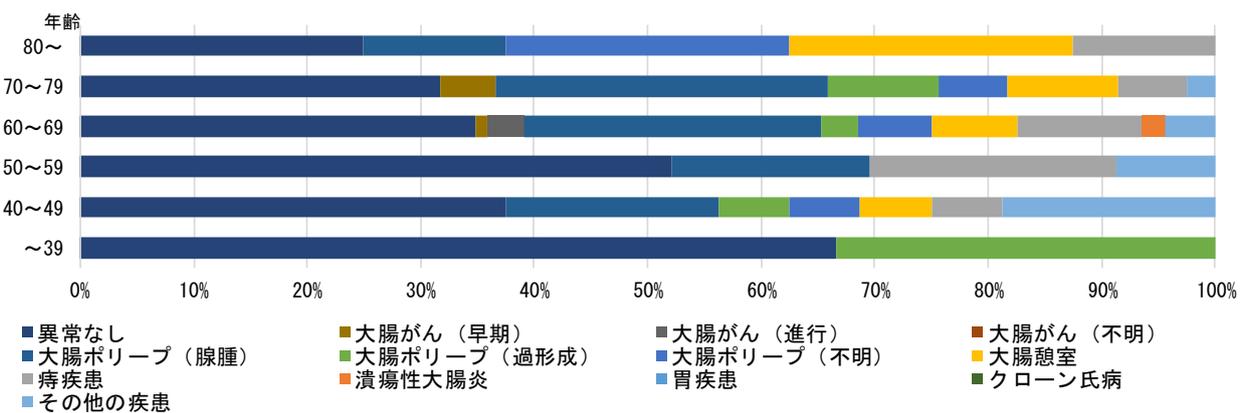
【精密検査結果】

年齢・性別	件													
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要精検者数	3	7	33	33	16	27	99	111	180	97	35	12	366	287
精検受診者数	2	3	8	15	12	22	66	88	132	81	19	8	239	217
異常なし	1	2	2	6	4	12	12	32	25	26	3	2	47	80
大腸がん（早期）	0	0	0	0	0	0	1	1	4	4	0	0	5	5
大腸がん（進行）	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	1	3
大腸がん（不明）	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0
大腸ポリープ（腺腫）	1	0	3	3	6	4	28	24	42	24	8	1	88	56
大腸ポリープ（過形成）	0	1	0	1	0	0	6	3	11	8	0	0	17	13
大腸ポリープ（不明）	0	0	1	1	2	0	8	6	22	5	5	2	38	14
大腸憩室	0	0	0	1	0	0	7	7	18	8	6	2	31	18
痔疾患	0	0	0	1	0	5	6	10	12	5	0	1	18	22
潰瘍性大腸炎	0	0	1	0	0	0	1	2	2	0	0	0	4	2
胃疾患	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
クローン氏病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の疾患	0	0	1	3	0	2	1	4	8	2	0	0	10	11

（男性）



（女性）



便潜血

【精密検査結果5年比較】

人

年度	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
要精検者数	375	391	524	607	653
精検受診者数	232	298	397	453	456
	(上段) 回答数		(下段) 回答内訳率		
異常なし	71 29.46%	86 26.88%	111 27.21%	140 29.66%	127 26.13%
大腸がん(早期)	9 3.73%	5 1.56%	8 1.96%	9 1.91%	10 2.06%
大腸がん(進行)	1 0.41%	2 0.63%	1 0.25%	3 0.64%	4 0.82%
大腸がん(不明)	1 0.41%	1 0.31%	2 0.49%	0 0.00%	2 0.41%
大腸ポリープ(腺腫)	80 33.20%	89 27.81%	141 34.56%	170 36.02%	144 29.63%
大腸ポリープ(過形成)	10 4.15%	15 4.69%	26 6.37%	27 5.72%	30 6.17%
大腸ポリープ(不明)	14 5.81%	32 10.00%	17 4.17%	13 2.75%	52 10.70%
大腸憩室	24 9.96%	41 12.81%	42 10.29%	45 9.53%	49 10.08%
痔疾患	18 7.47%	34 10.63%	43 10.54%	34 7.20%	40 8.23%
潰瘍性大腸炎	1 0.41%	2 0.63%	2 0.49%	4 0.85%	6 1.23%
胃疾患	0 0.00%	1 0.31%	0 0.00%	1 0.21%	1 0.21%
クローン氏病	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%
その他の疾患	12 4.98%	12 3.75%	15 3.68%	26 5.51%	21 4.32%

精密検査結果5年比較より、要精検率は年々増加し、精検受診率は低下している。要精検率の増加は受診者の高齢化が考えられる。精検受診率の低下は繰り返し受診者が多いため、毎年要精検となる受診者が一度精密検査を受けると以後要精検となっても精検受診の必要性の認識が薄れ精密検査を受けないことが考えられる。

がん発見率と陽性反応的中度は移転後の平成26年度に大幅に上昇した。平成26年度は新規の受診者が増加したため、がん発見率と陽性反応的中率が増加したと考えられる。

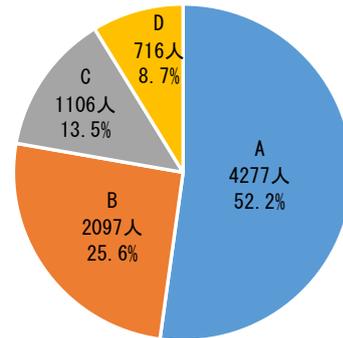
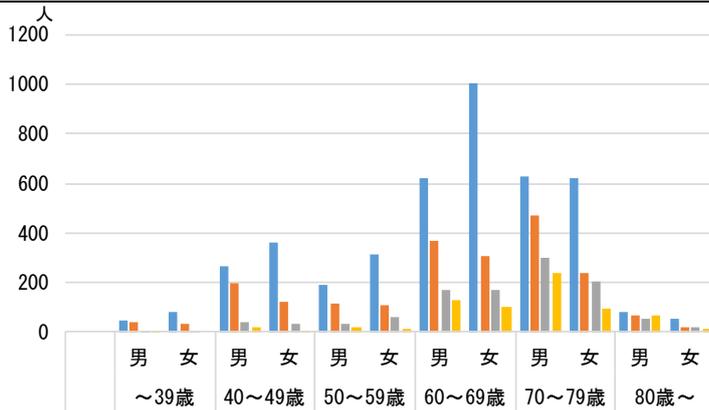
回答内訳は、大腸ポリープ(腺腫)が最も多かった。

上記の結果より、精検受診率を増加させる必要があると考える。そのためには、要精検となったらがんの可能性のあるということ、そして大腸がんは年々増加しているということを受診者に認識してもらう必要がある。次年度は精検受診率を増加させることを目標に、積極的に受診勧奨をしていきたい。

心電図

【検査結果】

判定	人													
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
A (異常なし)	47	83	263	362	194	313	623	1,001	631	624	83	53	1,841	2,436
B (軽度異常)	40	34	198	123	115	111	367	309	470	241	69	20	1,259	838
C (要観察)	8	3	41	37	36	61	171	171	298	203	55	22	609	497
D (要医療)	2	0	18	9	18	16	132	104	240	95	68	14	478	238
合計	97	120	520	531	363	501	1,293	1,585	1,639	1,163	275	109	4,187	4,009

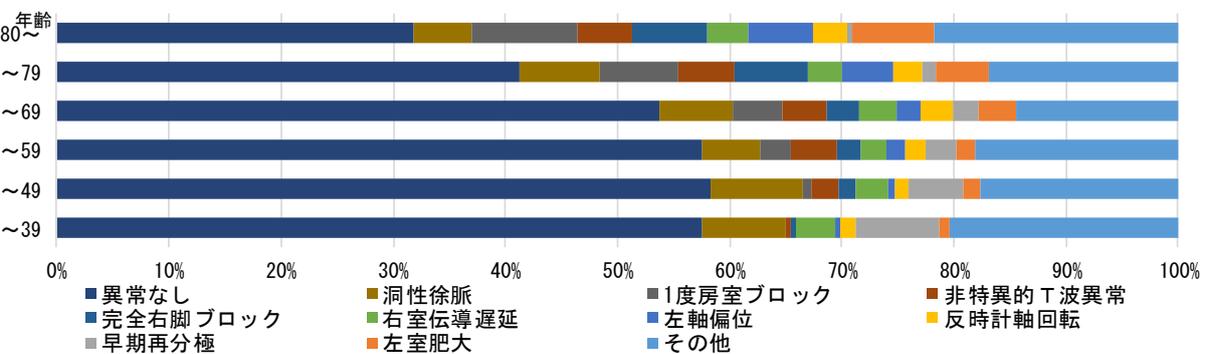


■ A (異常なし) ■ B (軽度異常) ■ C (要観察) ■ D (要医療)

■ A ■ B ■ C ■ D

【所見】

所見	件													
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
異常なし	47	83	263	362	194	313	623	1,001	631	624	83	53	1,841	2,436
洞性徐脈	13	4	57	30	29	17	131	66	168	48	20	2	418	167
1度房室ブロック	0	0	5	4	8	17	92	43	168	46	37	3	310	113
非特異的T波異常	0	1	9	16	9	27	32	86	59	92	11	10	120	232
完全右脚ブロック	1	0	12	5	8	11	60	29	149	50	23	6	253	101
右室伝導遅延	6	2	21	10	9	11	50	48	64	28	14	1	164	100
左軸偏位	1	0	6	0	8	6	35	30	90	50	22	3	162	89
反時計軸回転	1	2	8	6	4	12	28	62	40	41	7	6	88	129
早期再分極	17	0	50	2	22	3	50	15	30	6	2	0	171	26
左室肥大	2	0	15	1	10	4	68	33	102	39	26	5	223	82
その他	18	28	93	96	74	86	223	215	319	195	70	23	797	643

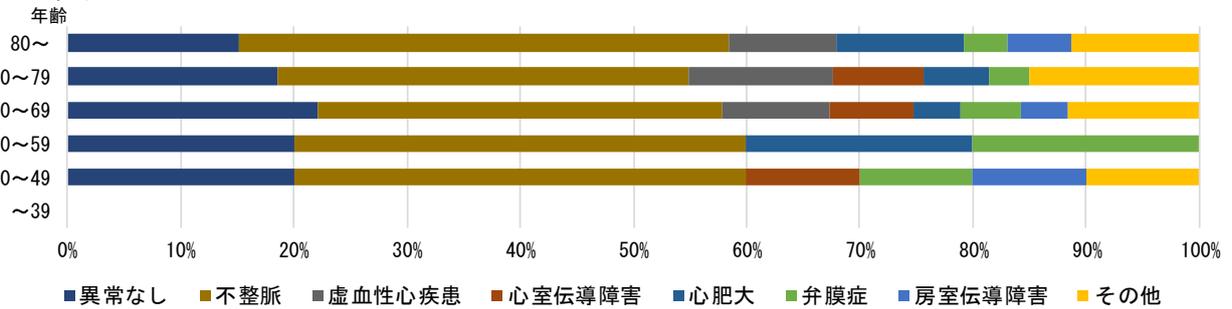


心電図

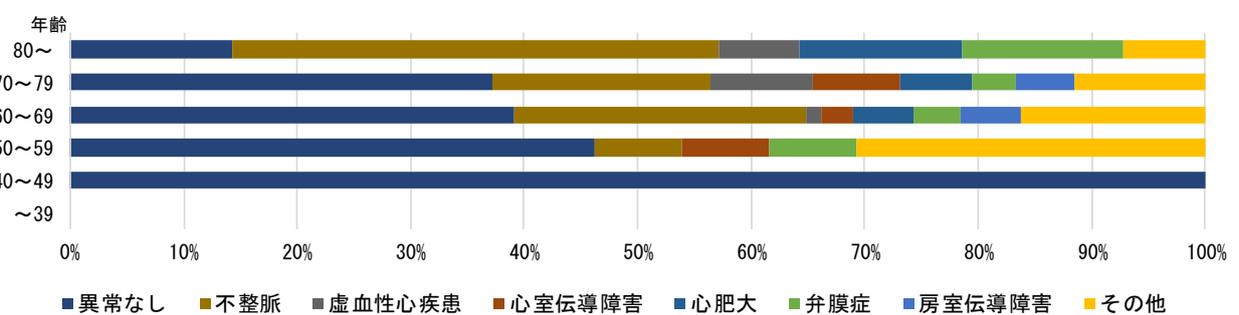
【精密検査結果】

年齢・性別	件													
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要精検者数	2	0	18	9	18	16	132	104	240	95	68	14	478	238
精検受診者数	0	0	7	3	10	13	85	72	162	72	40	8	304	168
異常なし	0	0	2	3	2	6	21	29	32	29	8	2	65	69
不整脈	0	0	4	0	4	1	34	19	63	15	23	6	128	41
虚血性心疾患	0	0	0	0	0	0	9	1	22	7	5	1	36	9
心室伝導障害	0	0	1	0	0	1	7	2	14	6	0	0	22	9
心肥大	0	0	0	0	2	0	4	4	10	5	6	2	22	11
弁膜症	0	0	1	0	2	1	5	3	6	3	2	2	16	9
房室伝導障害	0	0	1	0	0	0	4	4	0	4	3	0	8	8
その他	0	0	1	0	0	4	11	12	26	9	6	1	44	26

(男性)



(女性)



心電図

【精密検査結果5年比較】

人

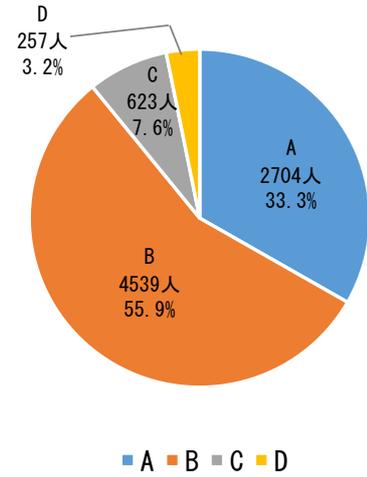
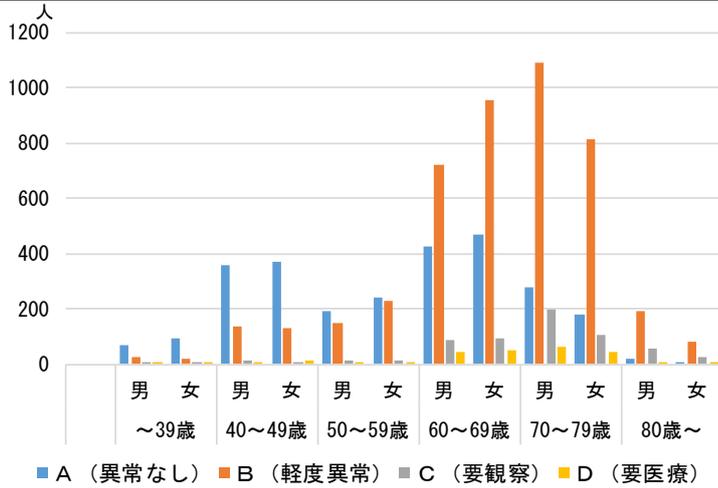
年度	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
要精検者数	208	258	279	472	716
精検受診者数	150	185	222	334	472
	(上段) 回答数		(下段) 回答内訳率		
異常なし	43 26.54%	51 26.29%	74 32.03%	70 20.96%	134 25.62%
不整脈	55 33.95%	63 32.47%	54 23.38%	123 36.83%	169 32.31%
虚血性心疾患	10 6.17%	11 5.67%	9 3.90%	20 5.99%	45 8.60%
心室伝導障害	6 3.70%	12 6.19%	3 1.30%	20 5.99%	31 5.93%
心肥大	9 5.56%	24 12.37%	30 12.99%	35 10.48%	33 6.31%
弁膜症	6 3.70%	5 2.58%	11 4.76%	14 4.19%	25 4.78%
房室伝導障害	7 4.32%	4 2.06%	6 2.60%	9 2.69%	16 3.06%
その他	26 16.05%	24 12.37%	44 19.05%	43 12.87%	70 13.38%

心電図検査では有所見率が47.8%であった。男女別で見るとその他以外では男性では洞性徐脈10.0%、完全右脚ブロック6.0%、左室肥大5.3%、女性では非特異的T波異常5.8%、洞性徐脈4.2%反時計軸回転3.2%の順に多かった。有所見者3,919名のうち要精検者716名、精検受診者数472名、要精検率65.9%であった。要精検受診率は平成26年は過去5年で一番低かった。年代別では男性が70～79歳、女性は50～59歳が最も精検受診率が高かった。精密検査結果5年比較では心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患が増加し、左室肥大や右室肥大などの心肥大が減少していた。60歳以上の受診者が多いため虚血性心疾患の割合が増えたものと考えられる。

胸部X線

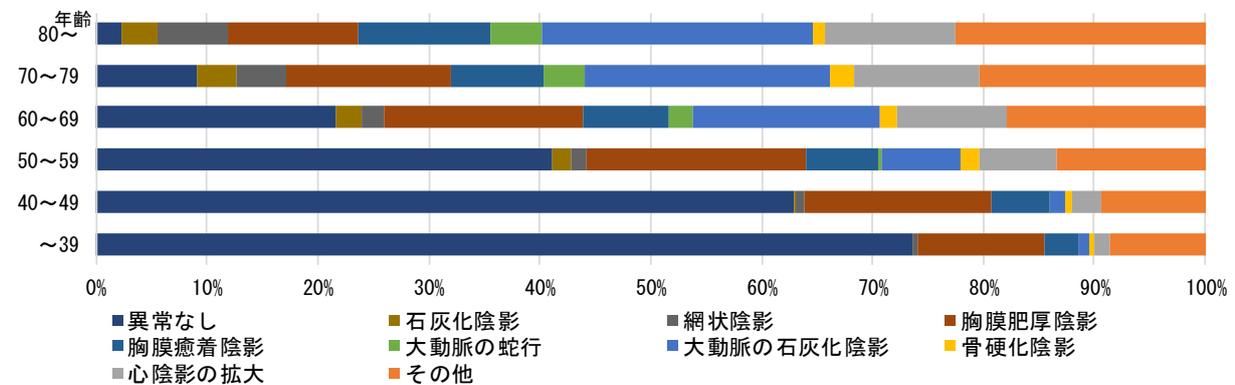
【検査結果】

判定	人												合計	
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
A (異常なし)	68	95	359	373	192	243	427	470	275	181	18	3	1,339	1,365
B (軽度異常)	24	19	134	129	146	231	722	956	1,090	816	191	81	2,307	2,232
C (要観察)	2	2	15	7	16	16	86	92	201	107	56	23	376	247
D (要医療)	3	1	10	14	9	6	46	50	62	45	9	2	139	118
合計	97	117	518	523	363	496	1,281	1,568	1,628	1,149	274	109	4,161	3,962



【所見】

所見	件												合計	
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
異常なし	68	94	360	373	192	243	428	471	275	181	18	3	1,341	1,365
石灰化陰影	0	0	2	1	8	9	49	44	98	87	20	9	177	150
網状陰影	1	0	8	1	8	8	69	19	182	39	49	7	317	74
胸膜肥厚陰影	12	13	95	102	58	150	314	430	432	316	80	25	991	1,036
胸膜癒着陰影	2	5	29	31	27	43	161	155	304	124	88	18	611	376
大動脈の蛇行	0	0	0	1	3	0	48	46	94	91	23	19	168	157
大動脈の石灰化陰影	1	1	11	5	35	40	303	395	629	485	148	69	1,127	995
骨硬化陰影	1	0	4	3	13	5	36	27	85	24	7	3	146	62
心陰影の拡大	3	0	22	8	23	50	133	281	219	353	54	51	454	743
その他	13	6	63	47	79	63	366	375	645	381	150	51	1,316	923

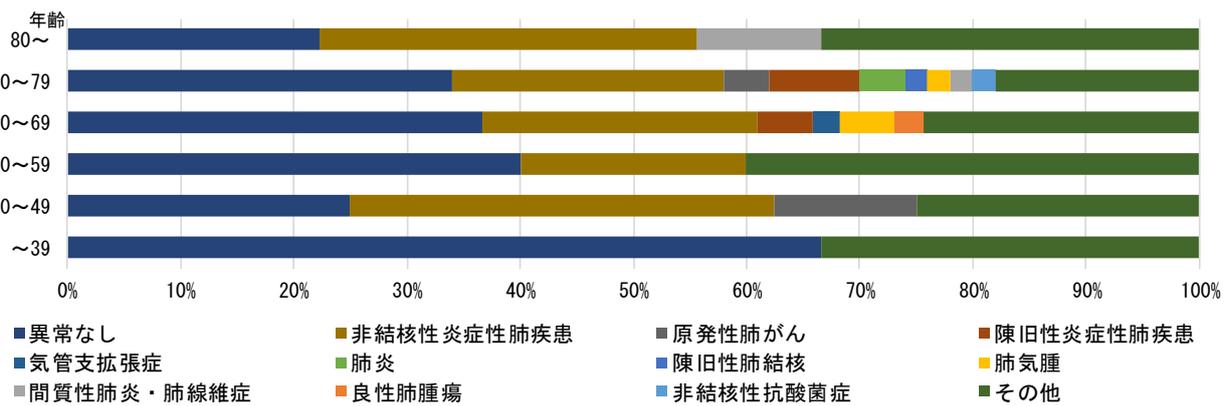


胸部X線

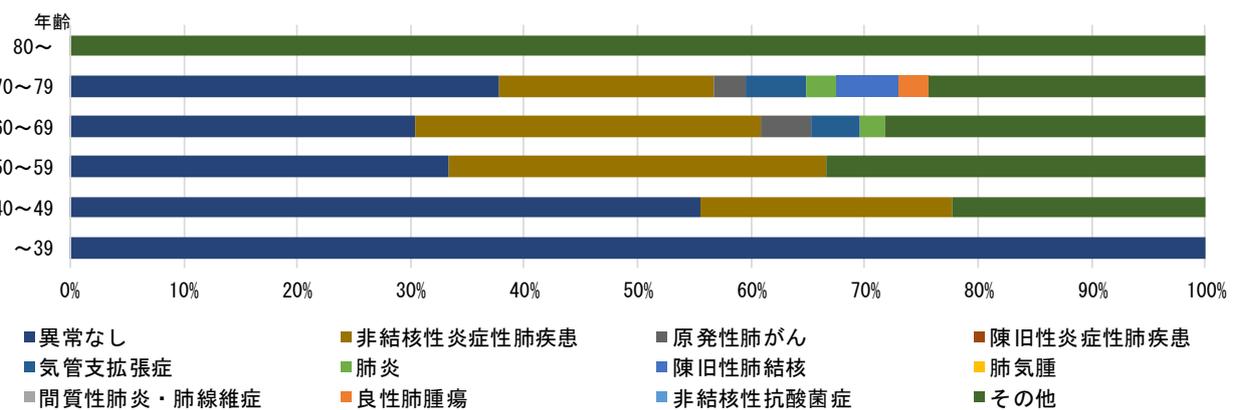
【精密検査結果】

年齢・性別	件													
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要精検者数	3	1	10	14	9	6	46	50	62	45	9	2	139	118
精検受診者数	3	1	8	9	5	3	41	46	50	37	4	1	111	97
異常なし	2	1	2	5	2	1	15	14	17	14	2	0	40	35
非結核性炎症性肺疾患	0	0	3	2	1	1	10	14	12	7	3	0	29	24
原発性肺がん	0	0	1	0	0	0	0	2	2	1	0	0	3	3
陳旧性炎症性肺疾患	0	0	0	0	0	0	2	0	4	0	0	0	6	0
気管支拡張症	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	0	0	1	4
肺炎	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	2	2
陳旧性肺結核	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2
肺気腫	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3	0
間質性肺炎・肺線維症	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0
良性肺腫瘍	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1
非結核性抗酸菌症	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
その他	1	0	2	2	2	1	10	13	9	9	3	1	27	26

(男性)



(女性)



胸部X線

【精密検査結果5年比較】

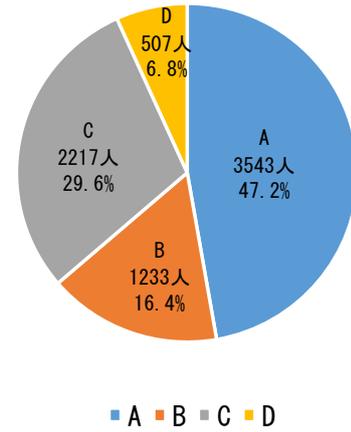
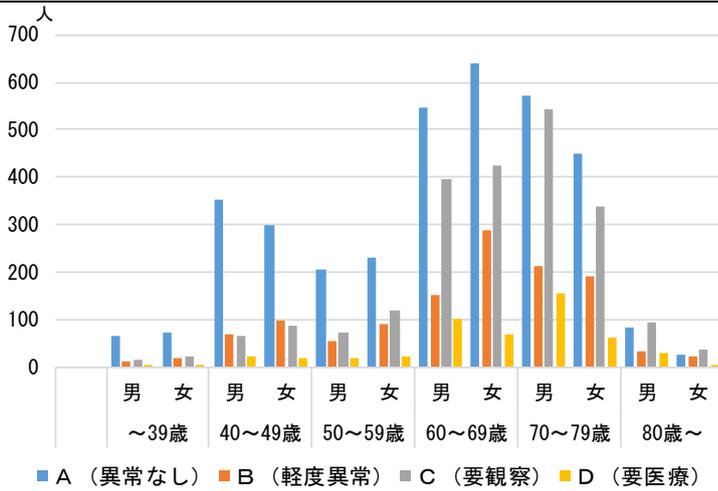
年度	人				
	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
要精検者数	108	86	193	145	257
精検受診者数	88	71	172	118	208
	(上段) 回答数		(下段) 回答内訳率		
異常なし	23 24.47%	16 21.05%	70 38.25%	32 25.00%	75 35.21%
非結核性炎症性肺疾患	5 5.32%	10 13.16%	9 4.92%	1 0.78%	53 24.88%
肺がん	2 2.13%	3 3.95%	0 0.00%	4 3.13%	6 2.82%
陳旧性炎症性肺疾患	15 15.96%	14 18.42%	43 23.50%	38 29.69%	6 2.82%
気管支拡張症	5 5.32%	5 6.58%	7 3.83%	2 1.56%	5 2.35%
肺炎	4 4.26%	1 1.32%	4 2.19%	6 4.69%	4 1.88%
陳旧性肺結核	0 0.00%	1 1.32%	0 0.00%	1 0.78%	3 1.41%
肺気腫	3 3.19%	5 6.58%	8 4.37%	5 3.91%	3 1.41%
間質性肺炎・肺線維症	0 0.00%	0 0.00%	1 0.55%	1 0.78%	2 0.94%
良性肺腫瘍	0 0.00%	1 1.32%	0 0.00%	0 0.00%	2 0.94%
非結核性抗酸菌症	2 2.13%	0 0.00%	0 0.00%	3 2.34%	1 0.47%
その他	35 37.23%	20 26.32%	41 22.40%	35 27.34%	53 24.88%

年度別精密検査分析において、5年比較すると、平成26年度のがん発見数は6名、がん発見率は0.07%と他の年度より最も多かった。理由として、平成26年度から、正面（1方向）撮影に加え側面撮影が追加された。また、エネルギーサブトラクション法による読影を行ったことにより向上したと思われる。その反面、精検率も3.2%と他の年度より最も多かった。これは、読影時の情報量が多かったために生じたと思われる。さらに精検受診率は80.9%で最も低迷した。これは、後日の個人結果説明が任意となり希望する受診者が減ったことにより、精密検査の受診勧奨をする機会が減ったためだと思われる。胸部X線と胸部断層の比較において、胸部X線のがん発見率は0.07%、陽性反応的中度は2.33%であり、胸部断層のがん発見率は0.14%、陽性反応的中度は3.45%となりがん発見率、陽性反応的中度ともに胸部断層の方が高成績だった。今後の課題として、さらなる精度管理をおこなっていききたい。また、後日の個人結果説明などのツールを利用し受診勧奨を行うことによって、精検受診率の向上（厚生労働省の目標値：90%）を目指していきたい。

胃部X線

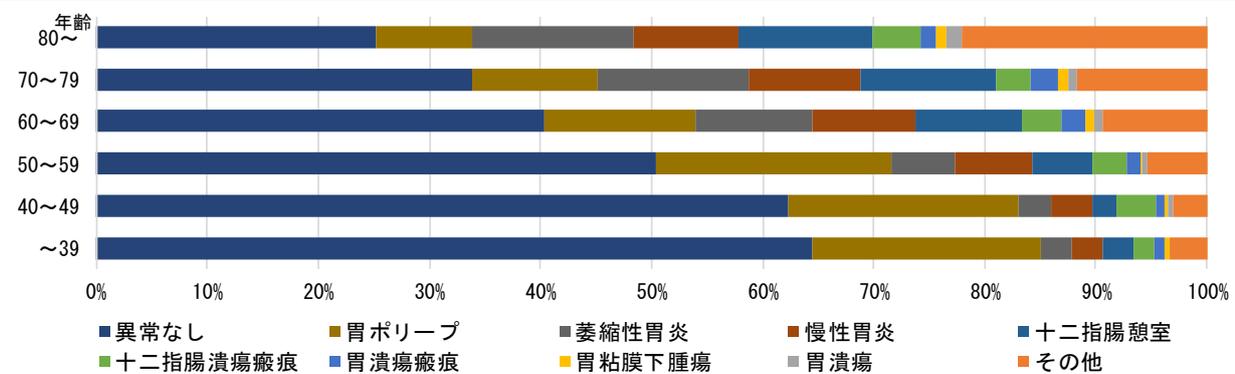
【検査結果】

判定	人												合計	
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
A (異常なし)	67	71	352	299	205	232	548	641	573	449	82	24	1,827	1,716
B (軽度異常)	10	19	69	96	54	92	151	287	211	191	32	21	527	706
C (要観察)	16	23	67	87	74	119	395	424	543	339	95	35	1,190	1,027
D (要医療)	4	2	22	17	17	21	100	70	156	61	31	6	330	177
合計	97	115	510	499	350	464	1,194	1,422	1,483	1,040	240	86	3,874	3,626



【所見】

所見	件												合計	
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
異常なし	67	71	352	299	205	231	547	641	569	449	82	24	1,822	1,715
胃ポリープ	11	33	83	134	51	132	119	280	176	164	21	16	461	759
萎縮性胃炎	2	4	13	18	21	29	153	154	252	160	49	12	490	377
慢性胃炎	4	2	18	21	25	35	148	126	205	100	26	14	426	298
十二指腸憩室	2	4	10	12	14	33	88	197	196	169	32	19	342	434
十二指腸潰瘍癒痕	4	0	30	8	22	5	70	31	68	27	13	5	207	76
胃潰瘍癒痕	2	0	5	2	9	1	51	15	61	13	4	2	132	33
胃粘膜下腫瘍	0	1	1	3	1	1	13	9	17	10	3	1	35	25
胃潰瘍	0	0	2	2	4	0	13	8	16	8	4	2	39	20
その他	5	2	18	14	25	21	157	120	238	114	71	22	514	293

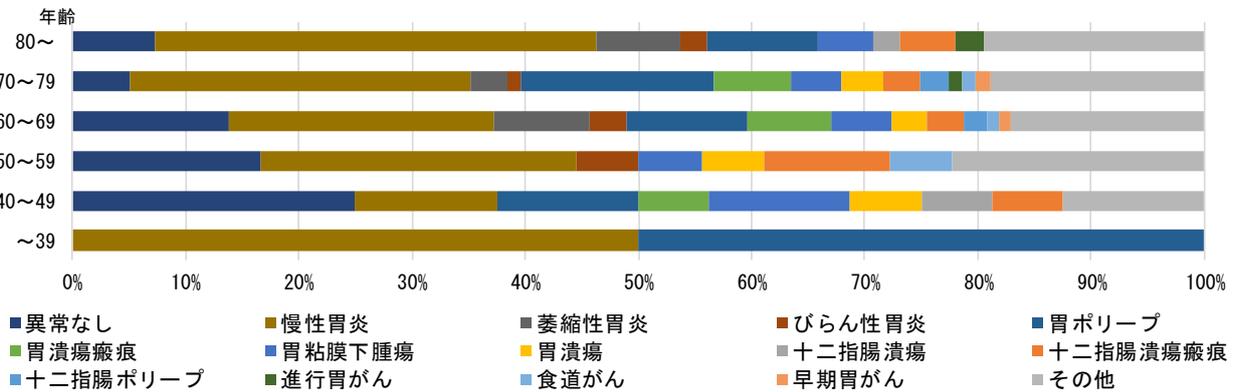


胃部X線

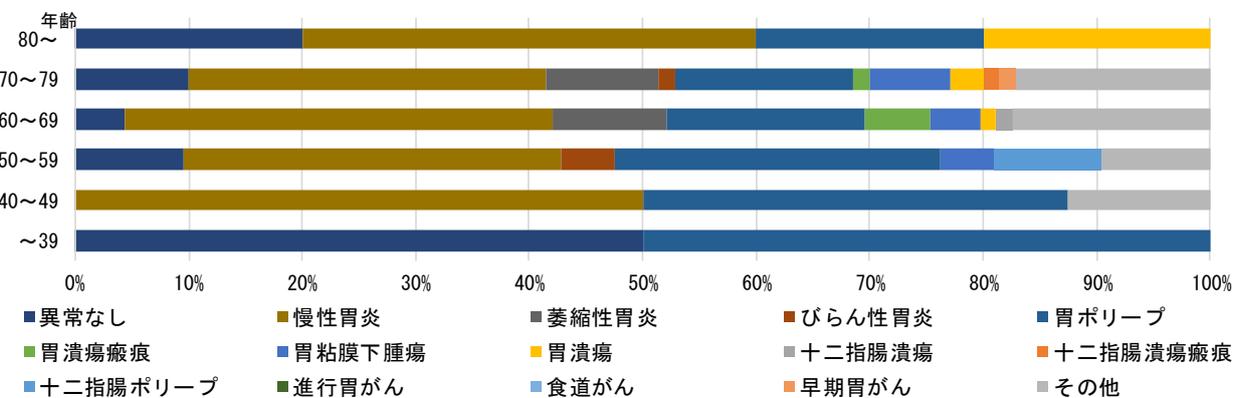
【精密検査結果】

年齢・性別													件	
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要精検者数	4	2	22	17	17	21	100	70	156	61	31	6	330	177
精検受診者数	2	2	13	7	13	17	73	56	120	52	25	3	246	137
異常なし	0	1	4	0	3	2	13	3	8	7	3	1	31	14
慢性胃炎	1	0	2	4	5	7	22	26	48	22	16	2	94	61
萎縮性胃炎	0	0	0	0	0	0	8	7	5	7	3	0	16	14
びらん性胃炎	0	0	0	0	1	1	3	0	2	1	1	0	7	2
胃ポリープ	1	1	2	3	0	6	10	12	27	11	4	1	44	34
胃潰瘍癒痕	0	0	1	0	0	0	7	4	11	1	0	0	19	5
胃粘膜下腫瘍	0	0	2	0	1	1	5	3	7	5	2	0	17	9
胃潰瘍	0	0	1	0	1	0	3	1	6	2	0	1	11	4
十二指腸潰瘍	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	1
十二指腸潰瘍癒痕	0	0	1	0	2	0	3	0	5	1	2	0	13	1
十二指腸ポリープ	0	0	0	0	0	2	2	0	4	0	0	0	6	2
進行胃がん	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	3	0
食道がん	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	4	0
早期胃がん	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	3	1
その他	0	0	2	1	4	2	16	12	30	12	8	0	60	27

(男性)



(女性)



胃部X線

【精密検査結果5年比較】

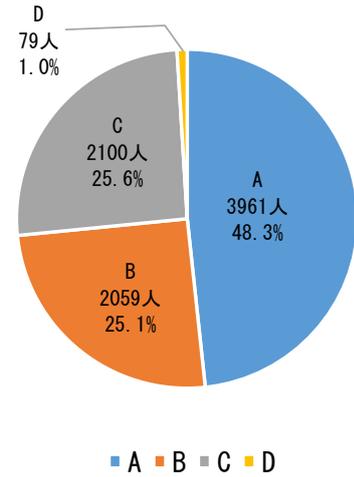
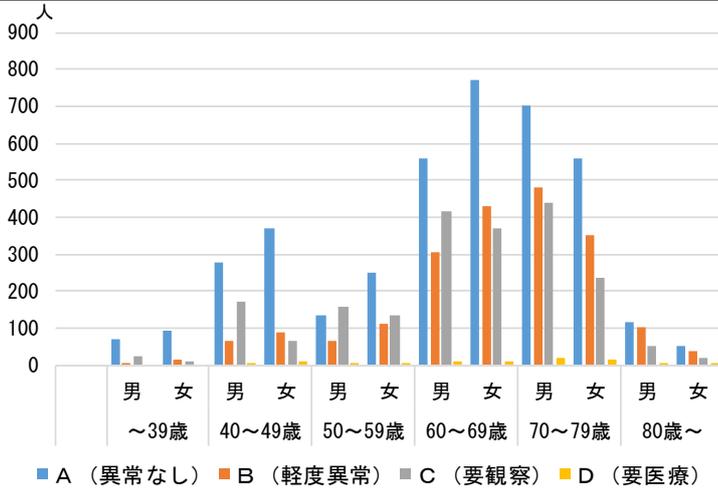
年度	人				
	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
要精検者数	213	423	502	390	507
精検受診者数	181	369	410	310	383
	(上段) 回答数		(下段) 回答内訳率		
異常なし	23 10.60%	36 8.24%	37 7.61%	22 6.01%	45 10.16%
慢性胃炎	55 25.35%	161 36.84%	178 36.63%	109 29.78%	155 34.99%
萎縮性胃炎	1 0.46%	0 0.00%	5 1.03%	4 1.09%	30 6.77%
びらん性胃炎	1 0.46%	0 0.00%	4 0.82%	0 0.00%	9 2.03%
胃ポリープ	34 15.67%	98 22.43%	101 20.78%	127 34.70%	78 17.61%
胃潰瘍癒痕	23 10.60%	41 9.38%	42 8.64%	19 5.19%	24 5.42%
胃粘膜下腫瘍	10 4.61%	18 4.12%	33 6.79%	13 3.55%	26 5.87%
胃潰瘍	16 7.37%	10 2.29%	18 3.70%	12 3.28%	15 3.39%
十二指腸潰瘍	8 3.69%	8 1.83%	7 1.44%	8 2.19%	3 0.68%
十二指腸潰瘍癒痕	12 5.53%	18 4.12%	16 3.29%	11 3.01%	14 3.16%
十二指腸ポリープ	1 0.46%	7 1.60%	12 2.47%	6 1.64%	8 1.81%
進行胃がん	4 1.84%	10 2.29%	3 0.62%	4 1.09%	3 0.68%
食道がん	0 0.00%	1 0.23%	1 0.21%	2 0.55%	4 0.90%
早期胃がん	2 0.92%	7 1.60%	7 1.44%	5 1.37%	4 0.90%
その他	27 12.44%	52 11.90%	80 16.46%	58 15.85%	87 19.64%

精検受診率は過去5年間で最も低い75.5%であった。後日指導が希望者だけになったため受診意識が低下したと思われる。年度別精密検査結果では、昨年と比べ食道がんの割合が増加し、ポリープや進行・早期胃がんが減少した。陽性反応的中率も5年間の比較において最も低かった。ポリープについては人間ドック学会の判定基準が変わったため紹介状の件数に比例し回答の件数も減少したと思われる。そのほか26年度から基準撮影法に変えたことにより手技の不慣れなところと撮影枚数の減少ががん発見率の低下につながったと思われる。食道がんに関しては撮影法に変化がないので新しい造影剤に変更したことによりバリウムの付着性が良くなり、病変の描出能が良くなったと思われる。今後の課題として当施設の大半の受診者が高齢者のため年齢にあった撮影法や追加撮影を行なうなどして精度を上げていきたいと思う。

腹部超音波 肝臓

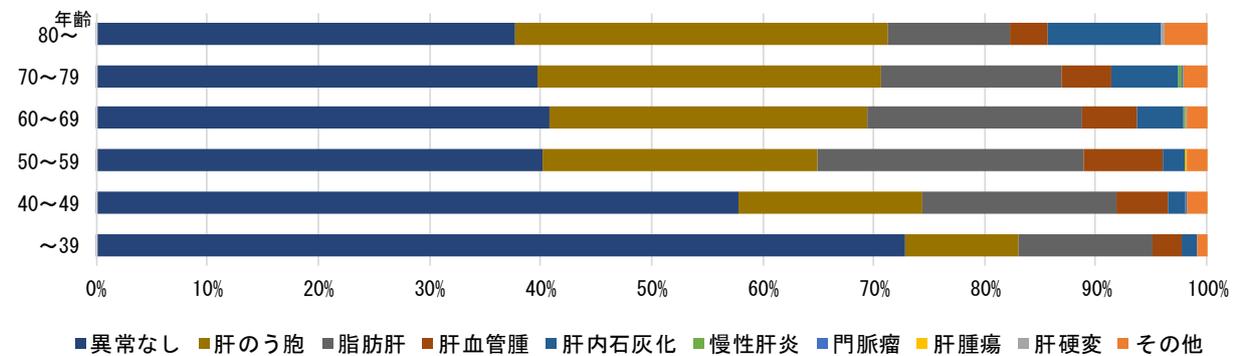
【検査結果】

判定	人												合計	
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
A (異常なし)	69	94	280	368	136	252	559	773	703	559	118	50	1,865	2,096
B (軽度異常)	6	16	65	89	65	113	306	428	480	352	103	36	1,025	1,034
C (要観察)	22	10	171	65	157	133	417	372	441	238	53	21	1,261	839
D (要医療)	0	0	4	9	5	2	12	12	17	14	2	2	40	39
合計	97	120	520	531	363	500	1,294	1,585	1,641	1,163	276	109	4,191	4,008



【所見】

所見	件												合計	
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
異常なし	69	94	280	368	136	252	560	773	703	559	118	50	1,866	2,096
肝のう胞	8	15	84	103	97	143	404	533	571	412	107	42	1,271	1,248
脂肪肝	20	7	154	42	143	88	354	275	339	175	32	17	1,042	604
肝血管腫	2	4	21	31	21	48	62	102	91	55	12	3	209	243
肝内石灰化	0	3	11	6	11	8	81	53	126	63	37	9	266	142
慢性肝炎	0	0	1	0	1	0	6	0	7	3	0	0	15	3
門脈瘤	0	0	0	1	0	0	0	1	3	1	0	0	3	3
肝腫瘍	0	0	0	0	1	0	2	0	0	2	0	0	3	2
肝硬変	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	3	1
その他	1	1	14	6	11	6	30	29	41	24	13	4	110	70

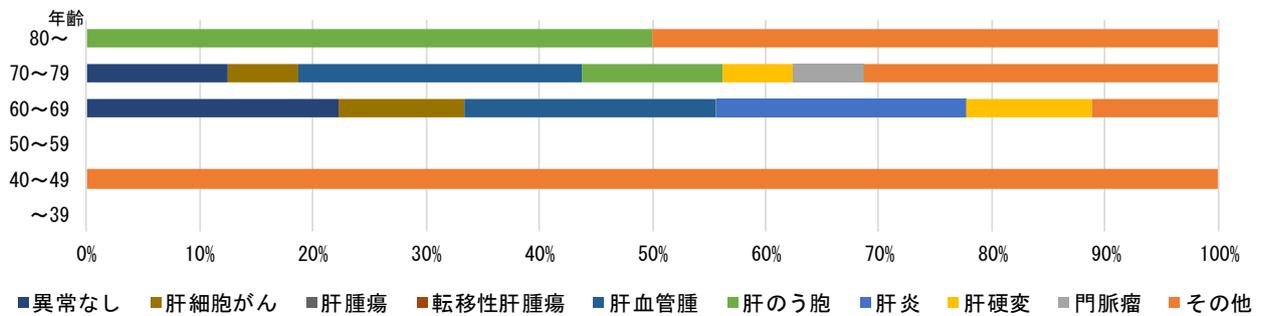


腹部超音波 肝臓

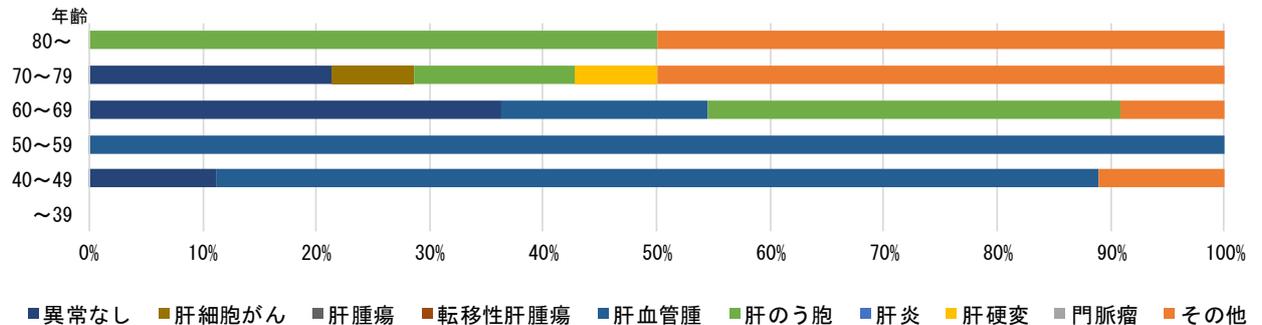
【精密検査結果】

年齢・性別	件													
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要精検者数	0	0	4	9	5	2	12	12	17	14	2	2	40	39
精検受診者数	0	0	1	9	0	2	7	9	13	13	2	1	23	34
異常なし	0	0	0	1	0	0	2	4	2	3	0	0	4	8
肝細胞がん	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	2	1
肝腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転移性肝腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肝血管腫	0	0	0	7	0	2	2	2	4	0	0	0	6	11
肝のう胞	0	0	0	0	0	0	0	4	2	2	1	1	3	7
肝炎	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0
肝硬変	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	2	1
門脈瘤	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
その他	0	0	1	1	0	0	1	1	5	7	1	1	8	10

(男性)



(女性)



腹部超音波 肝臓

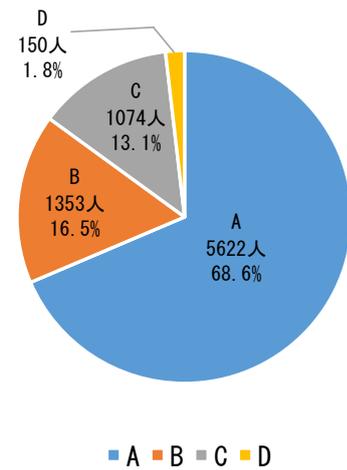
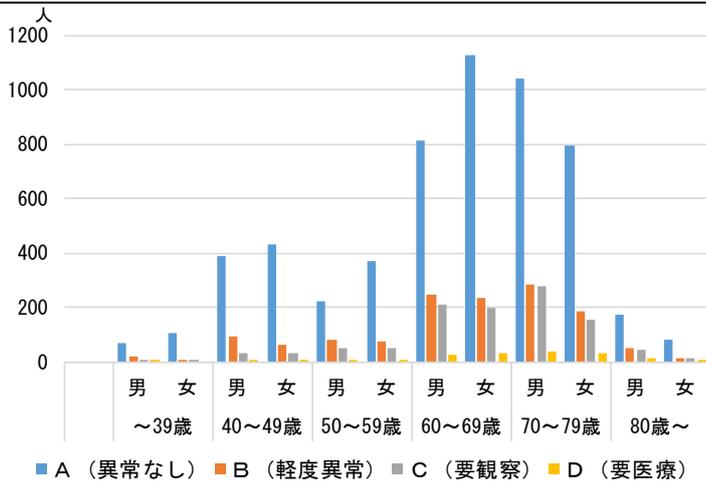
【精密検査結果5年比較】						人
年度	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	
要精検者数						79
精検受診者数						57
	(上段) 回答数		(下段) 回答内訳率			
異常なし	4	8	3	6	12	
	11.76%	14.81%	5.66%	6.90%	18.18%	
肝細胞がん	0	1	0	0	3	
	0.00%	1.85%	0.00%	0.00%	4.55%	
肝腫瘍	0	1	1	1	0	
	0.00%	1.85%	1.89%	1.15%	0.00%	
転移性肝腫瘍	0	0	0	0	0	
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
肝血管腫	20	17	23	40	17	
	58.82%	31.48%	43.40%	45.98%	25.76%	
肝のう胞	6	13	12	22	10	
	17.65%	24.07%	22.64%	25.29%	15.15%	
肝炎	0	1	1	2	2	
	0.00%	1.85%	1.89%	2.30%	3.03%	
肝硬変	0	1	1	4	3	
	0.00%	1.85%	1.89%	4.60%	4.55%	
門脈瘤	0	0	0	0	1	
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	1.52%	
その他	4	12	12	12	18	
	11.76%	22.22%	22.64%	13.79%	27.27%	

腹部超音波（肝臓）では有所見率51.7%で、肝のう胞が最も多く発見され2,519名30.7%、次いで脂肪肝1,646名20.1%、肝血管腫452名5.5%であった。有所見者4,238名のうち要精検者数79名、精検受診者数57名、要精検率0.96%、要精検率精検受診率72.2%で、精検受診率は昨年までの腹部超音波検査全体の割合とほぼ同じであった。しかし40～49、50～59歳男性の精検受診率はそれぞれ25.0%、0%で他の年齢層に比べ極端に低かった。精検によりがんと診断されたものは3例で、腹部超音波（肝臓）のがん発見率は0.04%陽性反応的中度3.8%であった。がん発見率は過去5年で最も高く、そのほか肝炎、肝硬変の回答内訳率も増加しており平成25、26年度は初回受診者が多かったことによるものと考えられる。

腹部超音波 胆のう

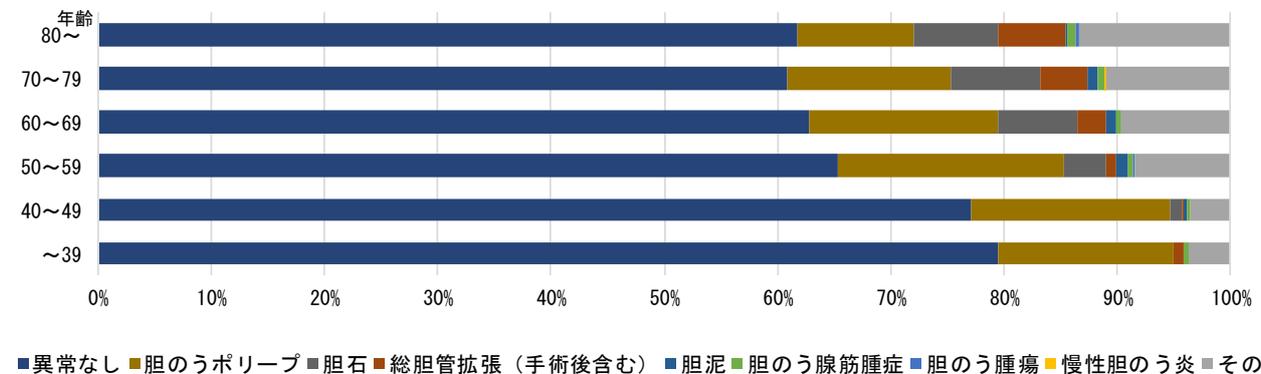
【検査結果】

判定	年齢												合計	
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
A (異常なし)	67	107	391	432	225	370	811	1,127	1,041	797	171	83	2,706	2,916
B (軽度異常)	19	10	95	62	82	76	246	234	283	183	51	12	776	577
C (要観察)	9	3	33	34	50	48	213	195	281	154	42	12	628	446
D (要医療)	2	0	1	3	6	6	24	29	36	29	12	2	81	69
合計	97	120	520	531	363	500	1,294	1,585	1,641	1,163	276	109	4,191	4,008



【所見】

所見	年齢												合計	
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
異常なし	67	108	391	432	225	370	810	1,126	1,039	798	171	83	2,703	2,917
胆のうポリープ	23	11	108	79	96	86	266	251	264	174	33	9	790	610
胆石	0	0	7	5	17	16	112	104	152	84	25	6	313	215
総胆管拡張 (手術後含む)	2	0	1	1	1	8	27	49	62	65	19	5	112	128
胆泥	0	0	0	3	6	3	13	15	12	12	0	1	31	34
胆のう腺筋腫症	1	0	0	3	4	0	11	4	11	8	3	0	30	15
胆のう腫瘍	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	0	2	3
慢性胆のう炎	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
その他	7	1	21	16	45	32	170	127	219	113	47	8	509	297

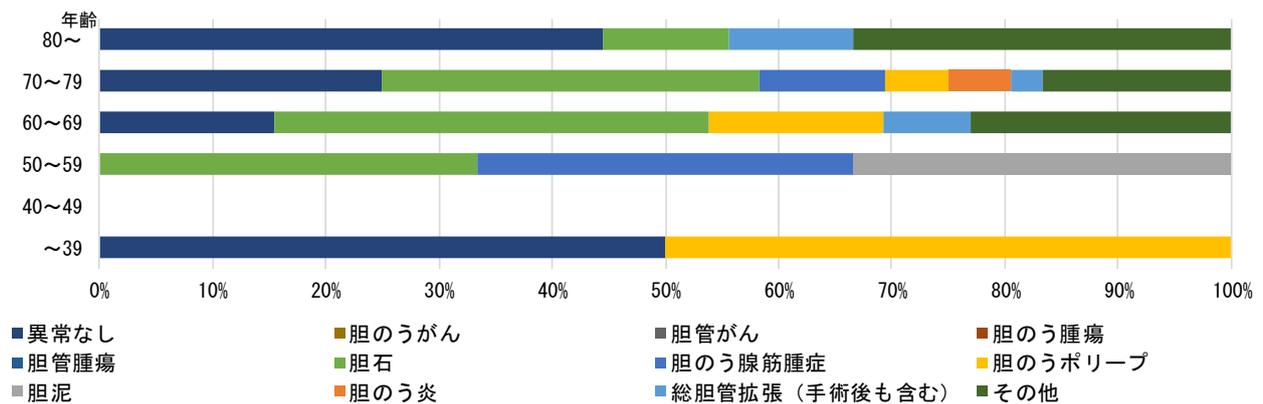


腹部超音波 胆のう

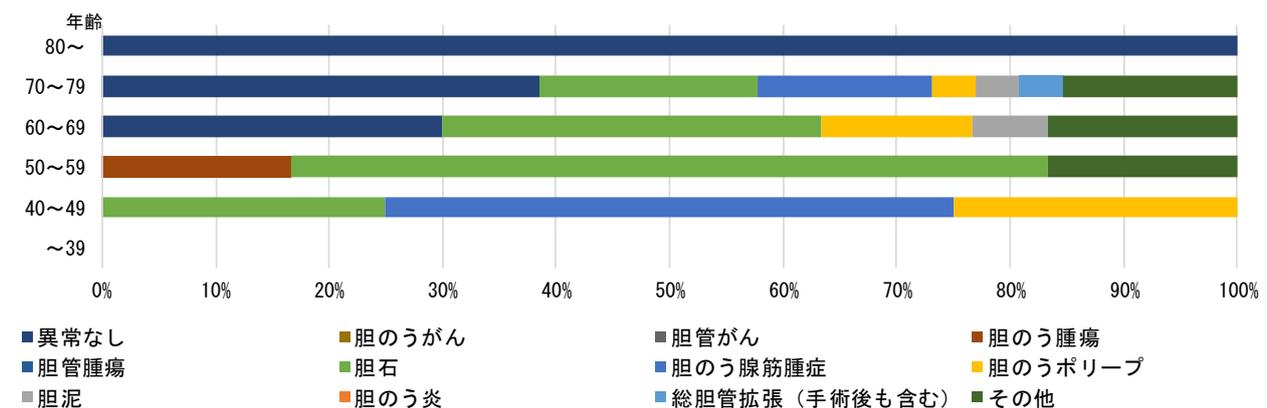
【精密検査結果】

年齢・性別	件													
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要精検者数	2	0	1	3	6	6	24	29	36	29	12	2	81	69
精検受診者数	2	0	0	3	2	6	13	26	30	25	9	1	56	61
異常なし	1	0	0	0	0	0	2	9	9	10	4	1	16	20
胆のうがん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胆管がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胆のう腫瘍	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
胆管腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胆石	0	0	0	1	1	4	5	10	12	5	1	0	19	20
胆のう腺筋腫症	0	0	0	2	1	0	0	0	4	4	0	0	5	6
胆のうポリープ	1	0	0	1	0	0	2	4	2	1	0	0	5	6
胆泥	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	1	3
胆のう炎	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0
総胆管拡張（手術後も含む）	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	3	1
その他	0	0	0	0	0	1	3	5	6	4	3	0	12	10

(男性)



(女性)



腹部超音波 胆のう

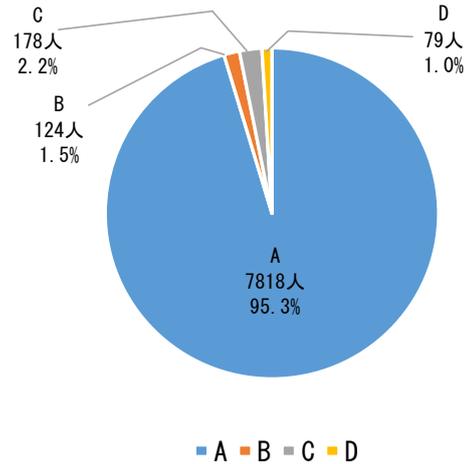
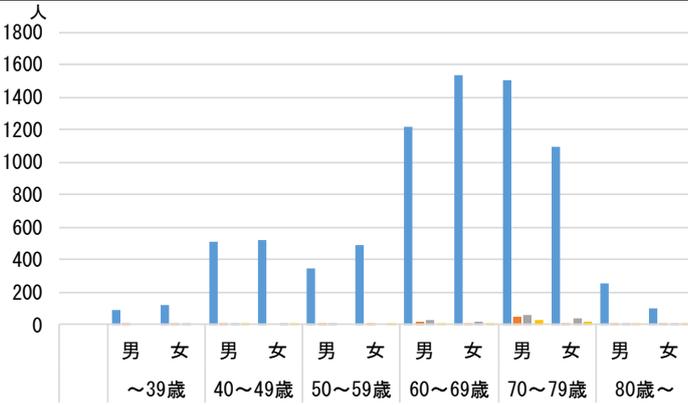
【精密検査結果5年比較】						人
年度	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	
要精検者数						150
精検受診者数						117
	(上段) 回答数		(下段) 回答内訳率			
異常なし	3 9.68%	4 6.90%	5 11.11%	12 16.44%	36 27.69%	
胆のうがん	1 3.23%	1 1.72%	0 0.00%	2 2.74%	0 0.00%	
胆管がん	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	
胆のう腫瘍	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	1 0.77%	
胆管腫瘍	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	
胆のう結石	13 41.94%	27 46.55%	14 31.11%	29 39.73%	39 30.00%	
胆のう腺筋腫症	5 16.13%	7 12.07%	4 8.89%	13 17.81%	11 8.46%	
胆のうポリープ	4 12.90%	6 10.34%	14 31.11%	10 13.70%	11 8.46%	
胆泥	2 6.45%	0 0.00%	2 4.44%	2 2.74%	4 3.08%	
胆のう炎	1 3.23%	2 3.45%	1 2.22%	0 0.00%	2 1.54%	
総胆管拡張	1 3.23%	7 12.07%	2 4.44%	2 2.74%	4 3.08%	
その他	1 3.23%	4 6.90%	3 6.67%	3 4.11%	22 16.92%	

腹部超音波(胆のう)では有所見率31.4%で、胆のうポリープが最も多く発見され17.1%、次いで胆石6.4%、総胆管拡張(手術後含む)2.9%であった。有所見者2,577名のうち要精検者150名、精検受診者数117名、要精検率は1.8%、精密検査受診率は78.0%であった。精検受診率は昨年までの腹部超音波検査全体の割合よりやや高かった。しかし50~59、60~69歳の男性精検受診率はそれぞれ33.3%、54.2%で他の年齢層に比べ低かった。精検によりがんと診断されたものは無かった。精検結果では胆のう腫瘍が1名で0.77%あった。精検結果を5年比較してみるとがん発見者率・陽性反応的中度に大きな変化は認められなかった。その他の精検結果では胆のう結石が最も多く30.0%、次いで異常なしが27.7%、その他が16.9%、胆のう腺筋腫症と胆のうポリープがそれぞれ8.5%であった。平成26年は新規受診者が増え経年変化を比較できないため精検者数・精検率ともに上昇したと考えられる。

腹部超音波 膵臓

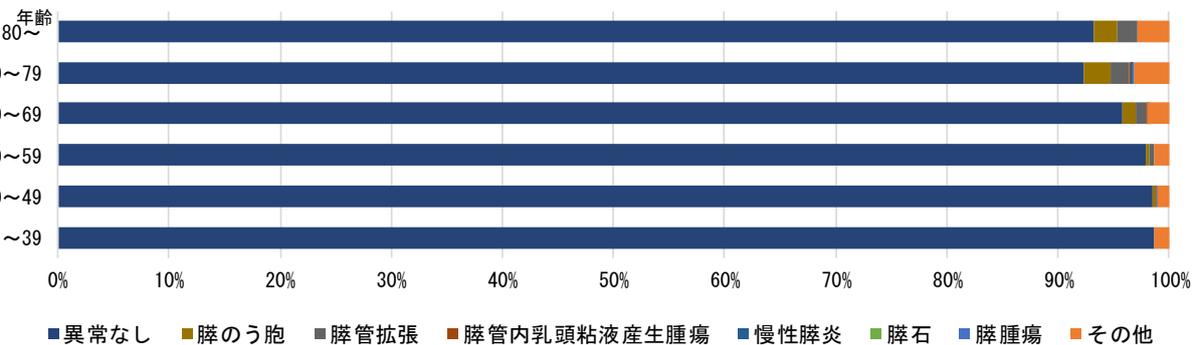
【検査結果】

判定													人	
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
A (異常なし)	96	118	508	527	350	496	1,222	1,539	1,506	1,095	256	105	3,938	3,880
B (軽度異常)	1	1	7	0	9	1	23	14	47	14	6	1	93	31
C (要観察)	0	1	4	2	4	0	34	25	61	36	9	2	112	66
D (要医療)	0	0	1	2	0	3	15	7	27	18	5	1	48	31
合計	97	120	520	531	363	500	1,294	1,585	1,641	1,163	276	109	4,191	4,008



【所見】

所見													件	
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
異常なし	96	119	509	527	349	496	1,226	1,544	1,510	1,104	256	105	3,946	3,895
膵のう胞	0	0	1	2	1	2	14	22	29	37	5	3	50	66
膵管拡張	0	0	0	1	2	1	18	6	34	15	6	1	60	24
膵管内乳頭粘液産生腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	3	2	2	0	0	2	5
慢性膵炎	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	2	1
膵石	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1
膵腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	2
その他	1	2	10	1	11	1	42	13	77	13	11	0	152	30

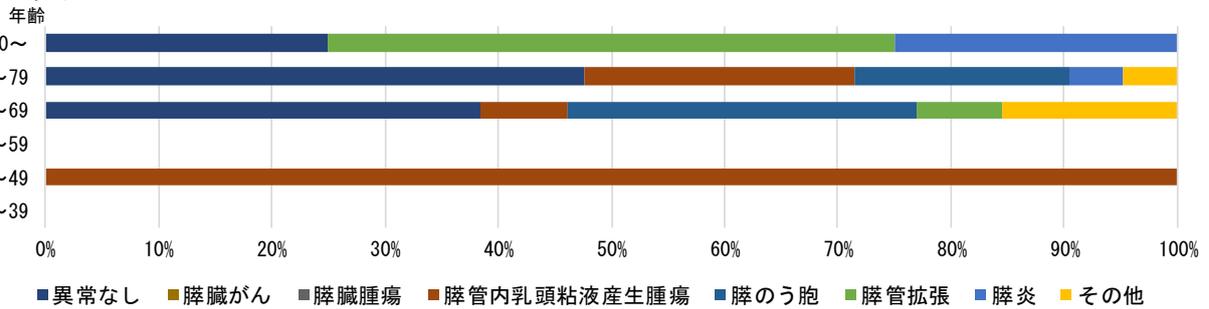


腹部超音波 膵臓

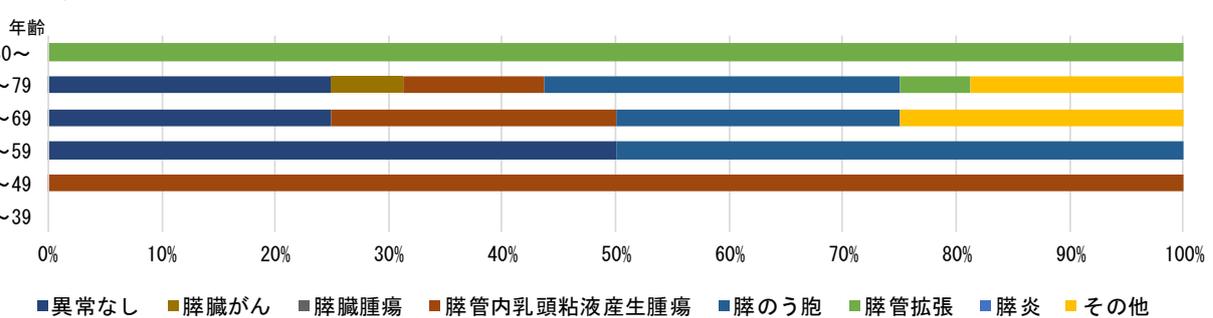
【精密検査結果】

年齢・性別	件													
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要精検者数	0	0	1	2	0	3	15	7	27	18	5	1	48	31
精検受診者数	0	0	1	1	0	2	13	7	21	15	4	0	39	25
異常なし	0	0	0	0	0	1	5	2	10	4	1	0	16	7
膵臓がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
膵臓腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
膵管内乳頭粘液産生腫瘍	0	0	1	1	0	0	1	2	5	2	0	0	7	5
膵のう胞	0	0	0	0	0	1	4	2	4	5	0	0	8	8
膵管拡張	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	3	2
膵炎	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0
その他	0	0	0	0	0	0	2	2	1	3	0	0	3	5

(男性)



(女性)



腹部超音波 膵臓

【精密検査結果5年比較】

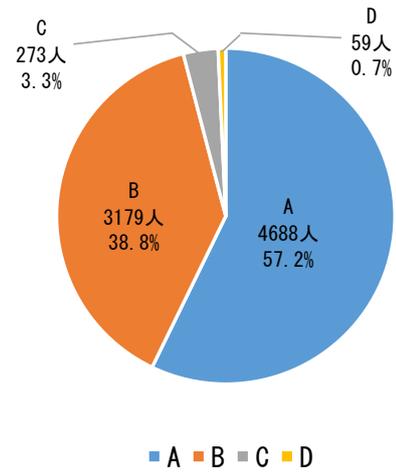
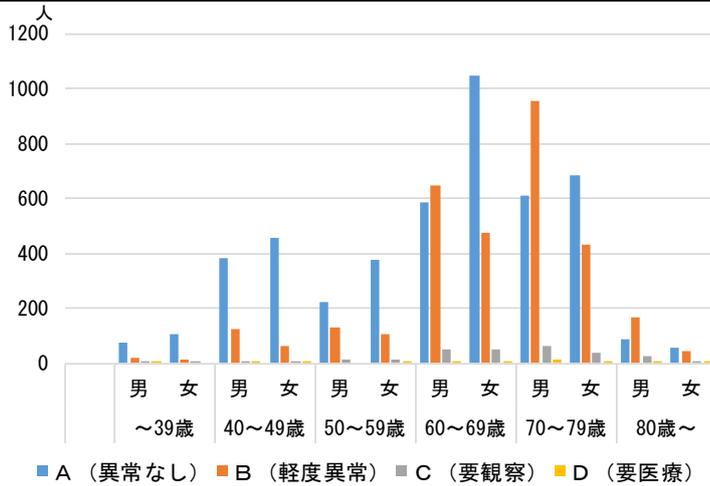
年度	人				
	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
要精検者数	79				
精検受診者数	64				
	(上段) 回答数		(下段) 回答内訳率		
異常なし	3 23.08%	8 24.24%	16 32.00%	34 30.91%	23 34.33%
膵臓がん	1 7.69%	0 0.00%	0 0.00%	3 2.73%	1 1.49%
膵臓腫瘍	1 7.69%	1 3.03%	3 6.00%	0 0.00%	0 0.00%
膵管内乳頭粘液産生腫瘍	1 7.69%	8 24.24%	10 20.00%	24 21.82%	12 17.91%
膵のう胞	3 23.08%	13 39.39%	16 32.00%	34 30.91%	16 23.88%
膵管拡張	1 7.69%	3 9.09%	1 2.00%	5 4.55%	5 7.46%
膵炎	2 15.38%	0 0.00%	4 8.00%	7 6.36%	2 2.99%
その他	1 7.69%	0 0.00%	0 0.00%	3 2.73%	8 11.94%

腹部超音波(膵臓)では有所見率が4.7%で、膵のう胞が最も多く発見され116名で、次いで膵管拡張が84名であった。有所見者381名のうち要精検者数は79名、要精検率1.0%で、要精検受診者数は64名、精検受診率81.0%であった。精密検査の結果は異常なしがもっとも多く34.3%であった。次いで膵のう胞が23.9%、膵管内乳頭粘液産生腫瘍が17.9%、膵管拡張が7.5%であった。膵臓がんは1名発見され、がん発見者率は0.01%、陽性反応的中度は1.27%であった。精検受診率が全臓器精検受診率よりも高かった。膵腫瘍は早期発見が難しいことが知られているためと推測される。過去5年間の精密検査回答数は平成25年が一番多かった。理由は膵管拡張の所見にたいして拡大してから計測と座位での検査を検者側が徹底したことにより精密検査回答数が増えたため、平成26年度に要精密検査数が少ないのは、一度医療機関で精密検査を受けた受診者が再度受診しているためと思われる。

腹部超音波 腎臓

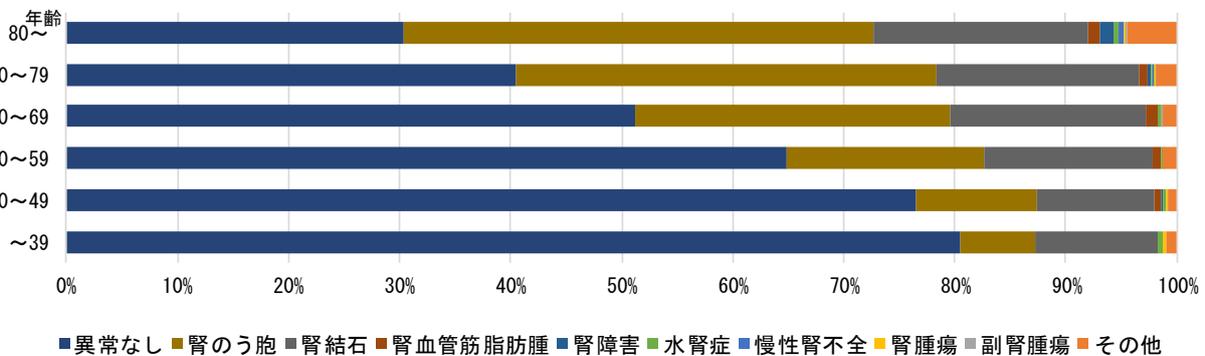
【検査結果】

判定	人													
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
A (異常なし)	77	105	383	456	220	376	583	1,048	612	685	85	58	1,960	2,728
B (軽度異常)	18	13	125	60	132	106	650	478	952	433	167	45	2,044	1,135
C (要観察)	1	2	7	9	11	15	51	49	63	38	23	4	156	117
D (要医療)	1	0	5	6	0	3	10	10	14	7	1	2	31	28
合計	97	120	520	531	363	500	1,294	1,585	1,641	1,163	276	109	4,191	4,008



【所見】

所見	件													
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
異常なし	77	105	383	456	220	376	583	1,048	614	686	86	58	1,963	2,729
腎のう胞	8	7	78	42	98	66	544	356	859	355	159	41	1,746	867
腎結石	15	10	83	33	74	65	316	243	417	168	73	18	978	537
腎血管筋脂肪腫	0	0	3	4	0	7	10	25	12	15	5	0	30	51
腎障害	0	0	1	0	0	0	1	1	8	1	6	0	16	2
水腎症	1	0	2	2	0	1	3	3	1	6	1	1	8	13
慢性腎不全	0	0	0	0	0	0	0	1	3	2	2	0	5	3
腎腫瘍	1	0	0	1	0	1	2	1	0	2	1	0	4	5
副腎腫瘍	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	1	0	2	3
その他	1	1	3	6	4	7	21	20	44	15	14	7	87	56

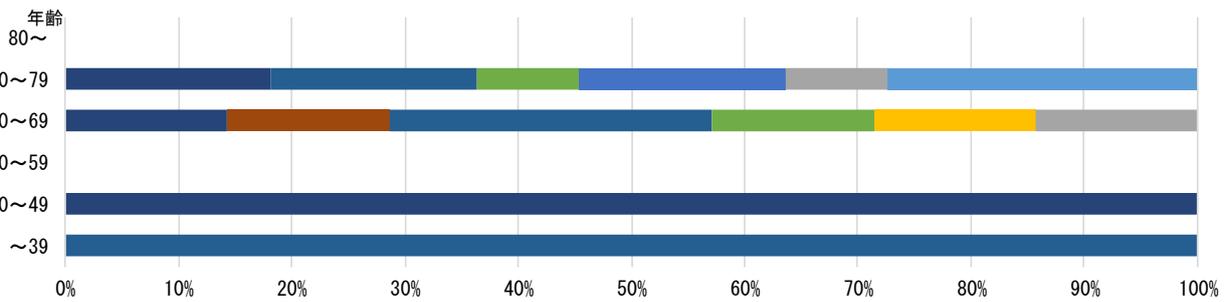


腹部超音波 腎臓

【精密検査結果】

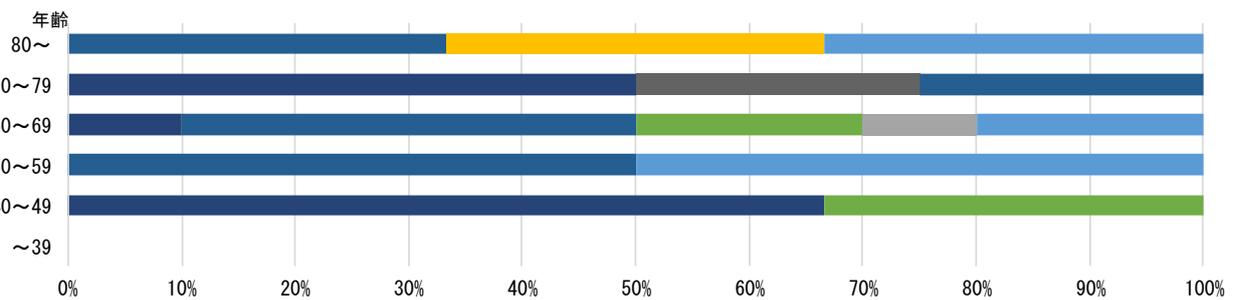
年齢・性別	件													
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要精検者数	1	0	5	6	0	3	10	10	14	7	1	2	31	28
精検受診者数	1	0	1	3	0	2	6	9	9	4	0	1	17	19
異常なし	0	0	1	2	0	0	1	1	2	2	0	0	4	5
腎細胞がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
副腎腫瘍	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
腎のう胞	1	0	0	0	0	1	2	4	2	1	0	1	5	7
腎血管筋脂肪腫	0	0	0	1	0	0	1	2	1	0	0	0	2	3
慢性腎臓病	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0
腎結石	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1
水腎症	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	2	1
尿管結石	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	1	0	2	3	0	0	1	3	4

(男性)



■ 異常なし ■ 腎細胞がん ■ 腎腫瘍 ■ 副腎腫瘍 ■ 腎のう胞 ■ 腎血管筋脂肪腫 ■ 慢性腎臓病 ■ 腎結石 ■ 水腎症 ■ 尿管結石 ■ その他

(女性)



■ 異常なし ■ 腎細胞がん ■ 腎腫瘍 ■ 副腎腫瘍 ■ 腎のう胞 ■ 腎血管筋脂肪腫 ■ 慢性腎臓病 ■ 腎結石 ■ 水腎症 ■ 尿管結石 ■ その他

腹部超音波 腎臓

【精密検査結果5年比較】

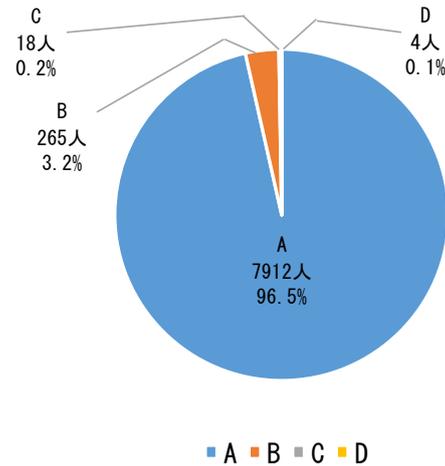
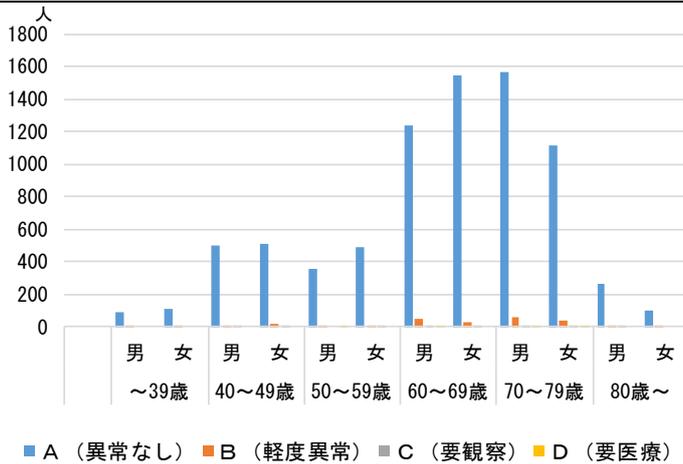
年度	人				
	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
要精検者数	59				
精検受診者数	36				
	(上段) 回答数		(下段) 回答内訳率		
異常なし	0 0.00%	2 6.45%	3 8.82%	4 9.76%	9 21.43%
腎細胞がん	1 7.14%	0 0.00%	1 2.94%	2 4.88%	0 0.00%
腎腫瘍	1 7.14%	1 3.23%	0 0.00%	3 7.32%	1 2.38%
副腎腫瘍	0 0.00%	0 0.00%	2 5.88%	0 0.00%	1 2.38%
腎のう胞	7 50.00%	17 54.84%	17 50.00%	10 24.39%	12 28.57%
腎血管筋脂肪腫	1 7.14%	4 12.90%	1 2.94%	4 9.76%	5 11.90%
慢性腎臓病	0 0.00%	0 0.00%	1 2.94%	1 2.44%	2 4.76%
腎結石	0 0.00%	3 9.68%	5 14.71%	7 17.07%	2 4.76%
水腎症	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	3 7.14%
尿管結石	1 7.14%	2 6.45%	2 5.88%	6 14.63%	0 0.00%
その他	3 21.43%	2 6.45%	2 5.88%	4 9.76%	7 16.67%

腹部超音波(腎臓)では有所見率42.8%で、腎のう胞が最も多く発見され31.9%、次いで腎結石18.5%、腎血管筋脂肪腫1.0%であった。有所見者3,511名のうち要精検者59名、精検受診者36名、要精検率は0.7%、精密検査受診率61.0%であった。精検受診率は昨年までの腹部超音波検査全体の割合より低かった。また40~49歳男性の精検受診率は20.0%と他の年齢層に比べ低かった。精検によりがんと診断されたものは無かった。精検による腎腫瘍は2名で4.8%であった。精検結果を5年比較してみるとがん発見者率・陽性反応的中度に大きな変化は認められなかった。その他の精検結果では腎のう胞がもっとも多く28.6%であった。次いで異常なしが21.4%、その他が16.7%、腎血管筋脂肪腫が11.9%であった。平成26年は新規受診者が増え経年変化を比較できないため精検者数・精検率ともに上昇したと考えられる。

腹部超音波 脾臓

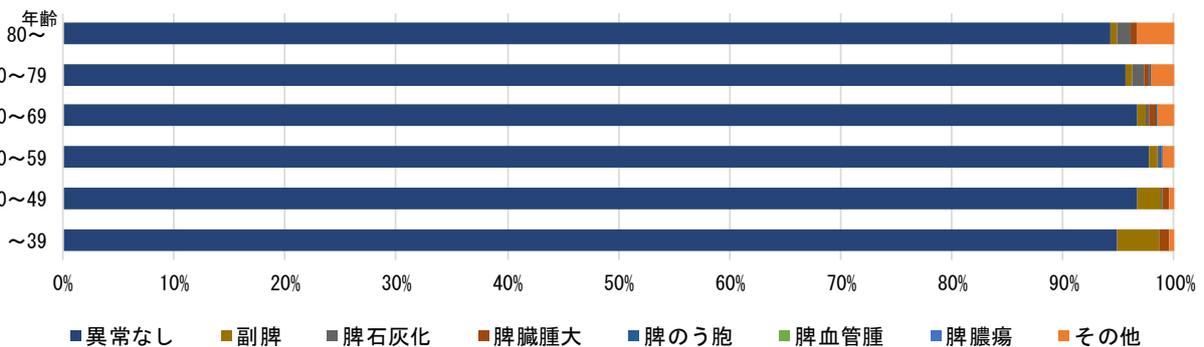
【検査結果】

判定	人												合計	
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
A (異常なし)	92	114	505	513	354	490	1,241	1,547	1,569	1,120	263	104	4,024	3,888
B (軽度異常)	5	6	13	17	8	9	50	35	66	39	12	5	154	111
C (要観察)	0	0	2	1	0	1	2	3	5	3	1	0	10	8
D (要医療)	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	3	1
合計	97	120	520	531	363	500	1,294	1,585	1,641	1,163	276	109	4,191	4,008



【所見】

所見	件												合計	
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
異常なし	92	115	506	513	354	490	1,241	1,549	1,568	1,126	262	103	4,023	3,896
副脾	3	5	7	14	1	5	8	13	10	5	1	1	30	43
脾石灰化	0	0	0	2	1	0	5	6	14	16	3	2	23	26
脾臓腫大	2	0	5	2	1	0	12	2	9	3	1	1	30	8
脾のう胞	0	0	0	0	0	1	1	3	1	3	0	0	2	7
脾血管腫	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	2
脾膿瘍	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
その他	0	1	4	0	5	4	31	13	40	18	11	2	91	38

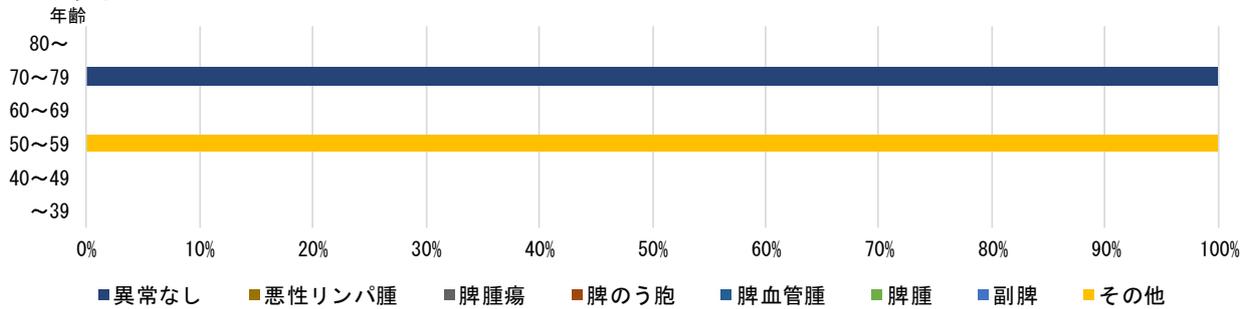


腹部超音波 脾臓

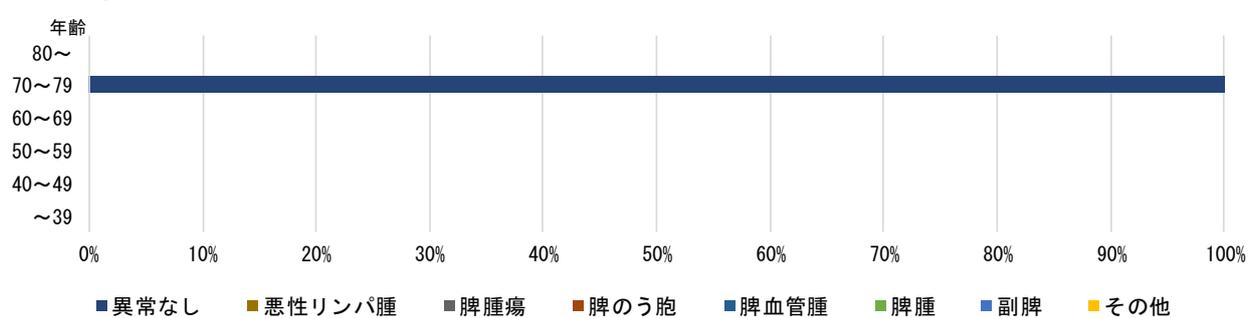
【精密検査結果】

年齢・性別													件	
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要精検者数	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	3	1
精検受診者数	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	2	1
異常なし	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1
悪性リンパ腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脾腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脾のう胞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脾血管腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脾腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
副脾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0

(男性)



(女性)



腹部超音波 脾臓

【精密検査結果5年比較】

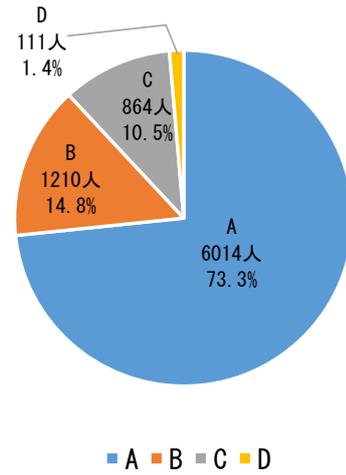
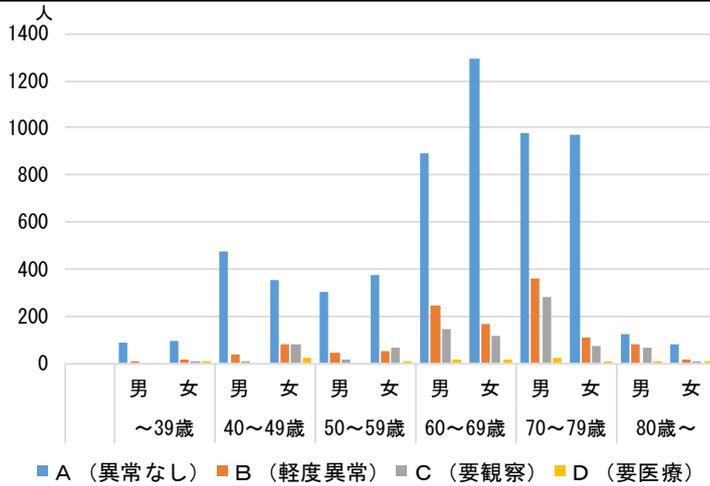
年度	(上段) 回答数				(下段) 回答内訳率	
	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	人
要精検者数						4
精検受診者数						3
異常なし	0	0	0	0	0	2
	0.00%		0.00%			66.67%
悪性リンパ腫	1	0	1	0	0	0
	100.00%		50.00%			0.00%
脾腫瘍	0	0	0	0	0	0
	0.00%		0.00%			0.00%
脾のう胞	0	0	0	0	0	0
	0.00%		0.00%			0.00%
脾血管腫	0	0	0	0	0	0
	0.00%		0.00%			0.00%
脾腫	0	0	1	0	0	0
	0.00%		50.00%			0.00%
副脾	0	0	0	0	0	0
	0.00%		0.00%			0.00%
その他	0	0	0	0	0	1
	0.00%		0.00%			33.33%

A（異常なし）の大半は、肋骨の影響で脾実質が一部欠損しており描出可能範囲内異常なしである。有所見率3.5%であり副脾が最も多く発見され0.9%次いで脾石灰化0.6%であった。要精検率は0.1%で精検受診率75.0%であった。精密検査の結果は異常なしが2名、脾石灰化が1名であった。

腹部超音波 その他

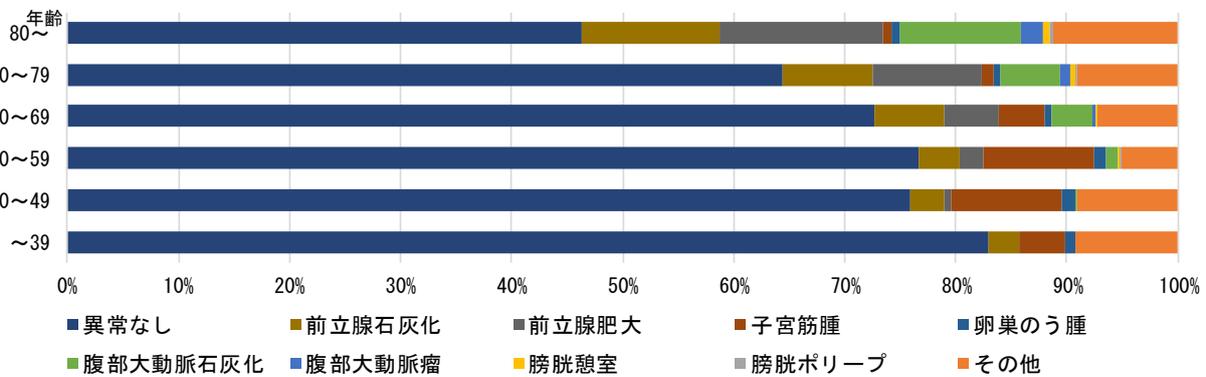
【検査結果】

判定	人													
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
A (異常なし)	87	94	473	351	301	374	893	1,290	975	970	123	83	2,852	3,162
B (軽度異常)	10	14	40	79	47	53	245	163	359	109	77	14	778	432
C (要観察)	0	8	7	78	15	67	143	115	281	75	66	9	512	352
D (要医療)	0	4	0	23	0	6	13	17	26	9	10	3	49	62
合計	97	120	520	531	363	500	1,294	1,585	1,641	1,163	276	109	4,191	4,008



【所見】

所見	件													
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
異常なし	87	93	472	346	300	376	889	1,301	980	981	125	85	2,853	3,182
前立腺石灰化	6	0	33	0	32	0	189	0	248	0	56	0	564	0
前立腺肥大	0	0	7	0	19	0	150	0	295	0	67	0	538	0
子宮筋腫	0	9	0	107	0	87	0	123	0	33	0	3	0	362
卵巣のう腫	0	2	0	13	0	10	0	21	0	18	0	4	0	68
腹部大動脈石灰化	0	0	0	2	6	3	57	53	96	71	38	11	197	140
腹部大動脈瘤	0	0	0	0	0	0	5	1	24	2	8	1	37	4
膀胱憩室	0	0	0	0	2	0	5	1	8	4	2	1	17	6
膀胱ポリープ	0	0	0	0	0	1	0	2	3	3	1	0	4	6
その他	4	16	12	86	8	37	98	119	190	87	42	9	354	354

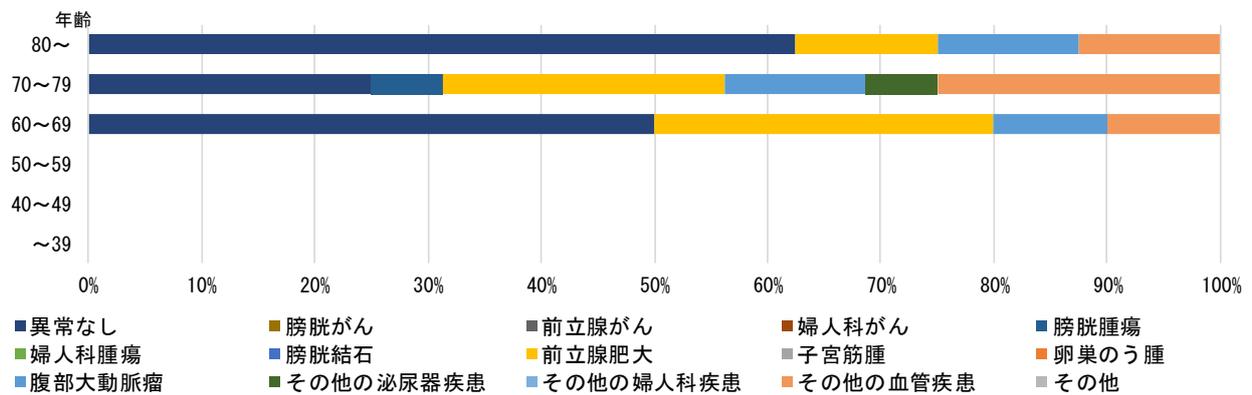


腹部超音波 その他

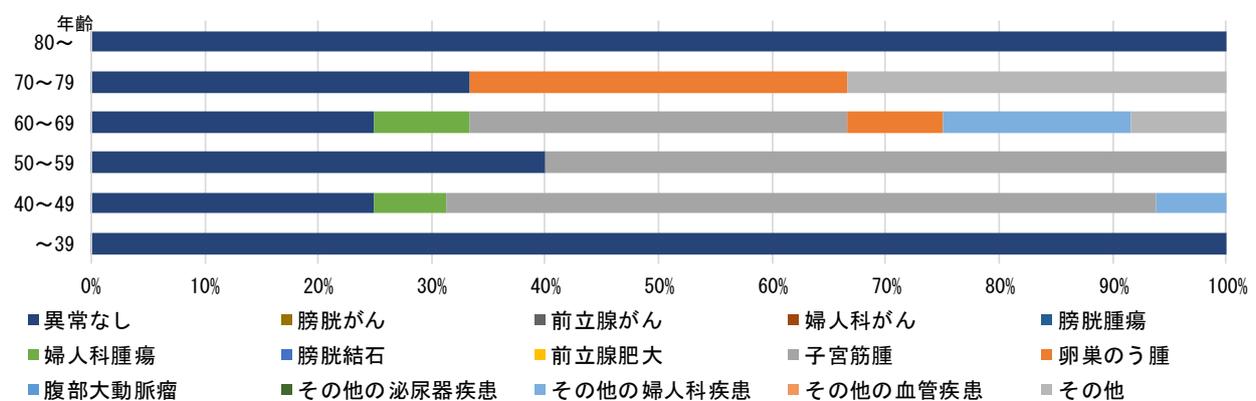
【精密検査結果】

年齢・性別	件													
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要精検者数	0	4	0	23	0	6	13	17	26	9	10	3	49	62
精検受診者数	0	1	0	15	0	5	9	12	16	3	7	1	32	37
異常なし	0	1	0	4	0	2	5	3	4	1	5	1	14	12
膀胱がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前立腺がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
膀胱腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
婦人科腫瘍	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
膀胱結石	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前立腺肥大	0	0	0	0	0	0	3	0	4	0	1	0	8	0
子宮筋腫	0	0	0	10	0	3	0	4	0	0	0	0	0	17
卵巣のう腫	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
腹部大動脈瘤	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	4	0
その他の泌尿器疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
その他の婦人科疾患	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
その他の血管疾患	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	1	0	6	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2

(男性)



(女性)



腹部超音波 その他

【精密検査結果5年比較】

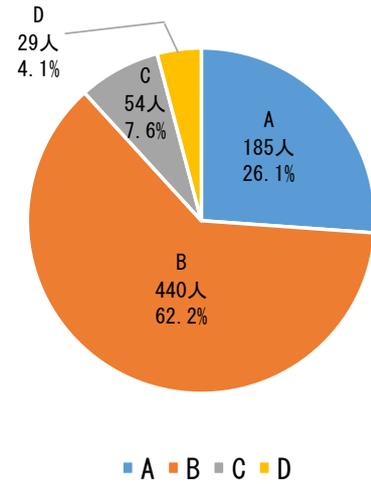
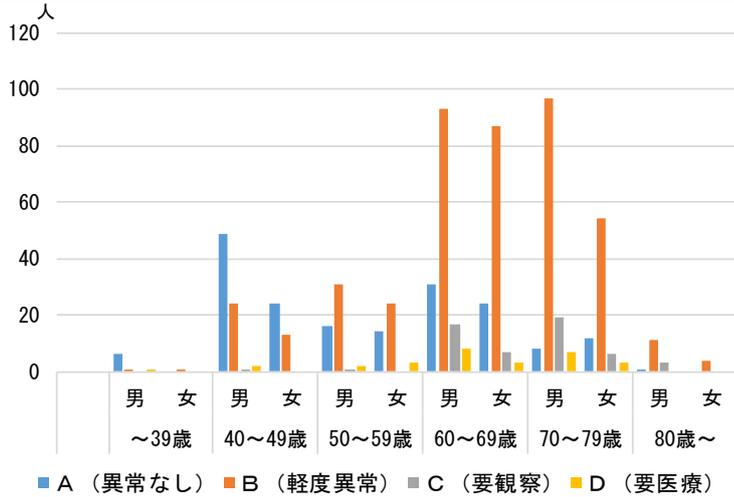
年度	人				
	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
要精検者数	111				
精検受診者数	69				
	(上段) 回答数		(下段) 回答内訳率		
異常なし	13 25.00%	5 10.64%	11 14.86%	8 11.94%	26 39.39%
膀胱がん	5 9.62%	3 6.38%	3 4.05%	8 11.94%	0 0.00%
前立腺がん	0 0.00%	1 2.13%	2 2.70%	0 0.00%	0 0.00%
婦人科がん	1 1.92%	1 2.13%	0 0.00%	1 1.49%	0 0.00%
膀胱腫瘍	1 1.92%	1 2.13%	0 0.00%	2 2.99%	1 1.52%
婦人科腫瘍	2 3.85%	0 0.00%	6 8.11%	0 0.00%	2 3.03%
膀胱結石	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%
前立腺肥大	16 30.77%	13 27.66%	19 25.68%	6 8.96%	8 12.12%
子宮筋腫	5 9.62%	8 17.02%	14 18.92%	17 25.37%	17 25.76%
卵巣のう腫	1 1.92%	9 19.15%	4 5.41%	12 17.91%	2 3.03%
腹部大動脈瘤	3 5.77%	2 4.26%	11 14.86%	7 10.45%	4 6.06%
その他の泌尿器疾患	3 5.77%	2 4.26%	1 1.35%	3 4.48%	1 1.52%
その他の婦人科疾患	0 0.00%	0 0.00%	1 1.35%	1 1.49%	3 4.55%
その他の血管疾患	1 1.92%	1 2.13%	5 6.76%	2 2.99%	6 9.09%
その他	1 1.92%	0 0.00%	1 1.35%	0 0.00%	2 3.03%

有所見率は全体で26.6%男性31.9%女性21.1%であった。男性では前立腺石灰化が最も多く発見され13.5%次いで前立腺肥大12.8%であった。女性では子宮筋腫が最も多く発見され9.0%であった。そのほか腹部大動脈石灰化も多く発見され4.1%であった。有所見者2,185名のうち要精検者数111名要精検率1.4%精検受診率62.2%であった。平成26年度はがんの回答はなく、がん発見率は過去5年間で最も低かった。

胸部断層X線

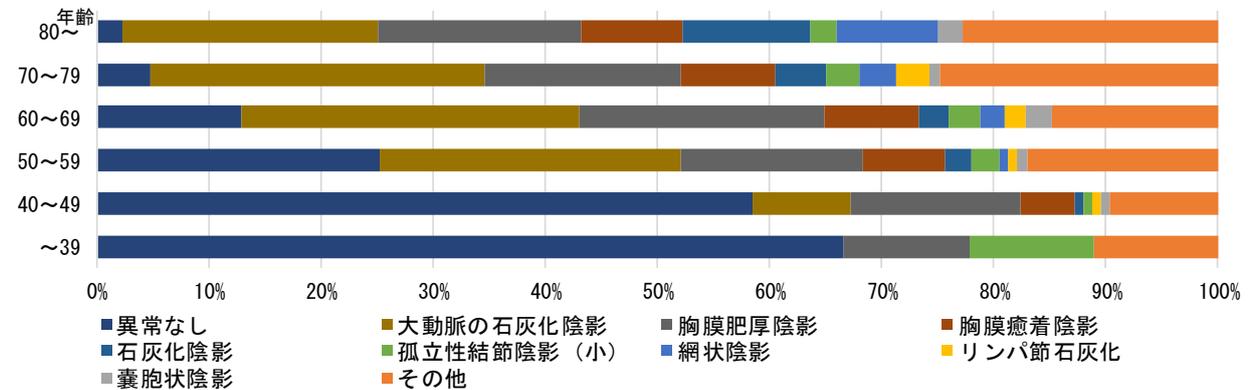
【検査結果】

判定	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
A (異常なし)	6	0	49	24	16	14	31	24	8	12	1	0	111	74
B (軽度異常)	1	1	24	13	31	24	93	87	97	54	11	4	257	183
C (要観察)	0	0	1	0	1	0	17	7	19	6	3	0	41	13
D (要医療)	1	0	2	0	2	3	8	3	7	3	0	0	20	9
合計	8	1	76	37	50	41	149	121	131	75	15	4	429	279



【所見】

所見	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
異常なし	6	0	49	24	16	15	31	24	7	12	1	0	110	75
大動脈の石灰化陰影	0	0	7	4	20	13	69	61	77	43	6	4	179	125
胸膜肥厚陰影	0	1	11	8	8	12	48	46	52	19	6	2	125	88
胸膜癒着陰影	0	0	5	1	5	4	21	15	24	10	4	0	59	30
石灰化陰影	0	0	1	0	3	0	7	5	15	3	5	0	31	8
孤立性結節陰影 (小)	1	0	0	1	2	1	8	4	9	3	1	0	21	9
網状陰影	0	0	0	0	1	0	7	2	13	0	4	0	25	2
リンパ節石灰化	0	0	1	0	1	0	2	6	6	6	0	0	10	12
嚢胞状陰影	0	0	1	0	1	0	10	0	4	0	1	0	17	0
その他	1	0	8	4	12	9	38	26	61	39	9	1	129	79



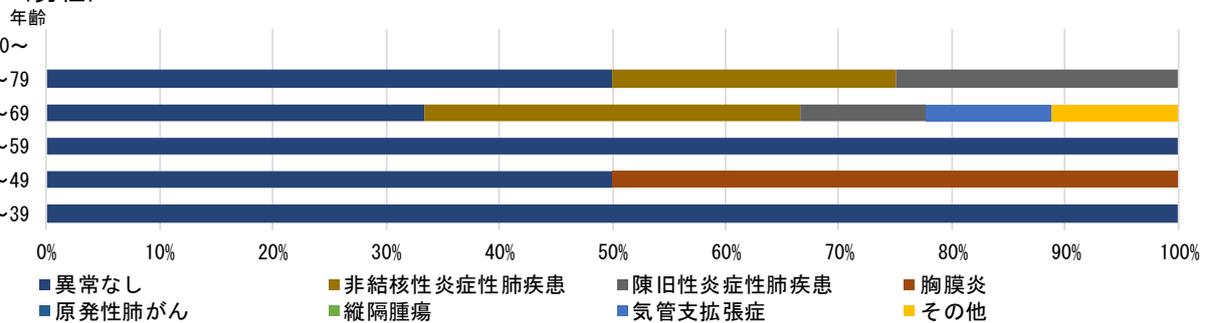
胸部断層X線

【精密検査結果】

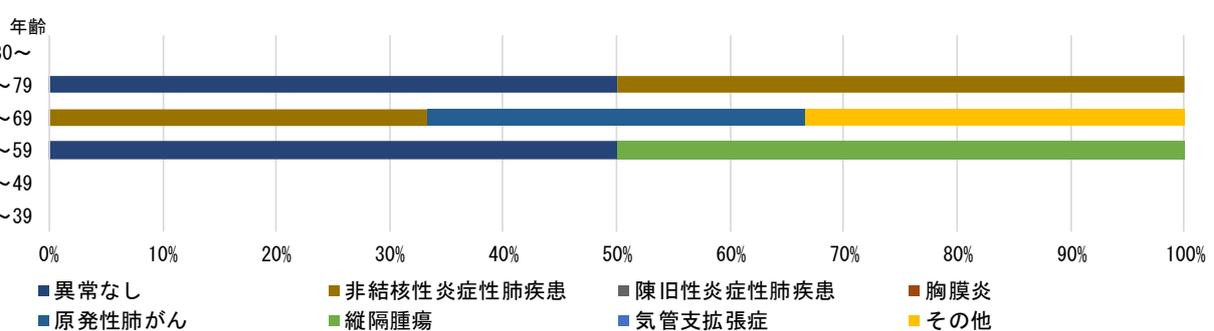
件

年齢・性別	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要精検査者数	1	0	2	0	2	3	8	3	7	3	0	0	20	9
精検受診者数	1	0	2	0	1	2	7	3	4	2	0	0	15	7
異常なし	1	0	1	0	1	1	3	0	2	1	0	0	8	2
非結核性炎症性肺疾患	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1	0	0	4	2
陳旧性炎症性肺疾患	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0
胸膜炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
原発性肺がん	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
縦隔腫瘍	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
気管支拡張症	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
その他	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1

(男性)



(女性)

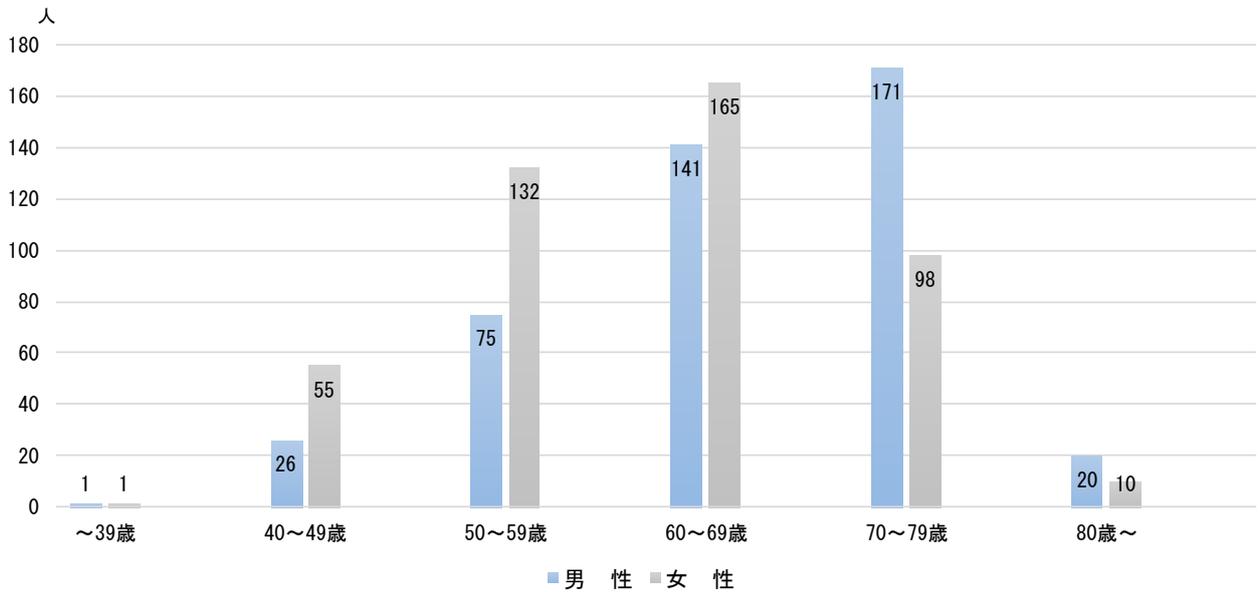


胸部断層撮影は平成26年度からドックのオプションとして始まったもので、受診者の希望により受診する。検査結果において、平成26年度の胸部断層受診者数は708名で男性429名、女性279名であり、男性において関心が高いと思われた。また、加齢に伴い有所見者数が増加した。さらに、精検率は4.1%と高く、精検受診率は75.9%と低い水準となった。前者は、読影時の情報量が多いために生じたと思われ、後者は後日の個人結果説明が任意となり希望する受診者が減ったため、精検受診を勧奨する機会が減ったためと思われた。胸部X線と胸部断層の比較において、胸部X線のがん発見率は0.07%、陽性反応的中度は2.33%であり、胸部断層のがん発見率は0.14%、陽性反応的中度は3.45%となりがん発見率、陽性反応的中度ともに胸部断層の方が高成績だった。今後の課題として、さらなる精度管理をおこなっていききたい。また、後日の個人結果説明などのツールを利用し受診勧奨と行うことによって、精検率の向上（厚生労働省の目標値：90%）を目指していききたい。さらに、肺がんのリスクの高い受診者（喫煙歴のある者）に対して胸部断層撮影の受診の啓発を行っていききたい。

3-1-2 脳ドック ■

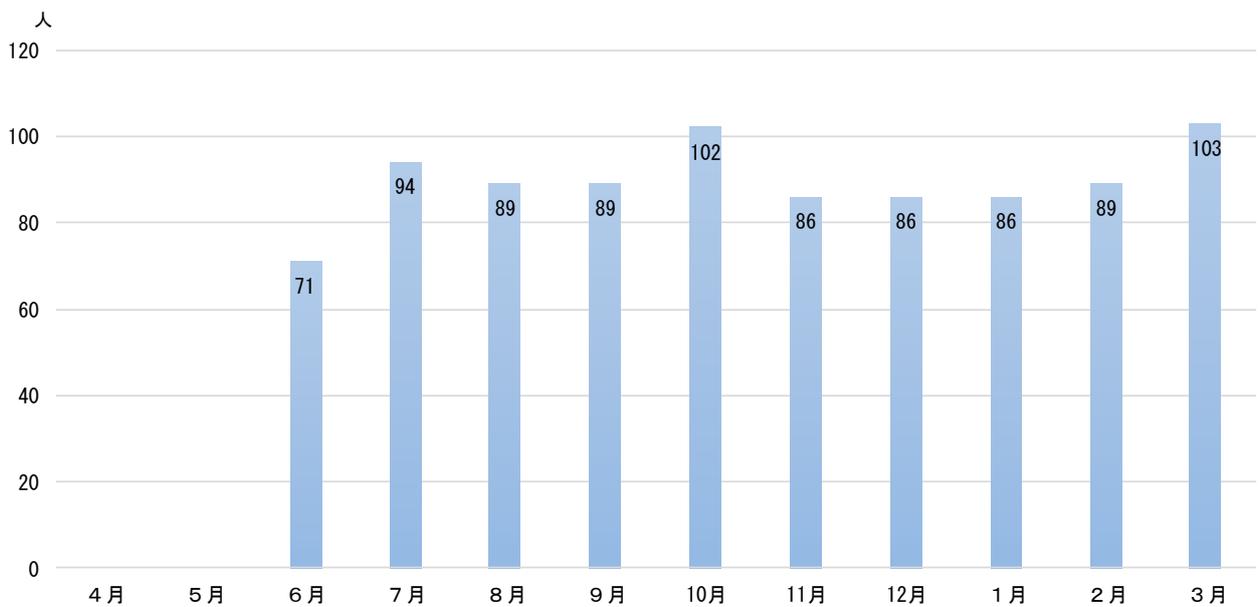
【年代別受診者数】

性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
男性	1	26	75	141	171	20	434
女性	1	55	132	165	98	10	461
合計	2	81	207	306	269	30	895



【月別受診者数】

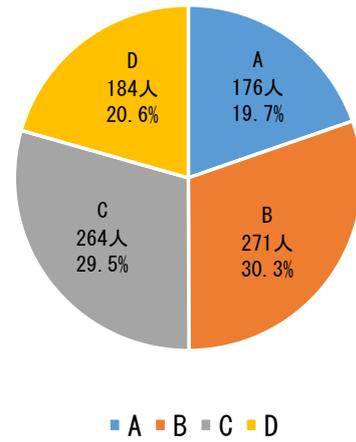
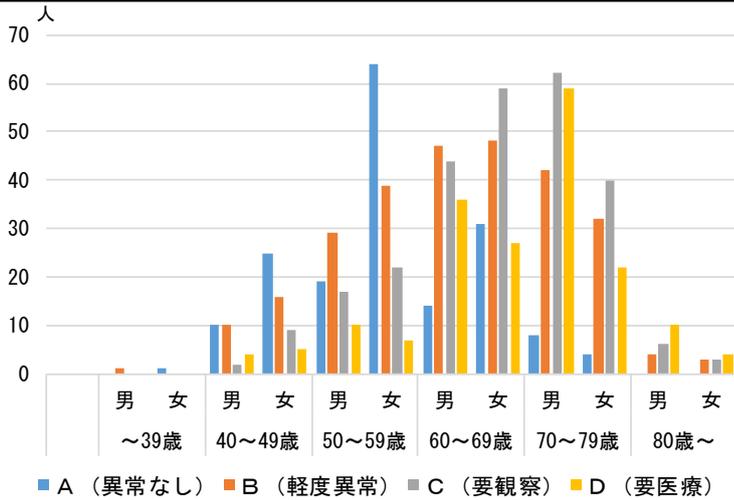
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数			71	94	89	89	102	86	86	86	89	103	895



MR I

【検査結果】

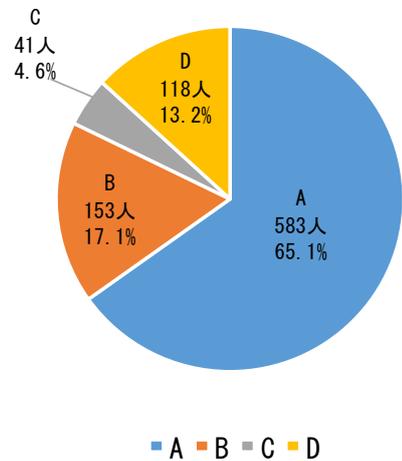
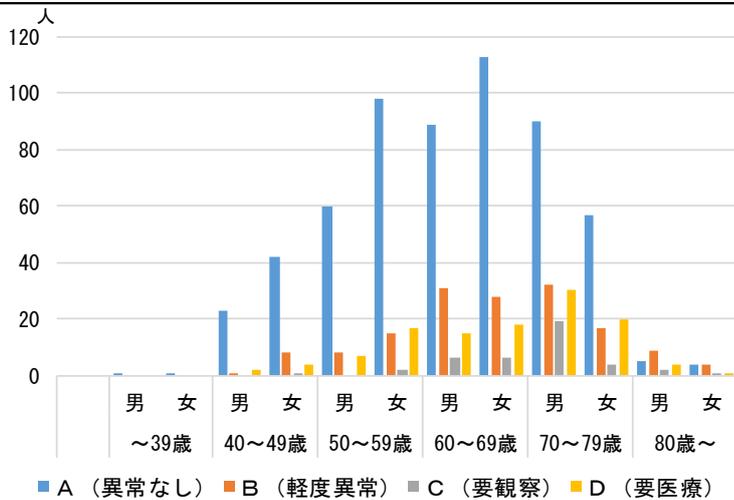
判定	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	A (異常なし)	0	1	10	25	19	64	14	31	8	4	0	0	51
B (軽度異常)	1	0	10	16	29	39	47	48	42	32	4	3	133	138
C (要観察)	0	0	2	9	17	22	44	59	62	40	6	3	131	133
D (要医療)	0	0	4	5	10	7	36	27	59	22	10	4	119	65
合計	1	1	26	55	75	132	141	165	171	98	20	10	434	461



MR A

【検査結果】

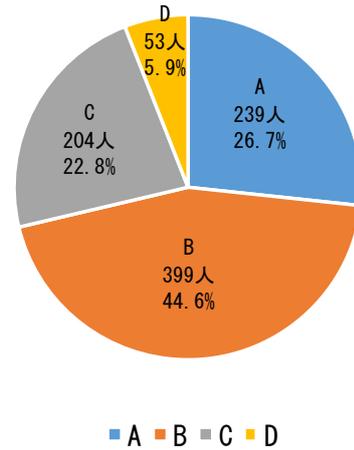
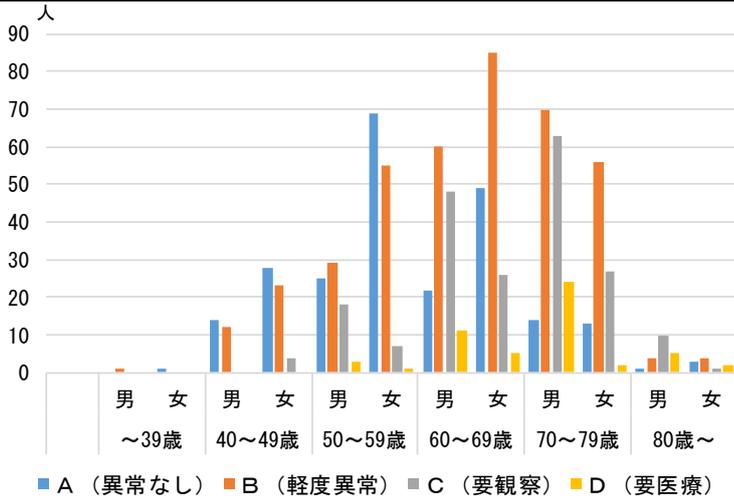
判定	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	A (異常なし)	1	1	23	42	60	98	89	113	90	57	5	4	268
B (軽度異常)	0	0	1	8	8	15	31	28	32	17	9	4	81	72
C (要観察)	0	0	0	1	0	2	6	6	19	4	2	1	27	14
D (要医療)	0	0	2	4	7	17	15	18	30	20	4	1	58	60
合計	1	1	26	55	75	132	141	165	171	98	20	10	434	461



頸動脈超音波

【検査結果】

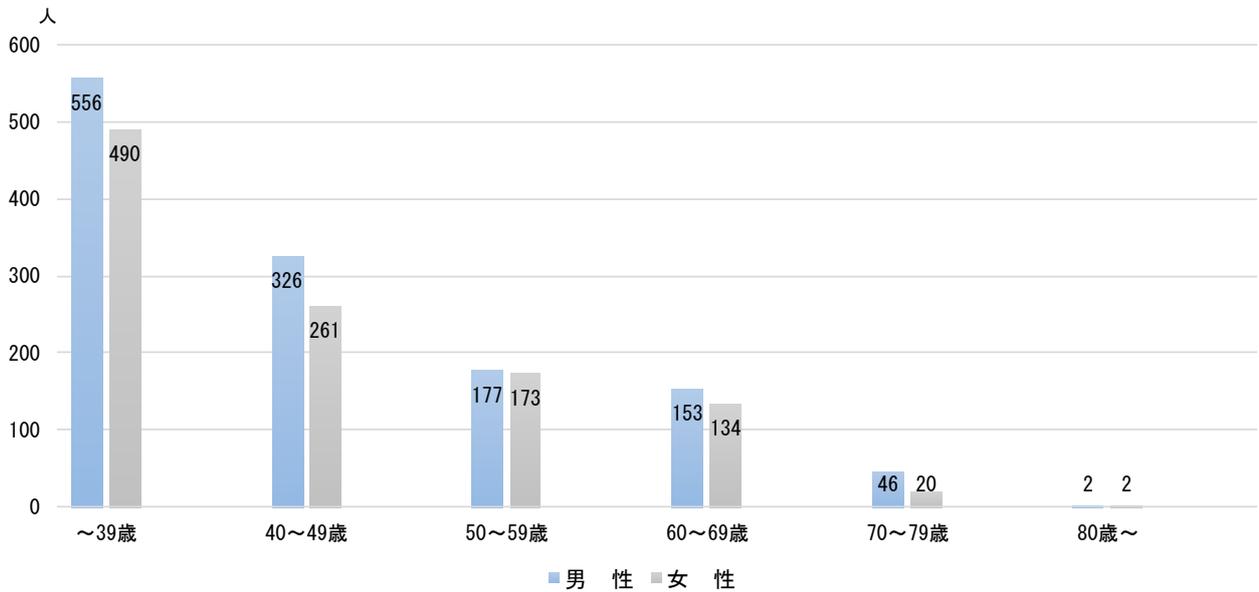
判定	人													
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
A (異常なし)	0	1	14	28	25	69	22	49	14	13	1	3	76	163
B (軽度異常)	1	0	12	23	29	55	60	85	70	56	4	4	176	223
C (要観察)	0	0	0	4	18	7	48	26	63	27	10	1	139	65
D (要医療)	0	0	0	0	3	1	11	5	24	2	5	2	43	10
合計	1	1	26	55	75	132	141	165	171	98	20	10	434	461



3-1-3 基本健診■

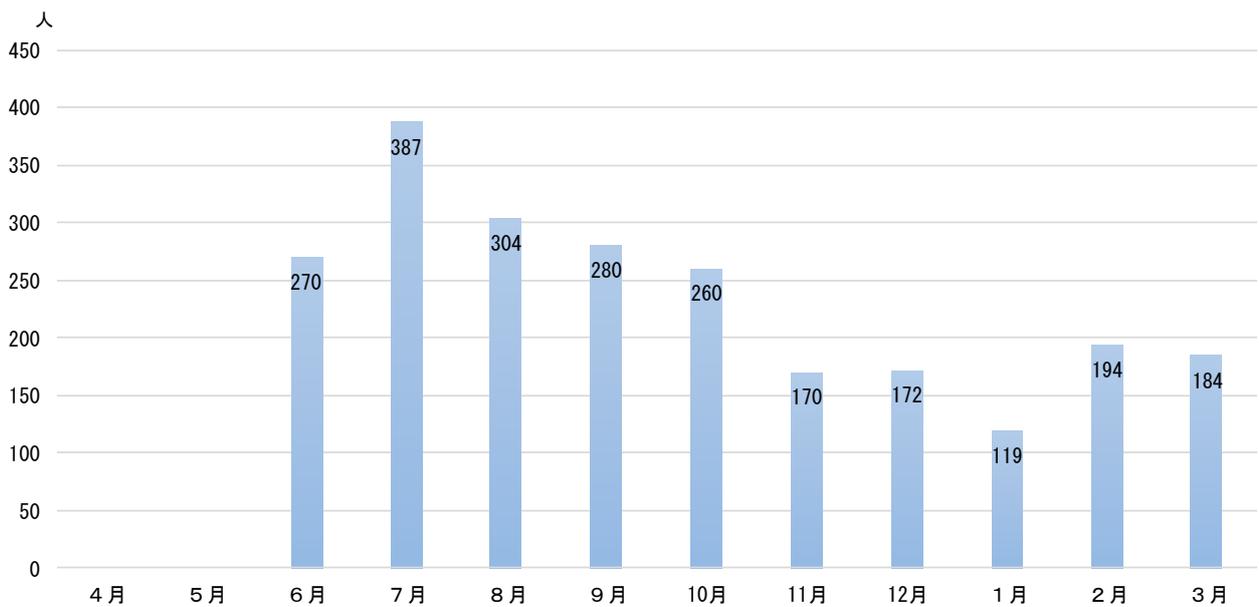
【年代別受診者数】

性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
男性	556	326	177	153	46	2	1,260
女性	490	261	173	134	20	2	1,080
合計	1,046	587	350	287	66	4	2,340



【月別受診者数】

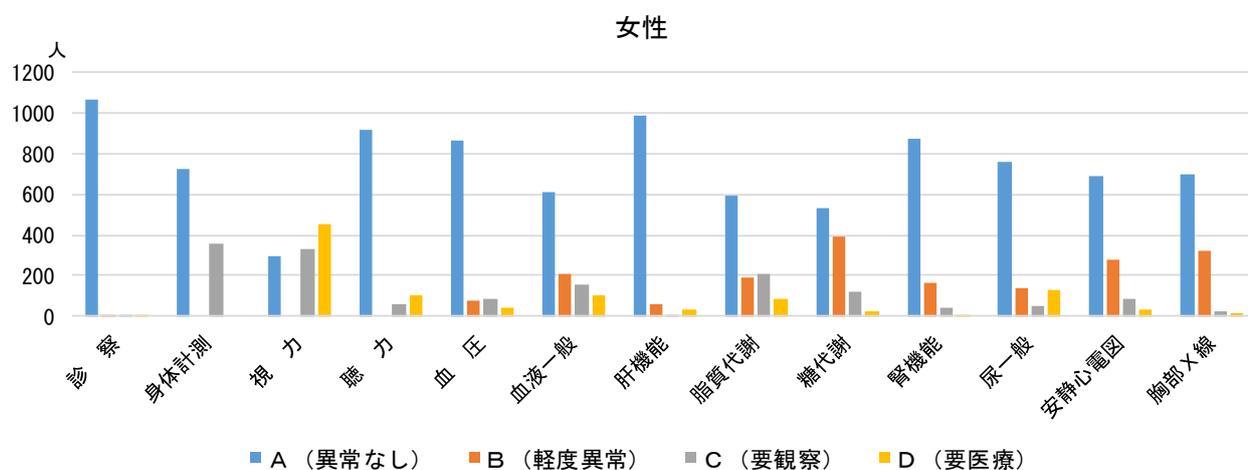
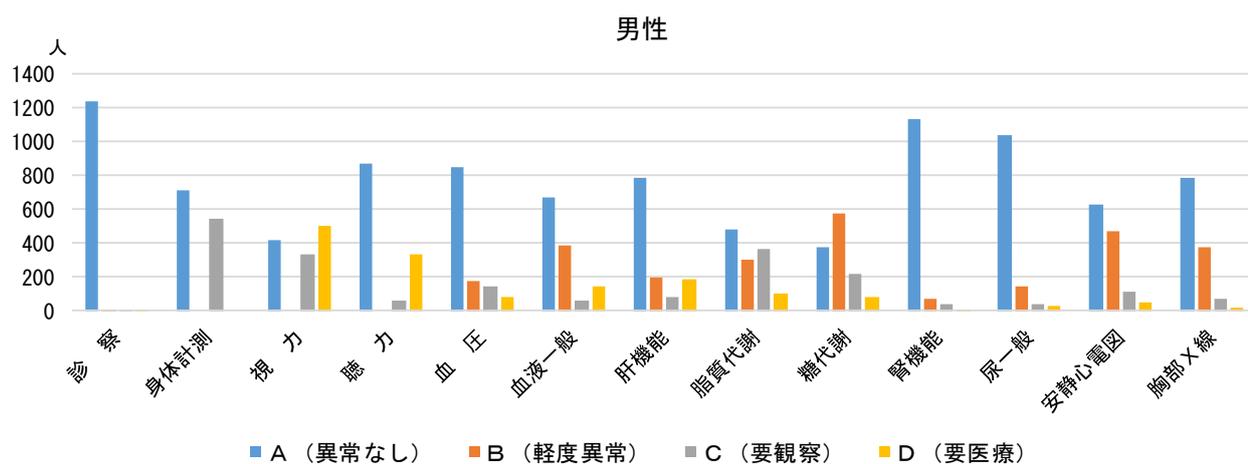
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数			270	387	304	280	260	170	172	119	194	184	2,340



【検査結果】

人

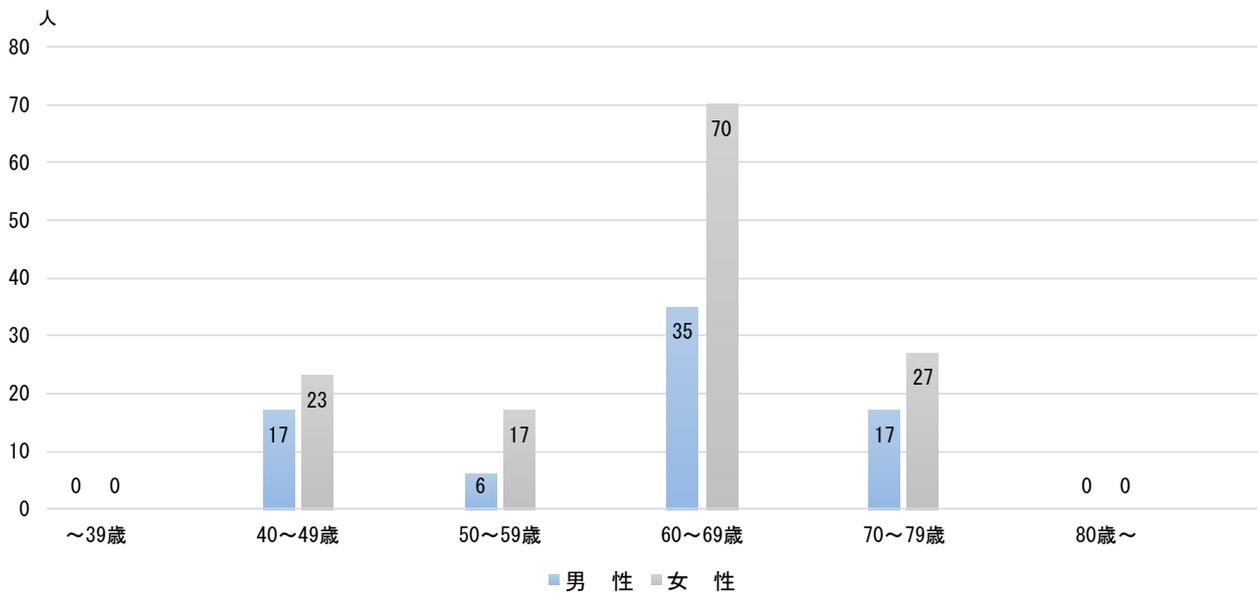
判定	A (異常なし)		B (軽度異常)		C (要観察)		D (要医療)		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
診 察	1,242	1,065	4	2	2	3	12	10	1,260	1,080
身体計測	710	723	0	0	550	357	0	0	1,260	1,080
視 力	421	300	0	0	338	329	501	451	1,260	1,080
聴 力	867	921	0	0	61	60	332	99	1,260	1,080
血 圧	848	867	182	81	150	90	80	42	1,260	1,080
血液一般	670	609	385	207	63	158	142	106	1,260	1,080
肝機能	790	985	200	56	86	9	184	30	1,260	1,080
脂質代謝	485	592	305	188	366	212	104	88	1,260	1,080
糖代謝	377	534	576	395	224	125	83	26	1,260	1,080
腎機能	1,138	876	76	162	36	40	10	2	1,260	1,080
尿一般	1,040	757	145	139	45	55	28	126	1,258	1,077
安静心電図	632	688	471	275	109	88	48	29	1,260	1,080
胸部X線	792	700	376	318	74	26	18	19	1,260	1,063



3-1-4 特定健診■

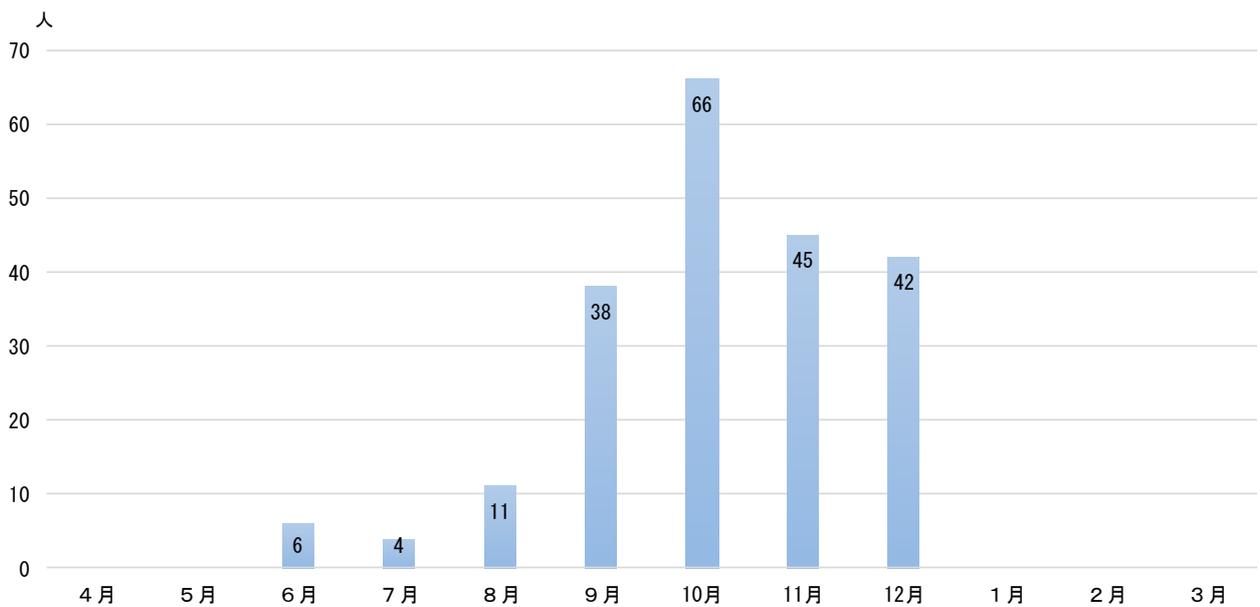
【年代別受診者数（個別）】

性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
男性	0	17	6	35	17	0	75
女性	0	23	17	70	27	0	137
合計	0	40	23	105	44	0	212



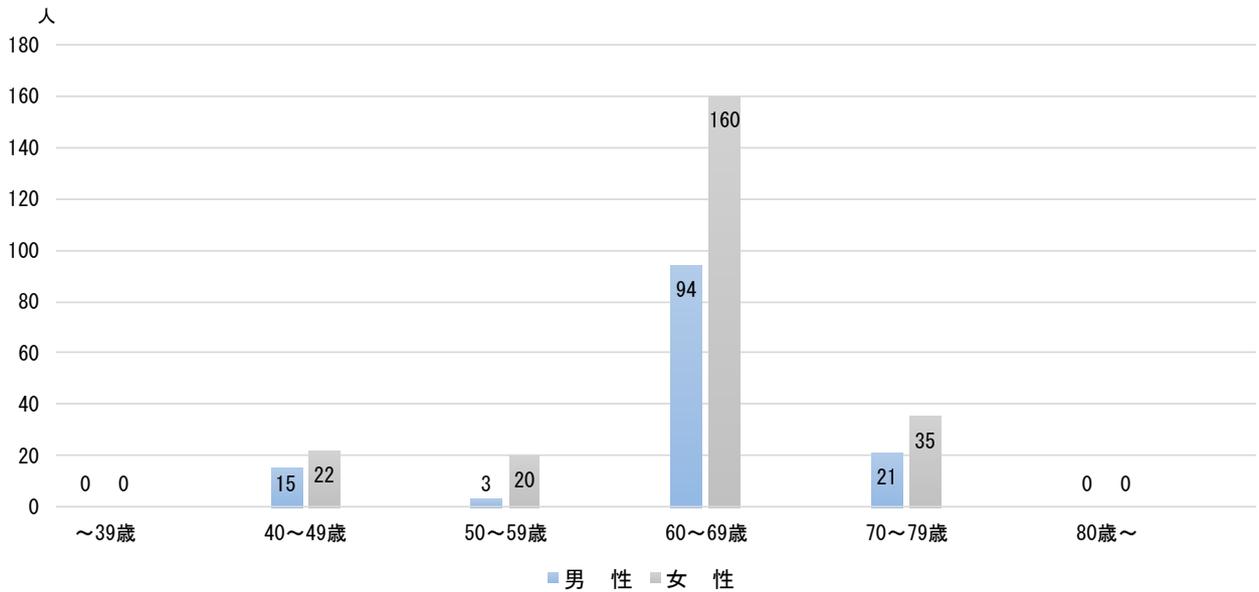
【月別受診者数（個別）】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数			6	4	11	38	66	45	42				212



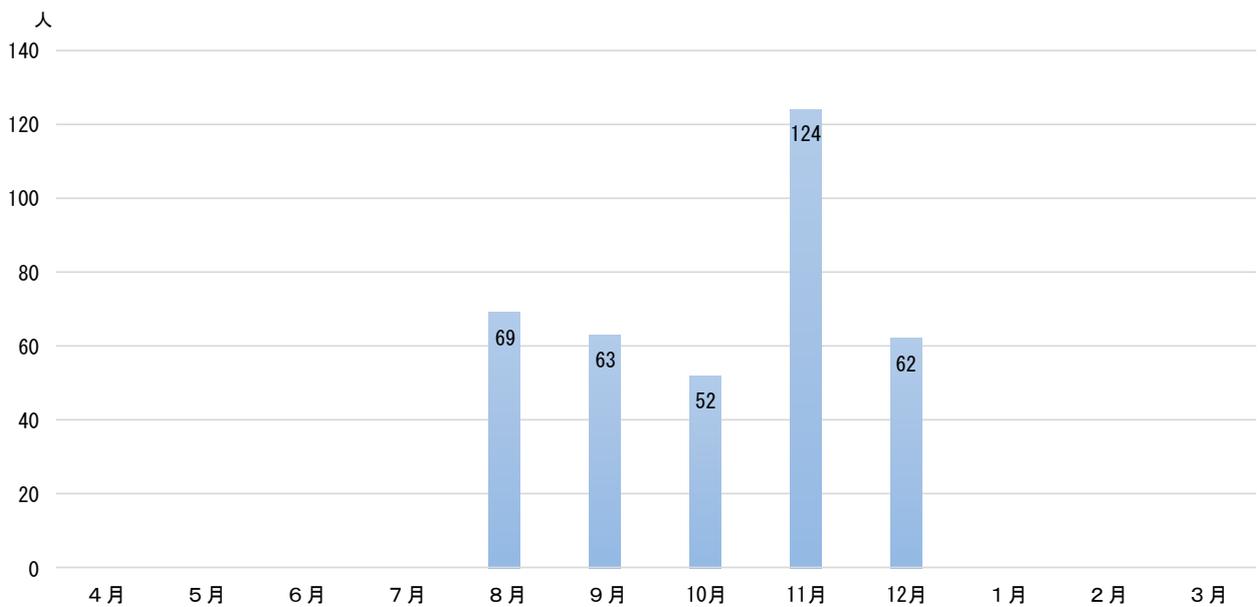
【年代別受診者数（集団）】

性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
男性	0	15	3	94	21	0	133
女性	0	22	20	160	35	0	237
合計	0	37	23	254	56	0	370



【月別受診者数（集団）】

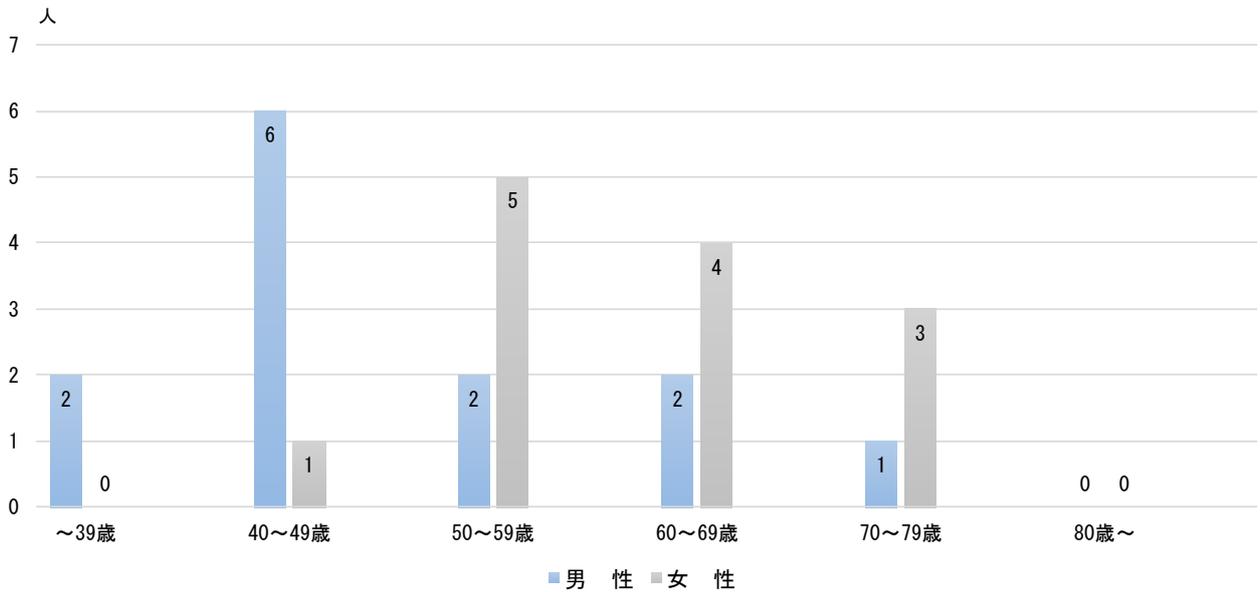
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数					69	63	52	124	62				370



3-1-5 生活習慣病予防健診■

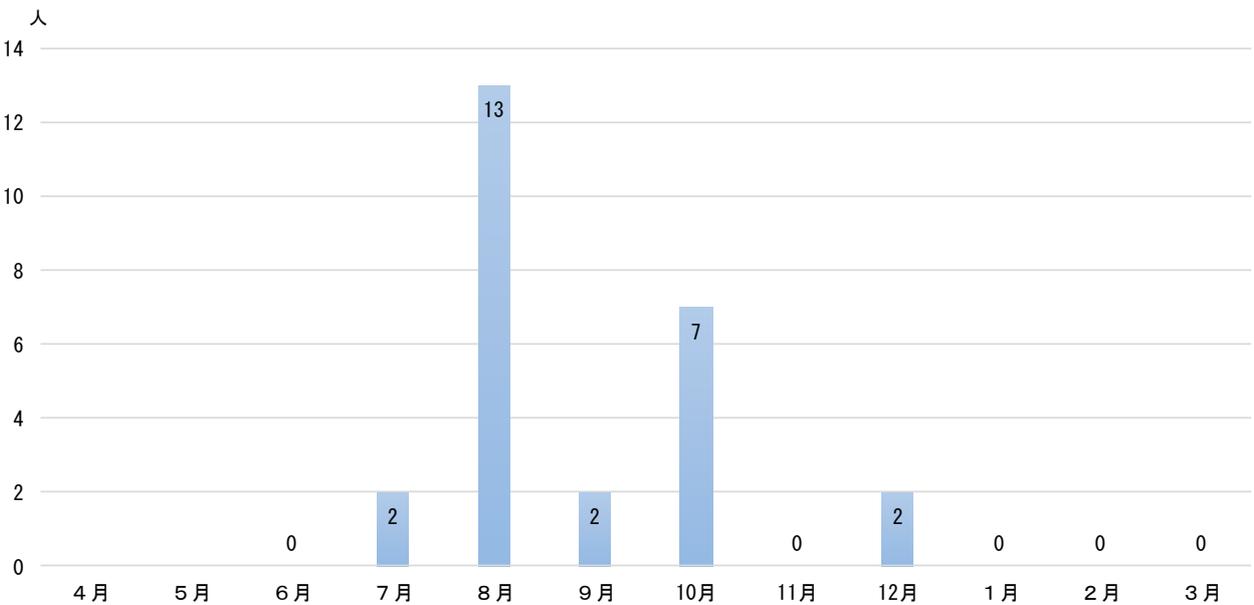
【年代別受診者数】

性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
男性	2	6	2	2	1	0	13
女性	0	1	5	4	3	0	13
合計	2	7	7	6	4	0	26



【月別受診者数】

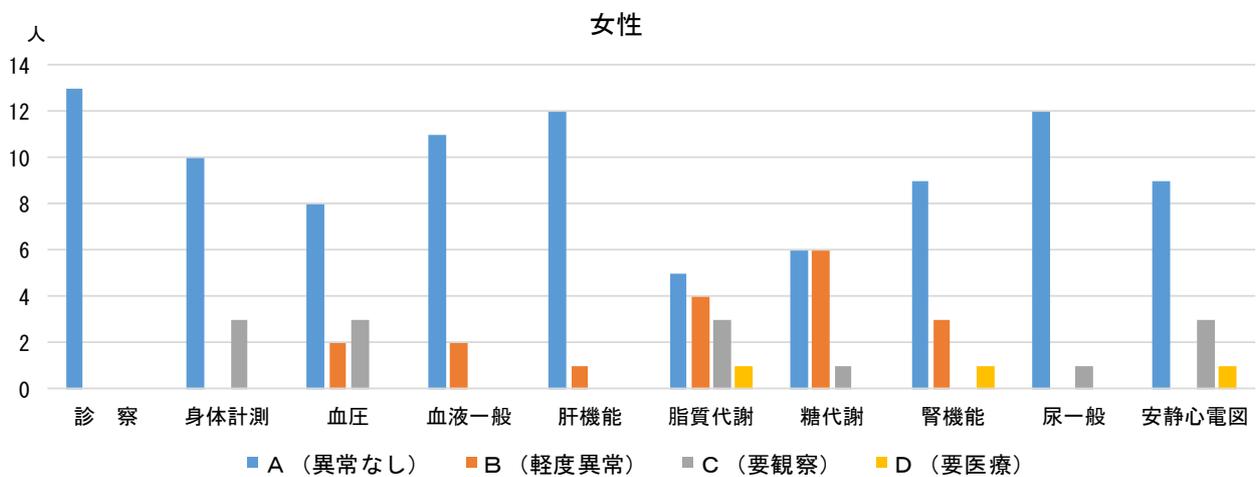
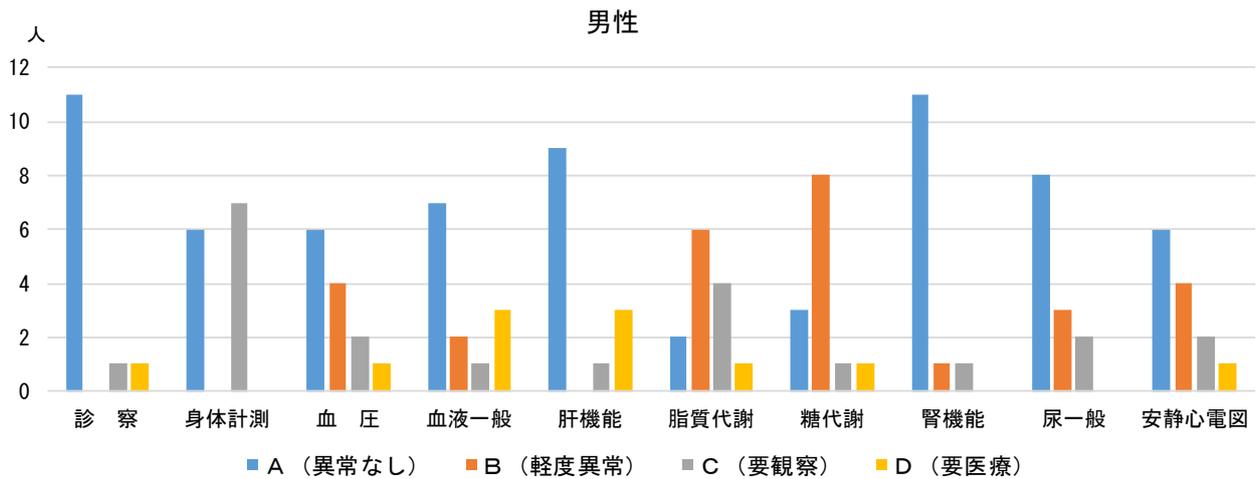
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数			0	2	13	2	7	0	2	0	0	0	26



【検査結果】

人

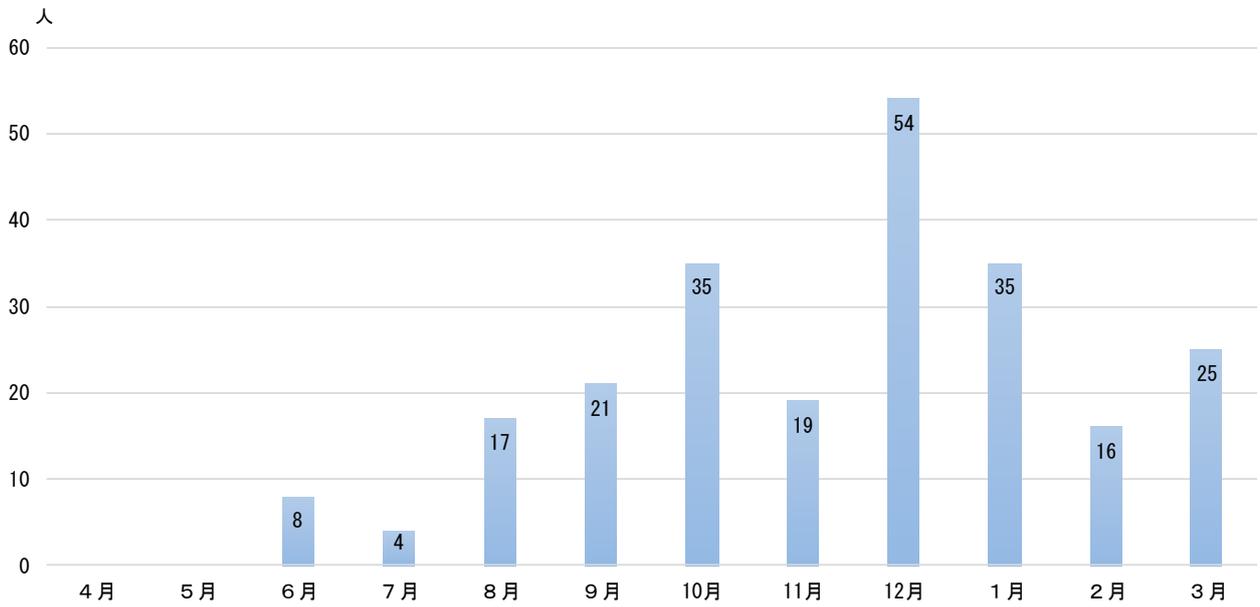
判定	A (異常なし)		B (軽度異常)		C (要観察)		D (要医療)		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	診 察	11	13	0	0	1	0	1	0	13
身体計測	6	10	0	0	7	3	0	0	13	13
血 圧	6	8	4	2	2	3	1	0	13	13
血液一般	7	11	2	2	1	0	3	0	13	13
肝機能	9	12	0	1	1	0	3	0	13	13
脂質代謝	2	5	6	4	4	3	1	1	13	13
糖代謝	3	6	8	6	1	1	1	0	13	13
腎機能	11	9	1	3	1	0	0	1	13	13
尿一般	8	12	3	0	2	1	0	0	13	13
安静心電図	6	9	4	0	2	3	1	1	13	13



3-1-6 ヤング健診■

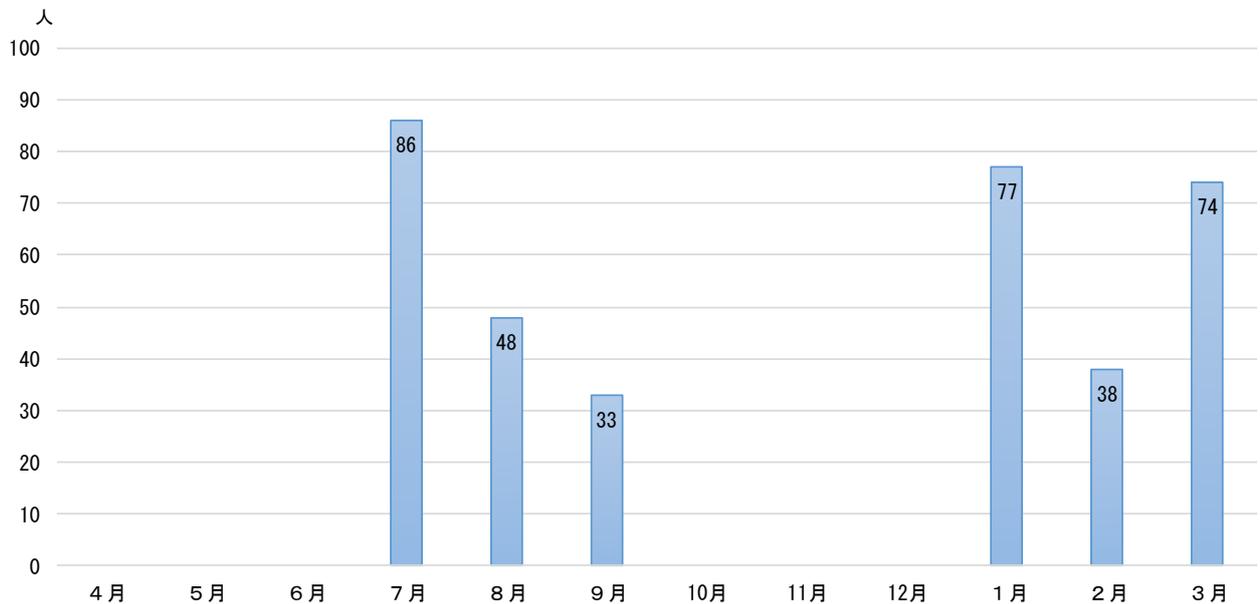
【月別受診者数（個別）】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数			8	4	17	21	35	19	54	35	16	25	234



【月別受診者数（集団）】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数				86	48	33				77	38	74	356

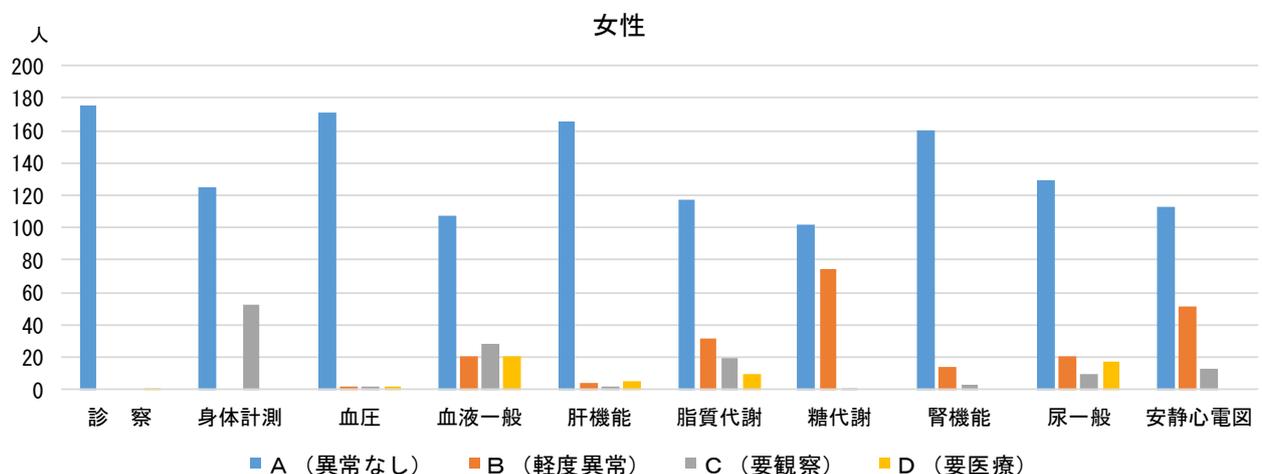
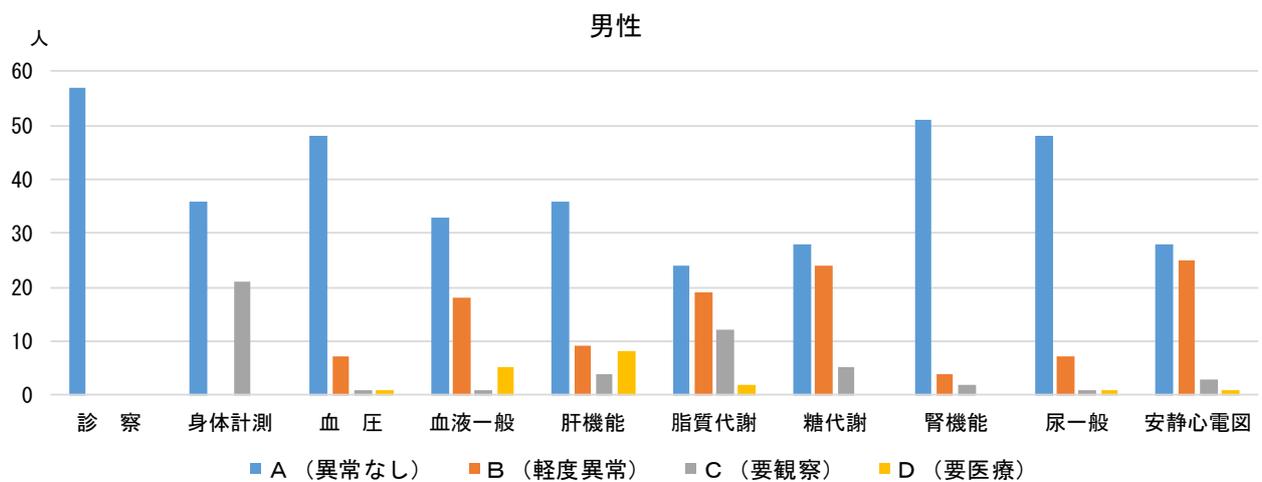


ヤング健診（個別）

【検査結果】

人

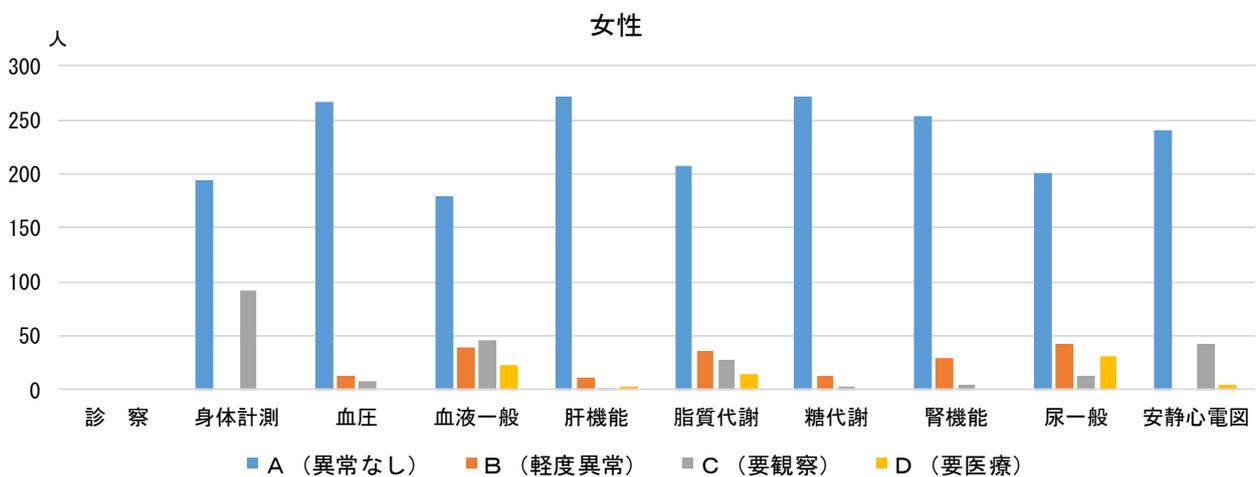
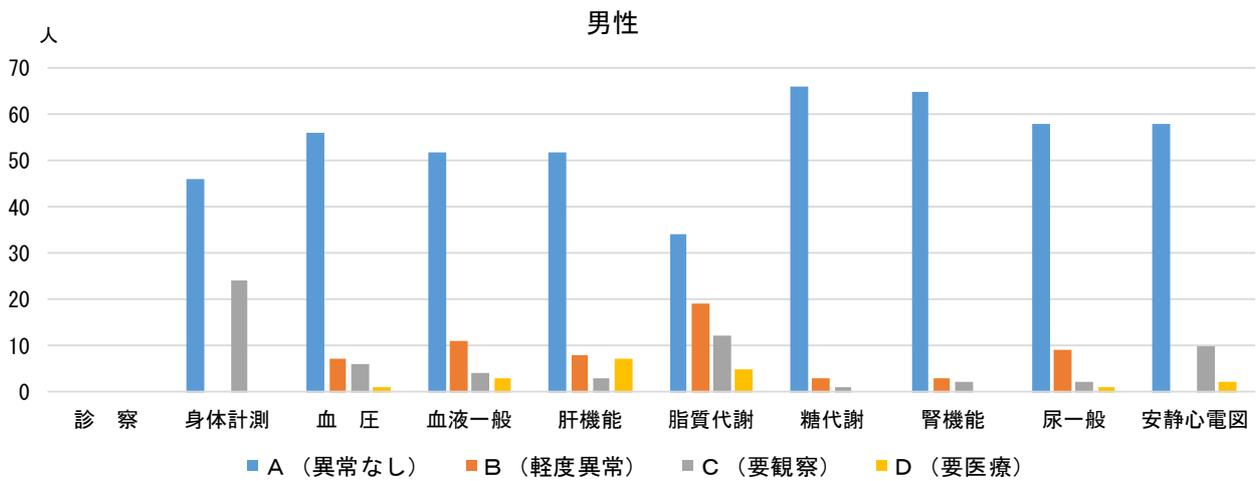
判定	A（異常なし）		B（軽度異常）		C（要観察）		D（要医療）		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
診 察	57	176	0	0	0	0	0	1	57	177
身体計測	36	125	0	0	21	52	0	0	57	177
血 圧	48	171	7	2	1	2	1	2	57	177
血液一般	33	107	18	21	1	28	5	21	57	177
肝機能	36	166	9	4	4	2	8	5	57	177
脂質代謝	24	117	19	31	12	19	2	10	57	177
糖代謝	28	102	24	74	5	1	0	0	57	177
腎機能	51	160	4	14	2	3	0	0	57	177
尿一般	48	129	7	21	1	9	1	17	57	176
安静心電図	28	113	25	51	3	13	1	0	57	177



ヤング健診（集団）

【検査結果】

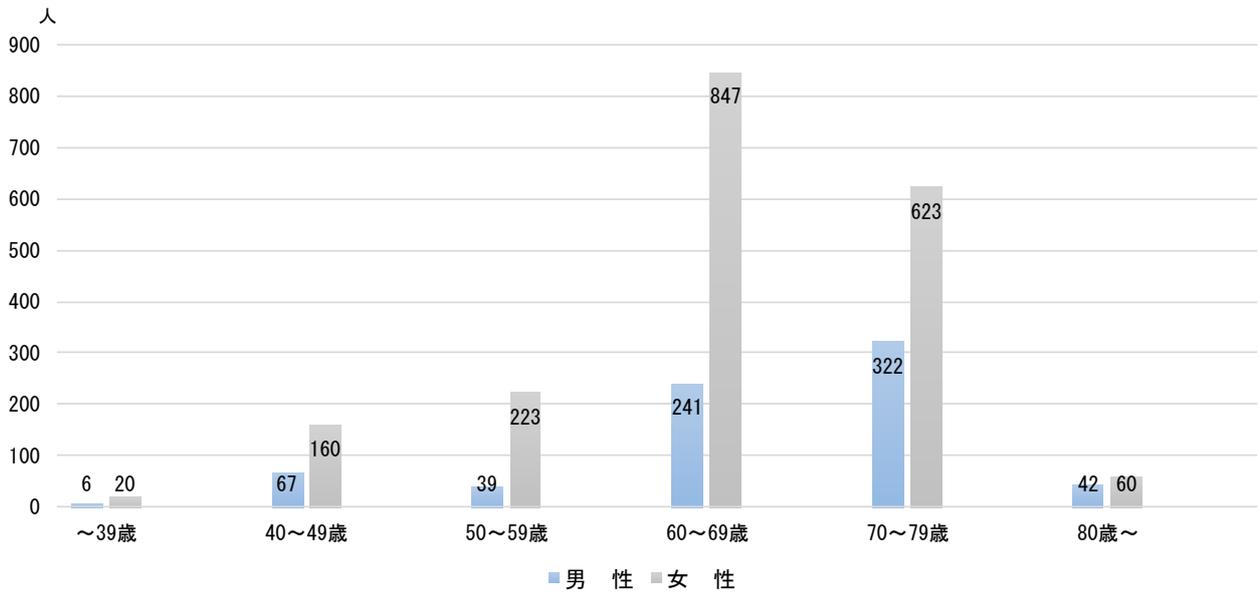
判定	人									
	A（異常なし）		B（軽度異常）		C（要観察）		D（要医療）		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
診 察									0	0
身体計測	46	194	0	0	24	92	0	0	70	286
血 圧	56	267	7	12	6	7	1	0	70	286
血液一般	52	179	11	39	4	46	3	22	70	286
肝機能	52	272	8	11	3	1	7	2	70	286
脂質代謝	34	208	19	36	12	28	5	14	70	286
糖代謝	66	272	3	12	1	2	0	0	70	286
腎機能	65	253	3	29	2	4	0	0	70	286
尿一般	58	201	9	43	2	12	1	30	70	286
安静心電図	58	240	0	0	10	42	2	4	70	286



3-1-7 骨密度検査■

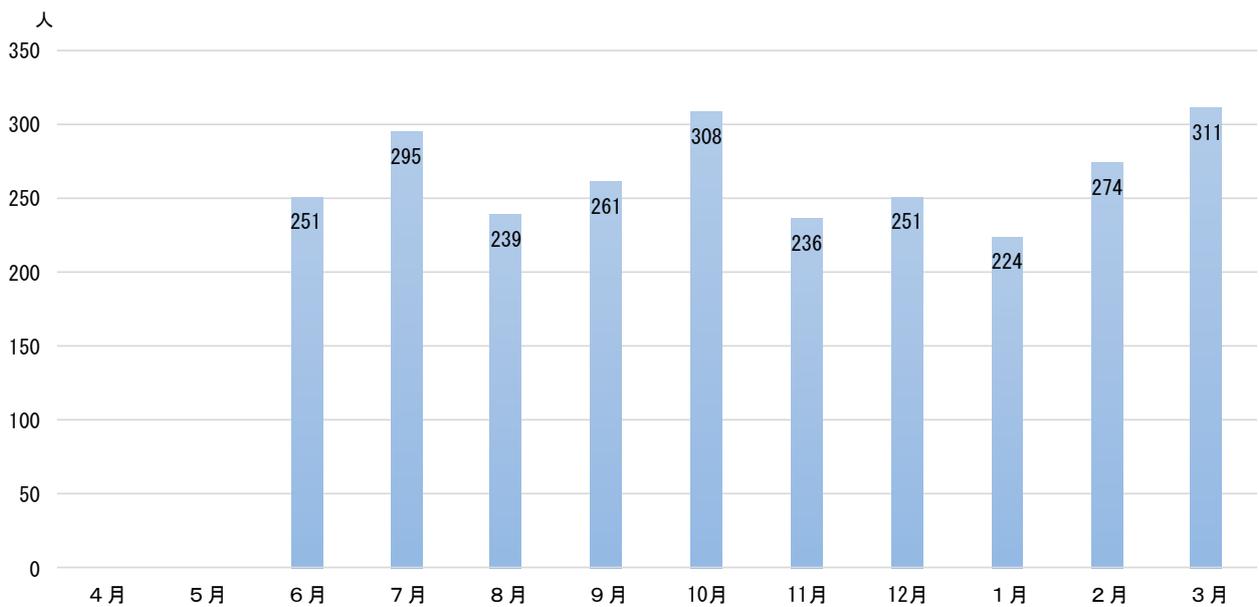
【年代別受診者数】

性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
男性	6	67	39	241	322	42	717
女性	20	160	223	847	623	60	1,933
合計	26	227	262	1,088	945	102	2,650



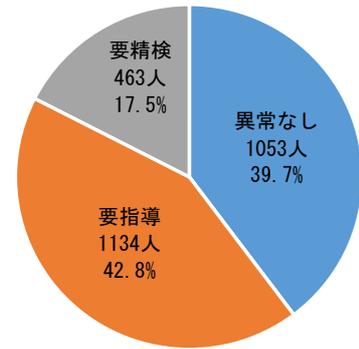
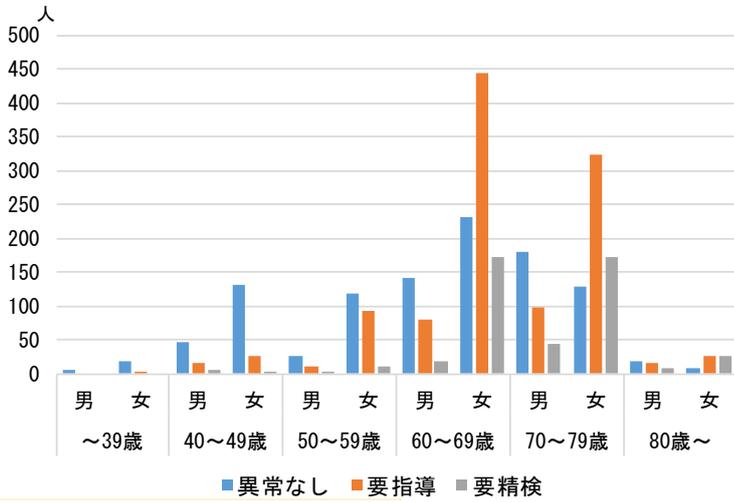
【月別受診者数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数			251	295	239	261	308	236	251	224	274	311	2,650



【検査結果】

判定	人												合計	
	～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～		男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
異常なし	6	18	46	131	26	119	142	232	180	128	18	7	418	635
要指導	0	2	15	27	11	92	80	443	98	323	17	26	221	913
要精検	0	0	6	2	2	12	19	172	44	172	7	27	78	385
合計	6	20	67	160	39	223	241	847	322	623	42	60	717	1,933

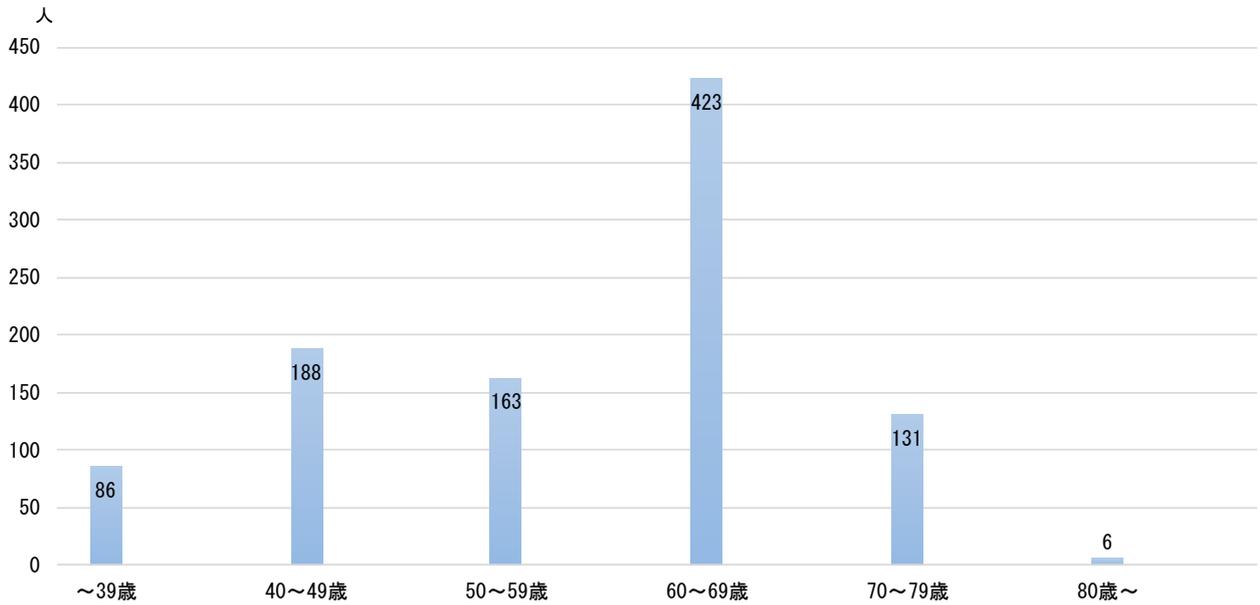


■ 異常なし ■ 要指導 ■ 要精検

3-1-8 子宮がん検査■

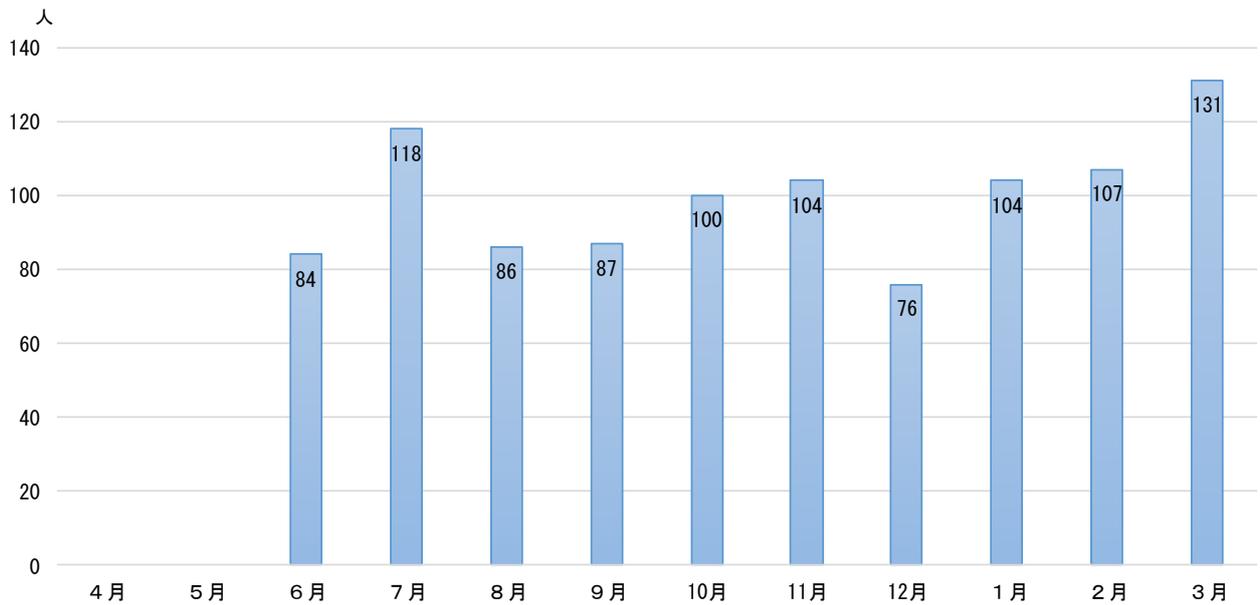
【年代別受診者数】

月	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
人数	86	188	163	423	131	6	997



【月別受診者数】

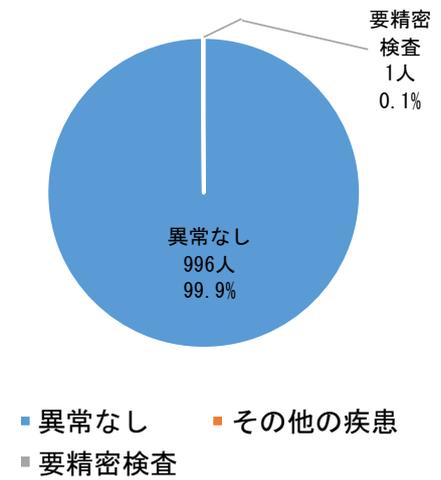
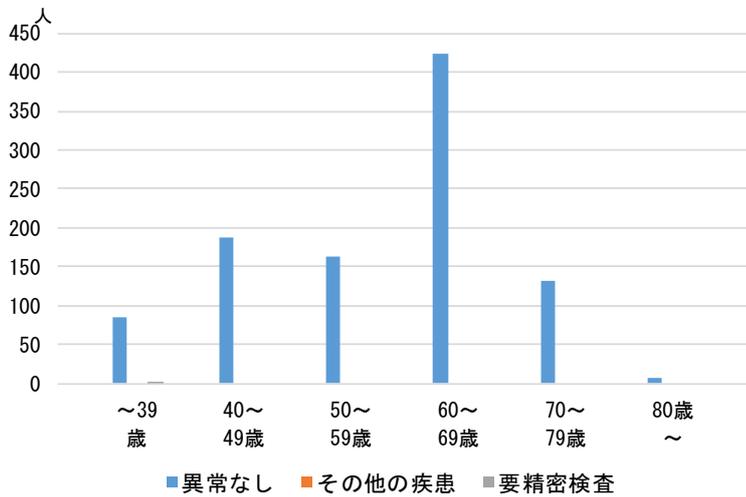
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数			84	118	86	87	100	104	76	104	107	131	997



【検査結果】

人

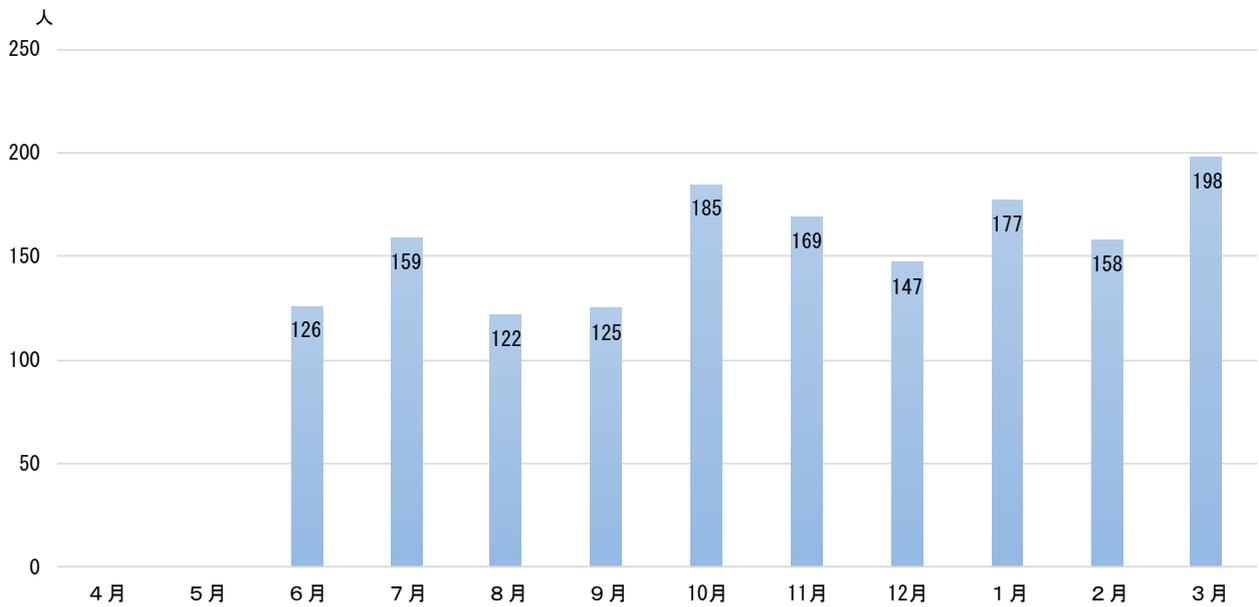
判定	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
異常なし	85	188	163	423	131	6	996
その他の疾患	0	0	0	0	0	0	0
要精密検査	1	0	0	0	0	0	1
合計	86	188	163	423	131	6	997



3-1-9 乳がん検査■

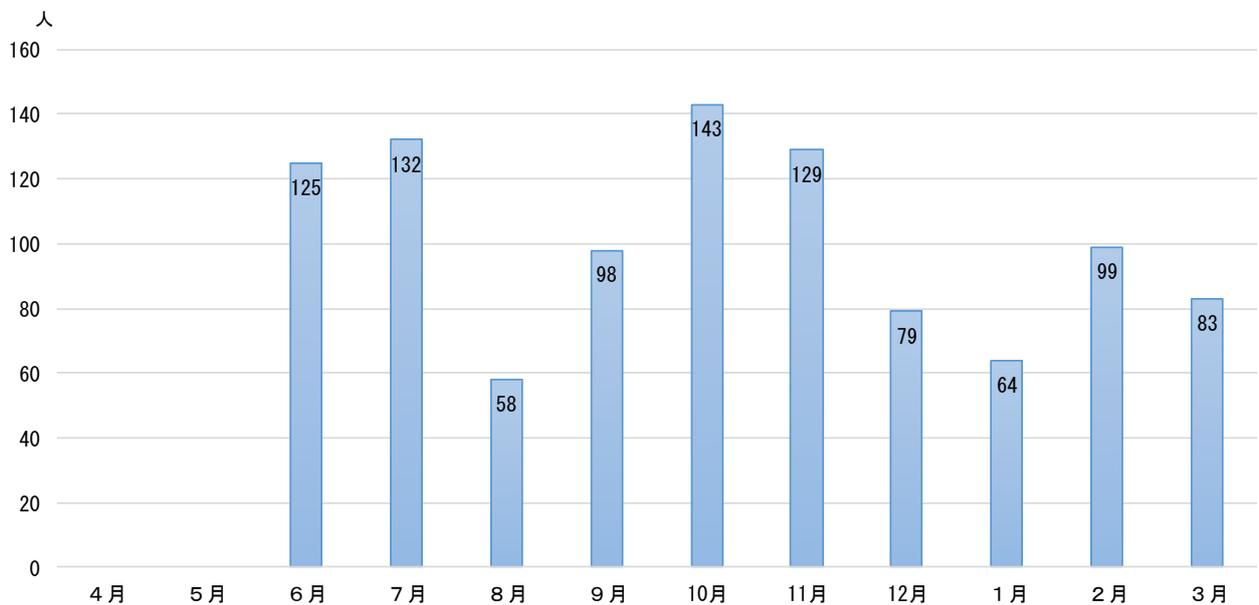
【月別受診者数（総合）】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数			126	159	122	125	185	169	147	177	158	198	1,566



【月別受診者数（施設）】

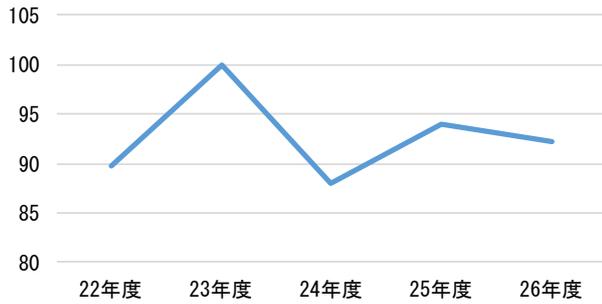
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数			125	132	58	98	143	129	79	64	99	83	1,010



【年度別精密検査分析】

年度	受診者数 (人)	精検者数 (人)	精検率 (%)	精検受診数 (人)	精検受診率 (%)	精密検査(人)			がん発見率 (%)	陽性反応 的中度(%)
						異常なし	がん	がん以外		
22	1,584	29	1.83	26	89.66	5	3	18	0.19	10.34
23	1,680	99	5.89	99	100.00	23	5	71	0.30	5.05
24	1,608	75	4.66	66	88.00	19	3	44	0.19	4.00
25	2,060	99	4.81	93	93.94	32	7	54	0.34	7.07
26	1,566	116	7.41	107	92.24	34	6	67	0.38	5.17

精検受診率



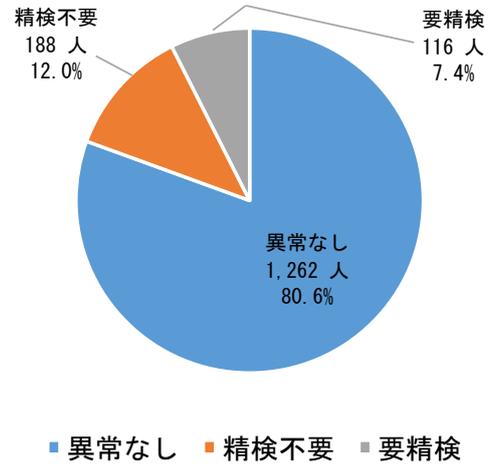
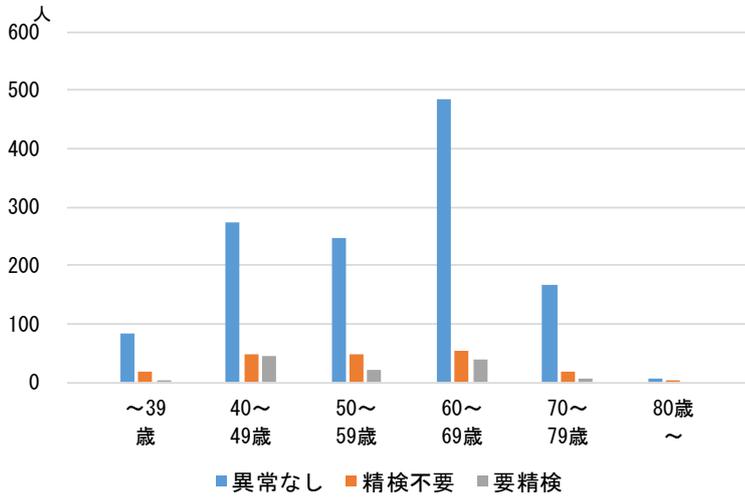
がん発見率



【検査結果】

人

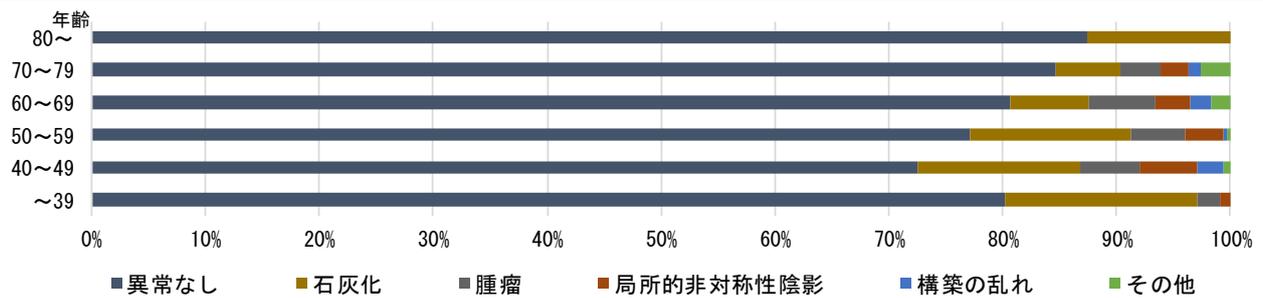
判定	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
異常なし	84	273	247	485	166	7	1,262
精検不要	19	47	49	55	17	1	188
要精検	2	46	21	40	7	0	116
合計	105	366	317	580	190	8	1,566



【所見】

人

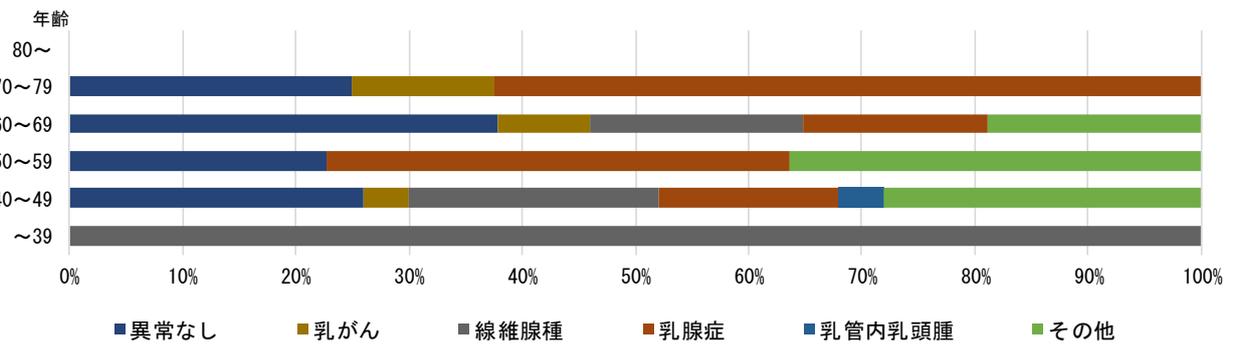
所見	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
異常なし	85	276	250	484	166	7	1,268
石灰化	18	54	46	42	11	1	172
腫瘤	2	20	15	35	7	0	79
局所的非対称性陰影	1	19	11	18	5	0	54
構築の乱れ	0	9	1	11	2	0	23
その他	0	2	1	10	5	0	18



【精密検査結果】

件

年齢・性別	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
要精検者数	2	46	21	40	7	0	116
精検受診者数	1	43	20	35	8	0	107
異常なし	0	13	5	14	2	0	34
乳がん	0	2	0	3	1	0	6
線維腺腫	1	11	0	7	0	0	19
乳腺症	0	8	9	6	5	0	28
乳管内乳頭腫	0	2	0	0	0	0	2
その他	0	14	8	7	0	0	29



【精密検査結果5年比較】						人
年度	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	
要精検者数	29	99	75	99	116	
精検受診者数	26	99	66	93	107	
(上段) 回答数 (下段) 回答内訳率						
異常なし	5 19.23%	23 23.23%	19 27.54%	32 31.68%	34 28.81%	
乳がん	3 11.54%	5 5.05%	3 4.35%	7 6.93%	6 5.08%	
線維腺腫	8 30.77%	14 14.14%	17 24.64%	16 15.84%	19 16.10%	
乳腺症	5 19.23%	25 25.25%	13 18.84%	22 21.78%	28 23.73%	
乳管内乳頭腫	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	2 1.69%	
その他	5 19.23%	32 32.32%	17 24.64%	24 23.76%	29 24.58%	

今年度の乳がん検査においては、受診者は1,566人で、要精検となった者は116人(7.4%)、その中でがんが発見された者は6人であった。施設の移設があり、2ヶ月間、検査を行っていなかったため前年よりは受診者数は少なくなっている。受診者の内訳としては、60歳代が最も多く、次いで40歳代・50歳代である。乳がんになる人は30歳代後半から急激に増加し、40歳代後半から閉経後の60歳代前半が多いため、働き盛りの40歳・50歳代の受診者への啓発が必要である。

平成23年度よりフィルム診断からモニタ診断(デジタル)に変更されたことにより微細な石灰化や腫瘍、構築の乱れなどの淡い所見をより認識しやすくなったことで、一次所見として石灰化や腫瘍を多く発見することにつながった。要精密検査対象となった一次所見については、局所的非対称性陰影が最も多く、次いで腫瘍、石灰化、構築の乱れであった。精密検査の結果は、異常なし、乳がん、線維腺腫、乳腺症、のう胞などで、診断後の措置としては、がんを除いて経過観察がほとんどであった。局所的非対称性陰影に関しては、正常と腫瘍の中間的所見であり、読影上でのグレイゾーンの位置づけであるため、現状の要精検率と精密検査の結果より、精度として問題ないと考えられる。また発見されたがんは、腫瘍、構築の乱れなどが淡い所見で要精検となっており、これらの拾い上げが重要であった。

また視触診でのみ要精検とする、マンモグラフィで拾い上げられないがんを発見することができた。精検受診率に関しては、許容値の80%以上を確保しており、目標値の90%以上も達成している。がん検診の精度評価の最も重要な指標と位置づけられているので、100%を目指して受診勧奨に力を入れ、精度をさらに上げていきたい。

がん発見率(許容値0.23%以上)、陽性反応的中度(許容値2.50%以上)についても、許容値を達成しているが、さらなる精度管理の向上に努めていきたい。

なお、発見されたがんは、5名が早期がんで、1名は進行がんであったが6年前の受診歴しかない方であった。初受診や他施設での受診歴のある方に多く見つかっていたが、1名のみ1年前に当施設受診歴があり、有所見で経過観察判定の方であった。

がんを早期に発見するためにも、広く乳がん検査の受診を勧めていきたい。

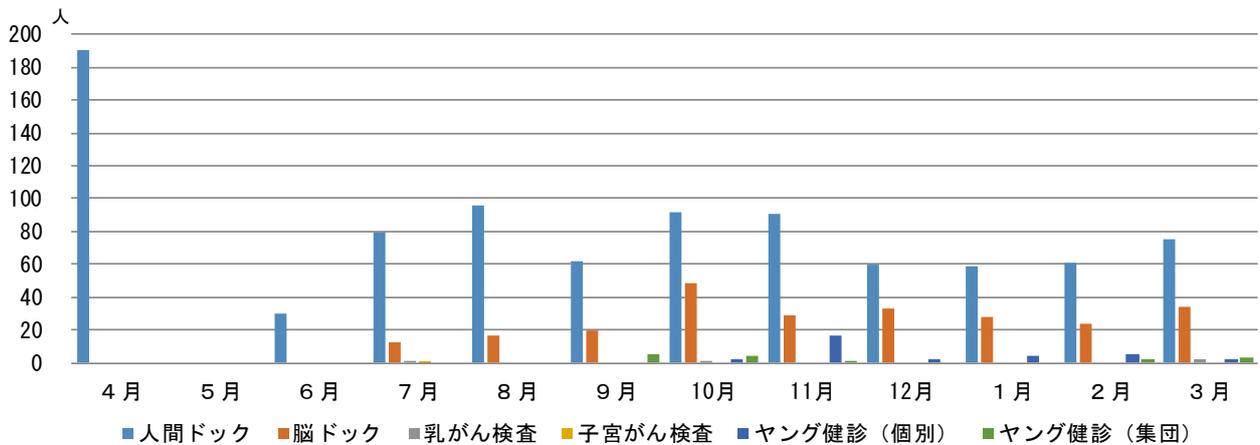
3-1-10 指導実施状況■

人間ドックの結果は、受診当日に医師による身体計測値、血圧値、血液・尿検査値等の結果説明を行い、その後、必要に応じて保健師、管理栄養士により個別保健指導を行っている。結果表は後日郵送し、希望者が医師による後日結果説明を受ける。

【医師による後日指導実施者数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人間ドック	190		30	79	96	62	92	91	60	59	61	75	895
脳ドック			0	13	17	20	49	29	33	28	24	34	247
乳がん検査			0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	4
子宮がん検査			0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ヤング健診（個別）			0	0	0	0	2	17	2	4	5	2	32
ヤング健診（集団）			0	0	0	5	4	1	0	0	2	3	15
合計	190		30	94	113	87	148	138	95	91	92	116	1,194

※4月の実施者数は、旧施設（健康管理センター）での受講者に対する後日指導分



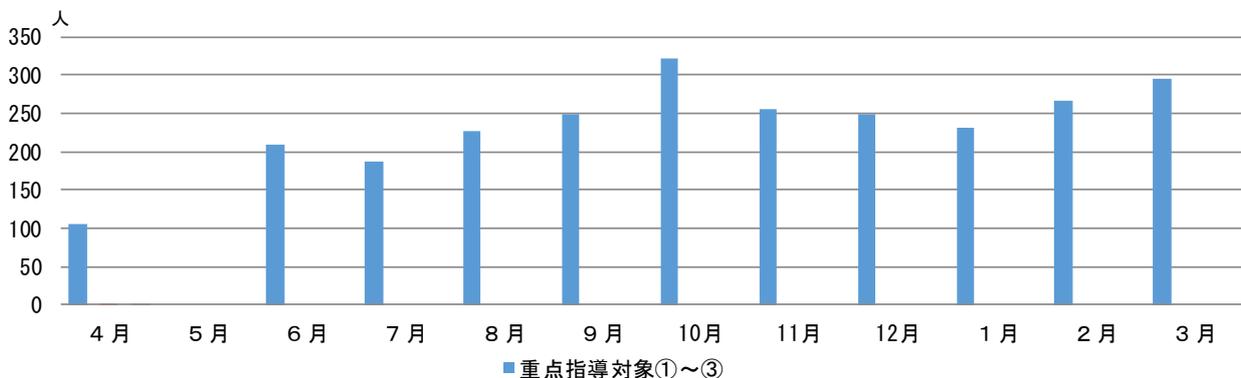
【保健師、栄養士による保健指導実施者数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
重点指導対象①～③	105		208	187	227	249	321	256	249	231	267	295	2,595

※4月の実施者数は、旧施設（健康管理センター）での受講者に対する後日指導分

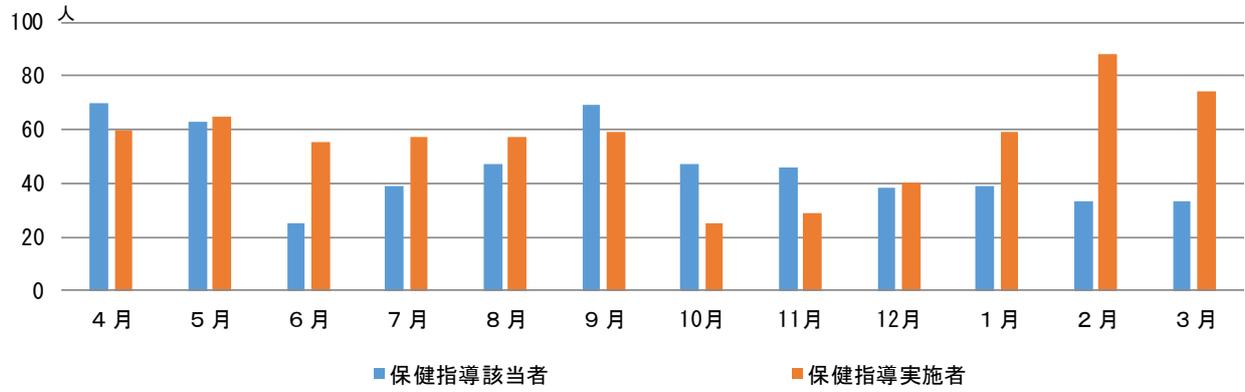
①脂質異常：LDL-cho 140～170mg/dl ②腎機能異常：尿蛋白(+)且つeGFRcreat50.0～59.9ml/分/1.73m²

③医師により指導を必要とされたもの



【特定健診保健指導該当者・実施者数（総合保健医療センター実施分）】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保健指導該当者	70	63	25	39	47	69	47	46	38	39	33	33	549
保健指導実施者	60	65	55	57	57	59	25	29	40	59	88	74	668



【改善事例紹介】

事例 1

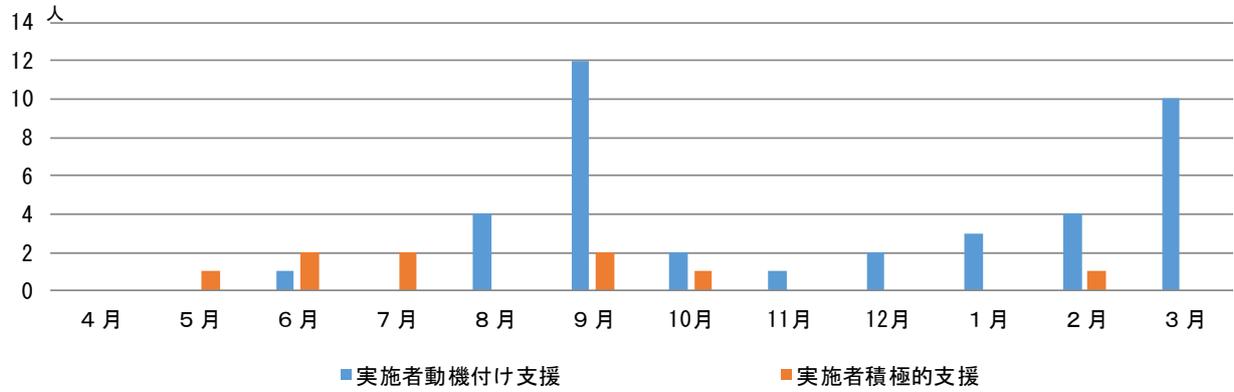
区 分	動機付け支援→初回面談、半年後電話支援
対 象 者	60歳女性 身長=153.3cm、体重=57.2kg、BMI=24.3、腹囲=90cm 総コレステロール=241、LDLコレステロール=152、 血糖値=142、ヘモグロビンエーワンシー=6.4
目 標	半年後体重を55.2kgにする ①毎回の食事を個別に盛り付け大食いを避ける ②食事の初めにしっかりと野菜などの食物繊維をとる ③食事から1日240kcalを減らす ④運動をする
事後評価	体重=50kg、腹囲82cm ・食生活を大きく変えたが、自然に変化していったのでストレスは全く感じず ・整形外科医の考えた筋トレメニューを自宅で行う ・主治医より血液検査はほぼ異常なしと言われた

事例 2

区 分	積極的支援→初回面談、栄養指導面談、運動教室、電話支援4回
対 象 者	64歳男性 身長=160.5cm、体重=64.4kg、BMI=25.0、腹囲=84cm 総コレステロール=208、中性脂肪=134、 血糖値=102、ヘモグロビンエーワンシー=5.7
目 標	半年後体重を63kg、腹囲を82cmにする ①ジム通いを継続する ②夕食の食事量を控える（プレートによそってから食べ始めるなどの工夫をする）
事後評価	体重=56.4kg、腹囲78cm ・毎日体重測定及び腹囲測定を実施 ・運動：10,000歩以上/日、ジム3～4日/週 ・米飯100g、間食減少、塩分控えめを実行 ・採血の結果、主治医より全て基準値内で問題なしと言われた

【特定健診保健指導該当者・実施者数（保健センター実施分）】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施者動機付け支援	1	0	1	0	4	12	2	1	2	3	4	10	40
実施者積極的支援	1	1	2	2	0	2	1	0	0	0	1	0	10



【改善事例紹介】

事例 1

区 分	動機付け支援→初回面談、半年後電話支援
対 象 者	65歳女性 身長=162.5cm、体重=68.0kg、BMI=25.8、腹囲=88cm 血圧=138/78、中性脂肪=211、LDLコレステロール=169
目 標	半年後体重を66.0kgにする ①週3回歩くことを4回に増やし、10,000歩を目標に歩く ②毎日の間食を週2日やめる ③体重を毎日測り、記録する ④血圧を時々測り、記録する
事後評価	体重=63.0kg、腹囲83cm ・ 1日平均8,000歩以上歩くことができた ・ 間食はほとんど摂らなくなった ・ 毎日体重測定を実施した

事例 2

区 分	積極的支援→初回面談、栄養指導面談、中間評価面談、半年後面談
対 象 者	64歳男性 身長=178.9cm、体重=106.2kg、BMI=33.2、腹囲=114cm 血圧=124/86、中性脂肪=203、ヘモグロビンエーワンシー=5.6、喫煙有
目 標	半年後体重を101kgにする ①間食（お菓子）を減らす ②たばこの本数を減らす（1日の喫煙本数を記録する） ③体重を毎日測り、記録する
事後評価	体重=96.4kg、腹囲111.5cm ・ 間食を徐々に減らしており、無理せず実行中 ・ 減煙実行中 ・ 毎日体重測定実施 ・ 外出回数を増やし、歩くようにしている

事例 3

区分	動機付け支援→初回面談、半年後電話相談
対象者	41歳女性 身長=158.8cm、体重=64.6kg、BMI=25.6、腹囲=92cm 総コレステロール=213、LDLコレステロール=144、 血糖値=100、ヘモグロビンエーワンシー=5.6
目標	半年後体重を62kgにする ①日常生活の中で運動量をアップする（駐車場を一番遠くに停める、歯磨き中などの足踏み運動実施） ②夕食の食べ過ぎには注意する
事後評価	体重=59.0kg、腹囲86cm ・意識して運動量を増やした ・食事量は減らさず、間食を控えた

事例 4

区分	積極的支援→初回面談、栄養指導面談、電話支援4回
対象者	42歳男性 身長=167.1cm、体重=77.1kg、BMI=27.6、腹囲=99.5cm 総コレステロール=191、中性脂肪=235、 血糖値=92、ヘモグロビンエーワンシー=5.4
目標	半年後体重を75kgにする ①年末年始の体重管理に注意する ②野菜からまず食べる事を継続する ③休肝日をできれば連続して2日設ける
事後評価	体重=72.0kg、腹囲90cm ・野菜ジュース等を飲んでから食べる ・休肝日を週に2日設ける

